

豊島区職員の男女平等意識に関する調査

報告書

(平成27年7月実施)

豊島区

目次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	1
6	経年比較・平成27年住民意識調査との比較について	2
7	回答者の属性	3
II	調査結果のあらまし	8
1	一般的な男女平等について	9
2	仕事について	24
3	職場について	39
4	生活について	56
III	調査票および単純集計結果	68

I 調査実施の概要

1 調査目的

区行政を男女共同参画の視点のもとで積極的に推進するため、それを担う職員の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策の資料とする。

2 調査内容

- (1) 一般的な男女平等について
- (2) 仕事について
- (3) 職場について
- (4) 生活について

3 調査設計

- (1) 調査対象者 豊島区全職員
- (2) 調査方法 職員ポータルでの調査票配布・回収及び個別配布個別回収
- (3) 調査時期 平成 27 年 7 月 21 日 ~ 8 月 4 日
- (4) 集 計 人事課・男女平等推進センター

4 回収結果

- (1) 調査対象数 3,204人
- (2) 有効回答数 1,311人
- (3) 有効回収率 40.9%

5 報告書の見方

- (1) この報告書中の数値は、原則として回答者総数(女性874人、男性413人、性別無回答24人。全体的場合は1,311人)を100%とした数値である。
- (2) 図表中のnとは回答者総数(または該当質問での該当者数)のことである。
- (3) 集計は小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出した。
- (5) 住民意識調査との比較は、平成27年7月実施の住民意識調査と比較した。
- (6) 職員意識調査との比較は、平成21年9月実施の職員意識調査と比較した。

6 経年比較・平成27年住民意識調査との比較について

男女平等意識の推移を見るために、平成21年調査との経年比較を行った。

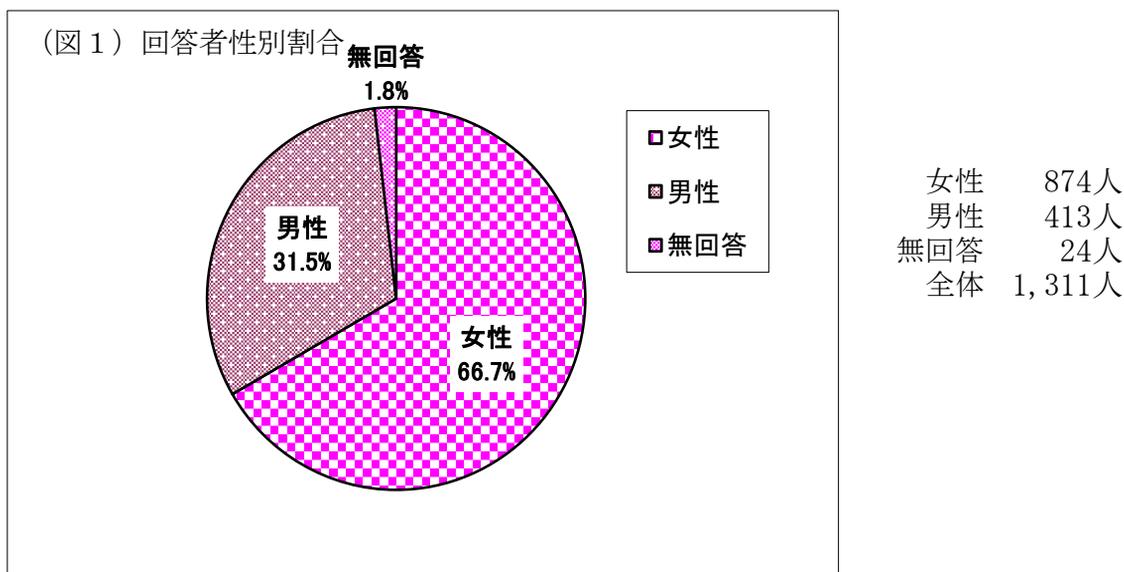
比較に際しては、母集団を一致させるため、平成27年度調査について回答者を正規職員に限定している。また、平成27年住民意識調査と内容を同じくする設問については、職員の意識動向をとらえるために比較を行った。

	豊島区職員の男女平等意識に関する調査 (平成21年9月実施)	今回調査 (平成27年7月実施)
調査内容	①一般的な男女平等について ②仕事について ③職場について ④生活について	①一般的な男女平等について ②仕事について ③職場について ④生活について
設問数	26問・属性8問	28問・属性8問
対象	全職員から無作為抽出 500人	全職員を対象に実施 3,204人
回収数	326人 65.2%	1,311人 40.9%
調査方法	庁内交換配布 (調査票記入回答)	庁内交換配布 (庁内ポータル回答・調査票記入回答)
調査時期	平成21年 9月 7日 ～ 9月16日	平成27年 7月21日 ～ 8月 4日
集計・ 分析	総務部人事課 男女平等推進センター	総務部人事課 男女平等推進センター

7 回答者の属性

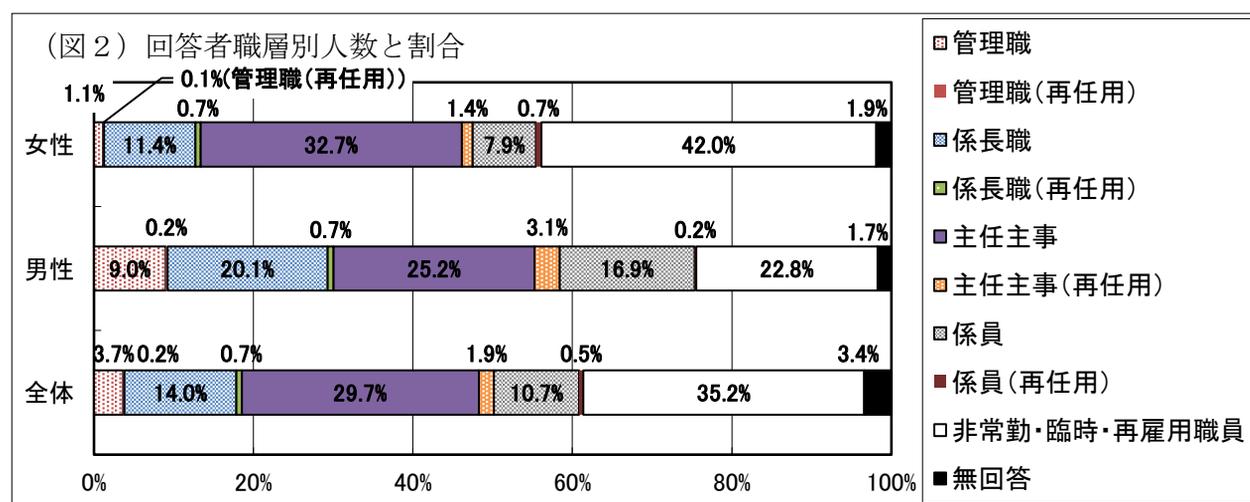
(1) 性別…女性6割、男性3割

回答者1,311名のうち、女性66.7%、男性は31.5%と女性が大きく上回っている。平成21年調査と同様の傾向である。

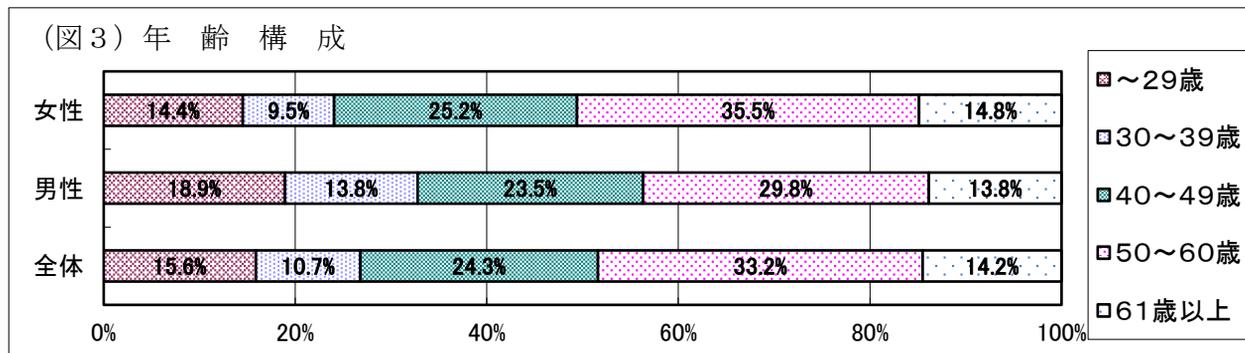


(2) 回答者職層…女性は42.0%が非常勤・臨時・再雇用職員である。

職層	女性	男性	全体
管理職	1.1%	9.0%	3.7%
管理職(再任用)	0.1%	0.2%	0.2%
係長職	11.4%	20.1%	14.0%
係長職(再任用)	0.7%	0.7%	0.7%
主任主事	32.7%	25.2%	29.7%
主任主事(再任用)	1.4%	3.1%	1.9%
係員	7.9%	16.9%	10.7%
係員(再任用)	0.7%	0.2%	0.5%
非常勤・臨時・再雇用職員	42.0%	22.8%	35.2%
無回答	1.9%	1.7%	3.4%



(3) 回答者年齢…女性・男性共、30歳代が少なく、40歳以上が多い。

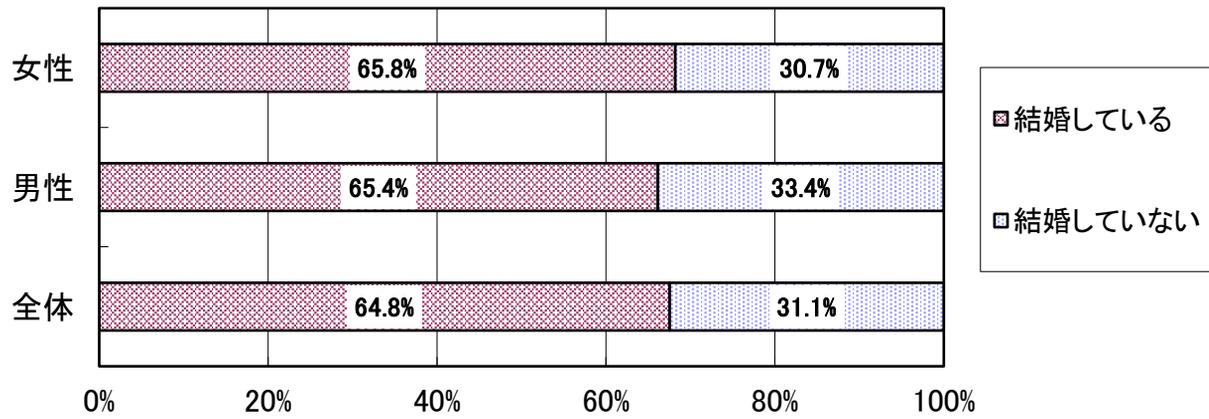


男性	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~60歳	61歳以上
管理職	0	0	10	26	1
管理職 (再任用)	0	0	0	0	1
係長職	0	8	33	40	1
係長職 (再任用)	0	0	0	1	2
主任主事	6	29	34	35	0
主任主事 (再任用)	1	0	0	1	11
係員	43	7	13	7	0
係員 (再任用)	0	0	0	1	0
非常勤・臨時・再雇用職員	27	12	5	9	41
無回答	1	1	2	3	0

女性	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~60歳	61歳以上
管理職	0	0	3	7	0
管理職 (再任用)	0	0	0	0	1
係長職	0	0	25	74	1
係長職 (再任用)	0	0	0	0	6
主任主事	12	38	131	101	3
主任主事 (再任用)	0	0	1	3	8
係員	42	11	10	5	1
係員 (再任用)	0	0	0	2	4
非常勤・臨時・再雇用職員	67	33	46	118	103
無回答	5	1	4	0	2

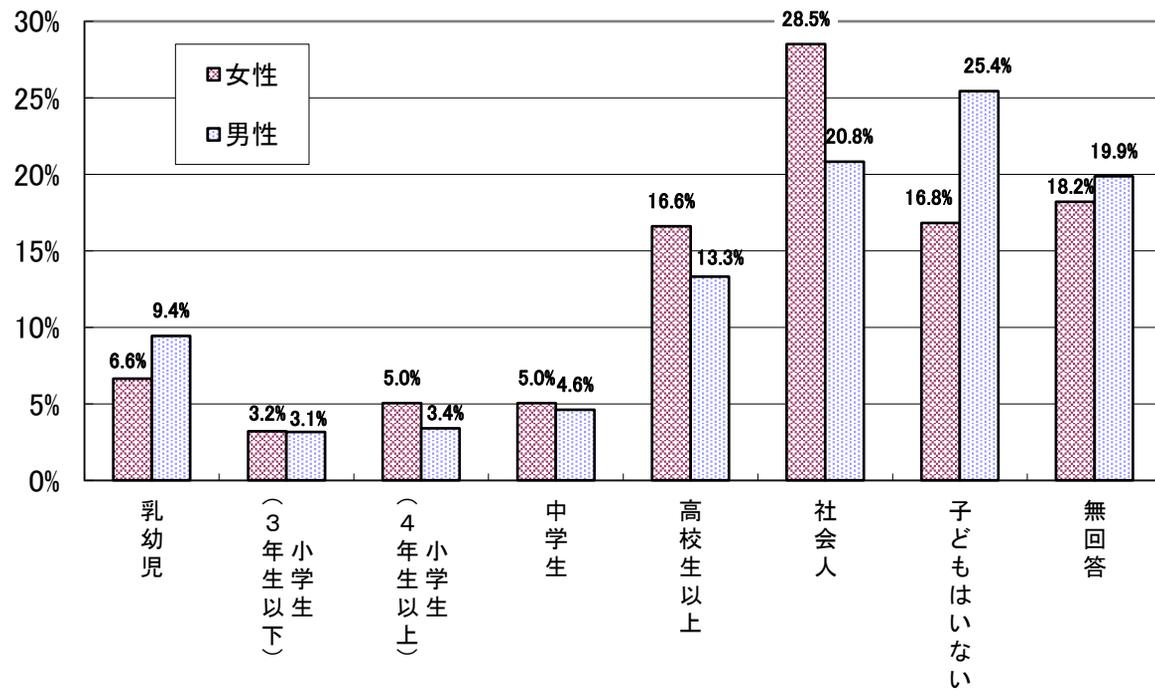
(4) 結婚の状況…男女とも6割以上が結婚している。

(図4) 未・既婚・男女別



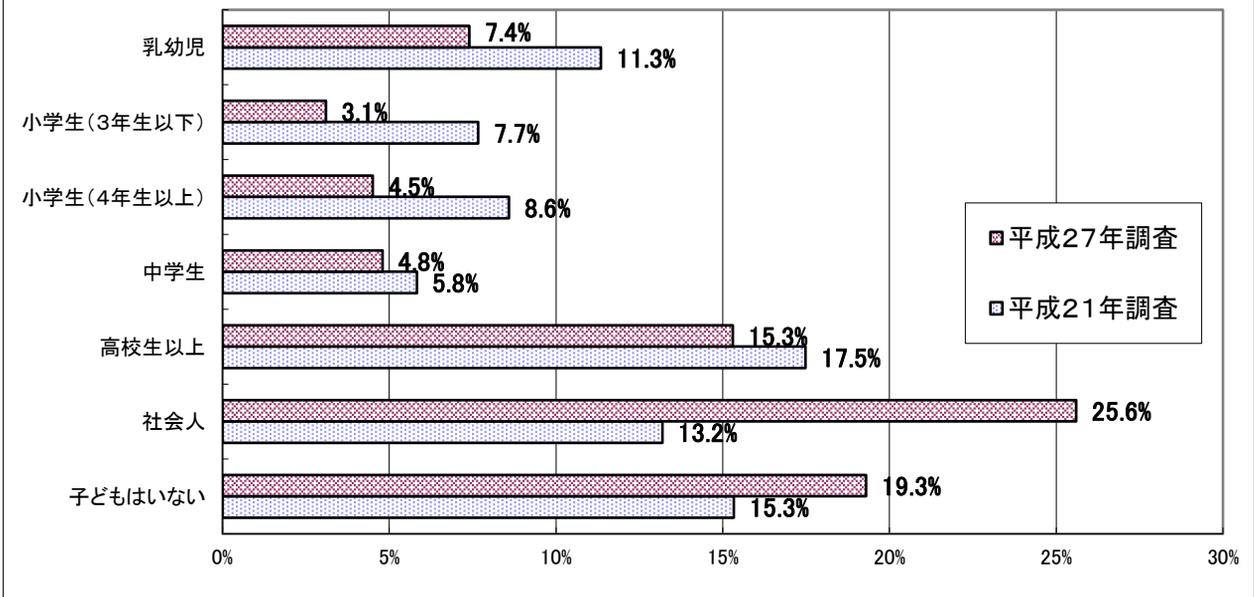
(5) 一番年下の子どもの状況…乳幼児を持つ人は女性が6.6%、男性が9.4%

(図5) 一番年下の子どもの状況



<参考>平成21年調査・平成27年職員意識調査との比較

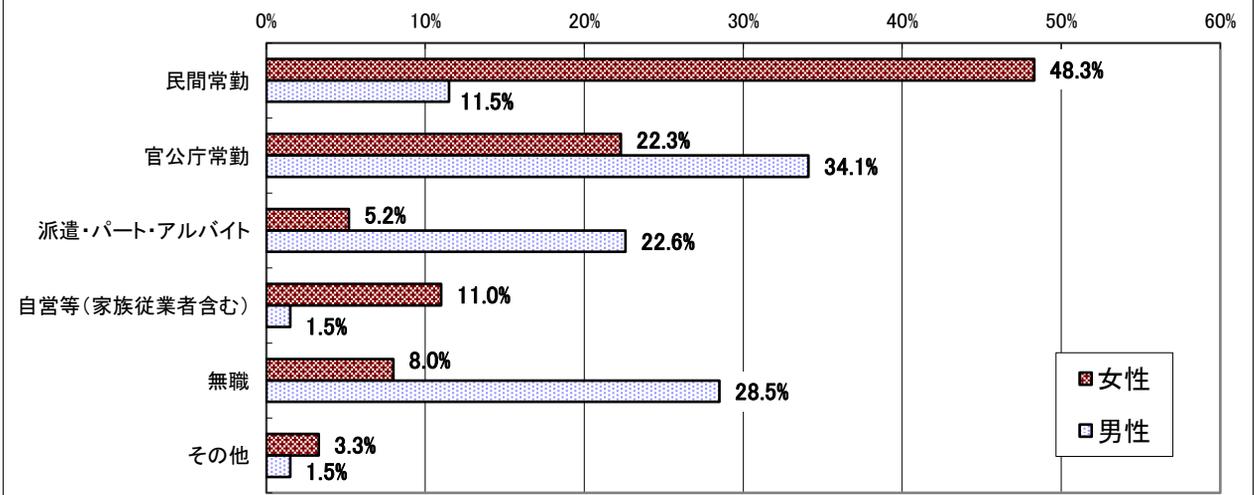
(図6) 子どもの状況 (既婚者)



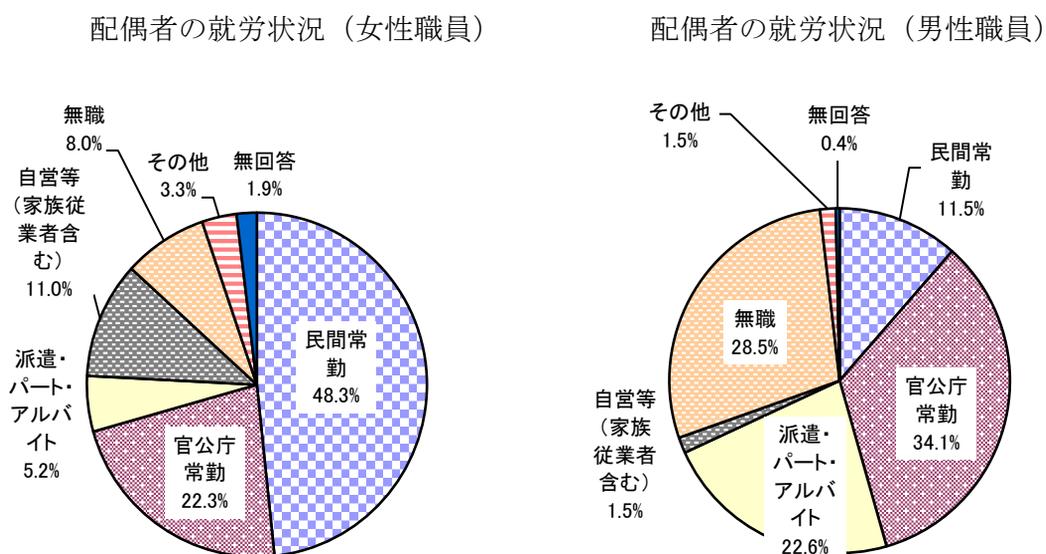
※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

(6) 配偶者の就労状況 (配偶者のいる方) …女性職員では86.8%、男性職員では69.7%は、配偶者が職業を持っている。内訳は、女性は民間常勤48.3%・官公庁常勤22.3%、男性は官公庁常勤34.1%、次いで無職28.5%となっている。

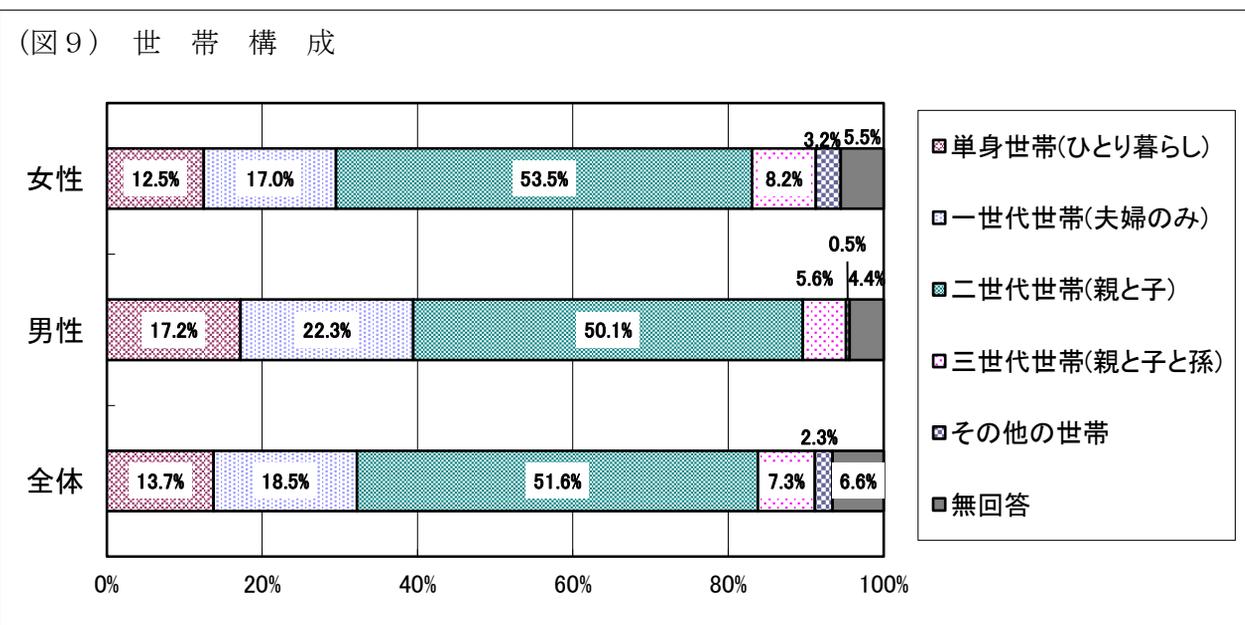
(図7) 配偶者の就労状況



(図8) 配偶者の就労状況(男女別比較)



(7)世帯構成…男女とも「二世帯世帯(親と子)」が約50%である。



世帯構成	女性	男性	全体
単身世帯(ひとり暮らし)	12.5%	17.2%	13.7%
一世代世帯(夫婦のみ)	17.0%	22.3%	18.5%
二世帯世帯(親と子)	53.5%	50.1%	51.6%
三世帯世帯(親と子と孫)	8.2%	5.6%	7.3%
その他の世帯	3.2%	0.5%	2.3%
無回答	5.5%	4.4%	6.6%

Ⅱ 調査結果のあらまし

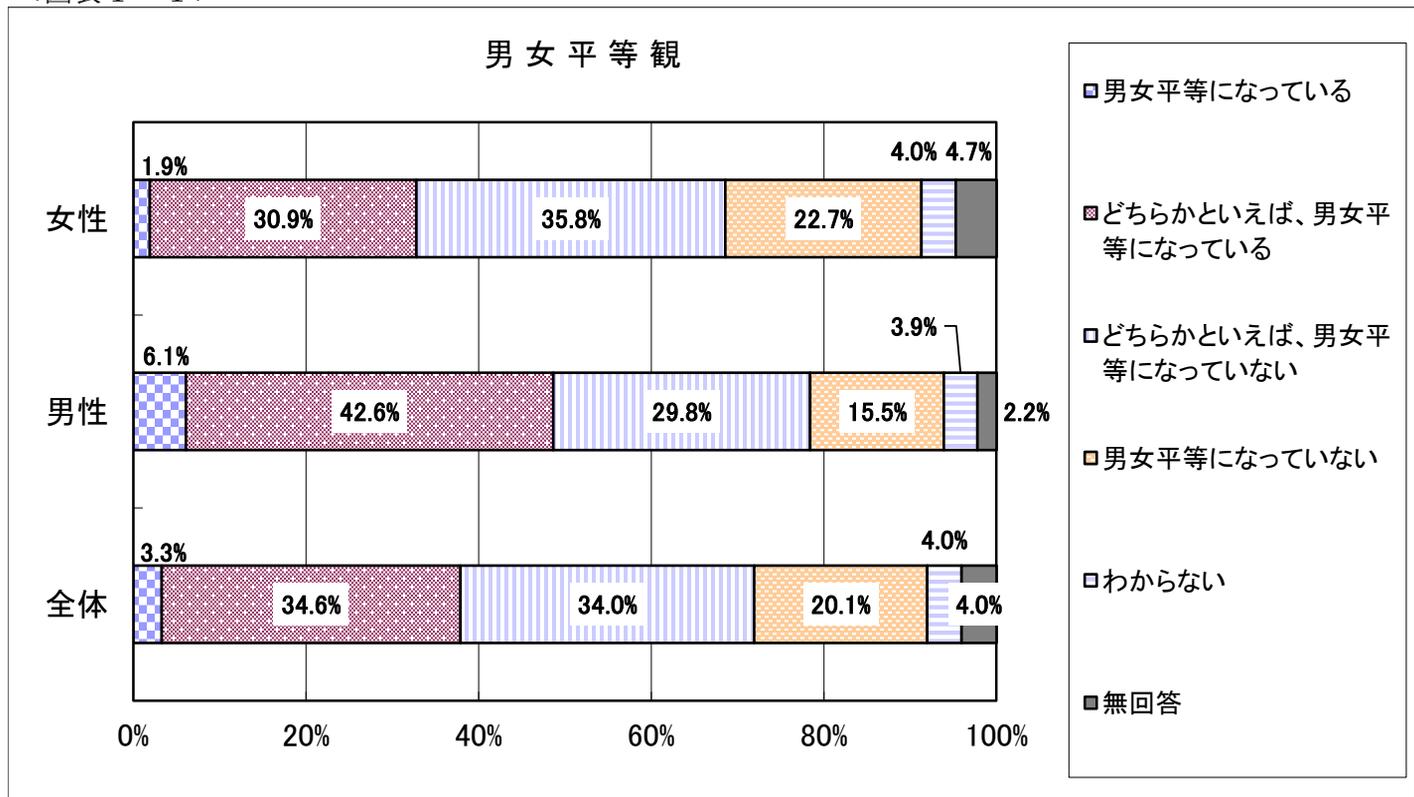
《 1 一般的な男女平等について 》

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

	女性	男性	無回答	全体
男女平等になっている	17 1.9%	25 6.1%	1 4.2%	43 3.3%
どちらかといえば、男女平等になっている	270 30.9%	176 42.6%	8 33.3%	454 34.6%
どちらかといえば、男女平等になっていない	313 35.8%	123 29.8%	10 41.7%	446 34.0%
男女平等になっていない	198 22.7%	64 15.5%	1 4.2%	263 20.1%
わからない	35 4.0%	16 3.9%	1 4.2%	52 4.0%
無回答	41 4.7%	9 2.2%	3 12.5%	53 4.0%
総計	874 100.0%	413 100.0%	24 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表1-1>



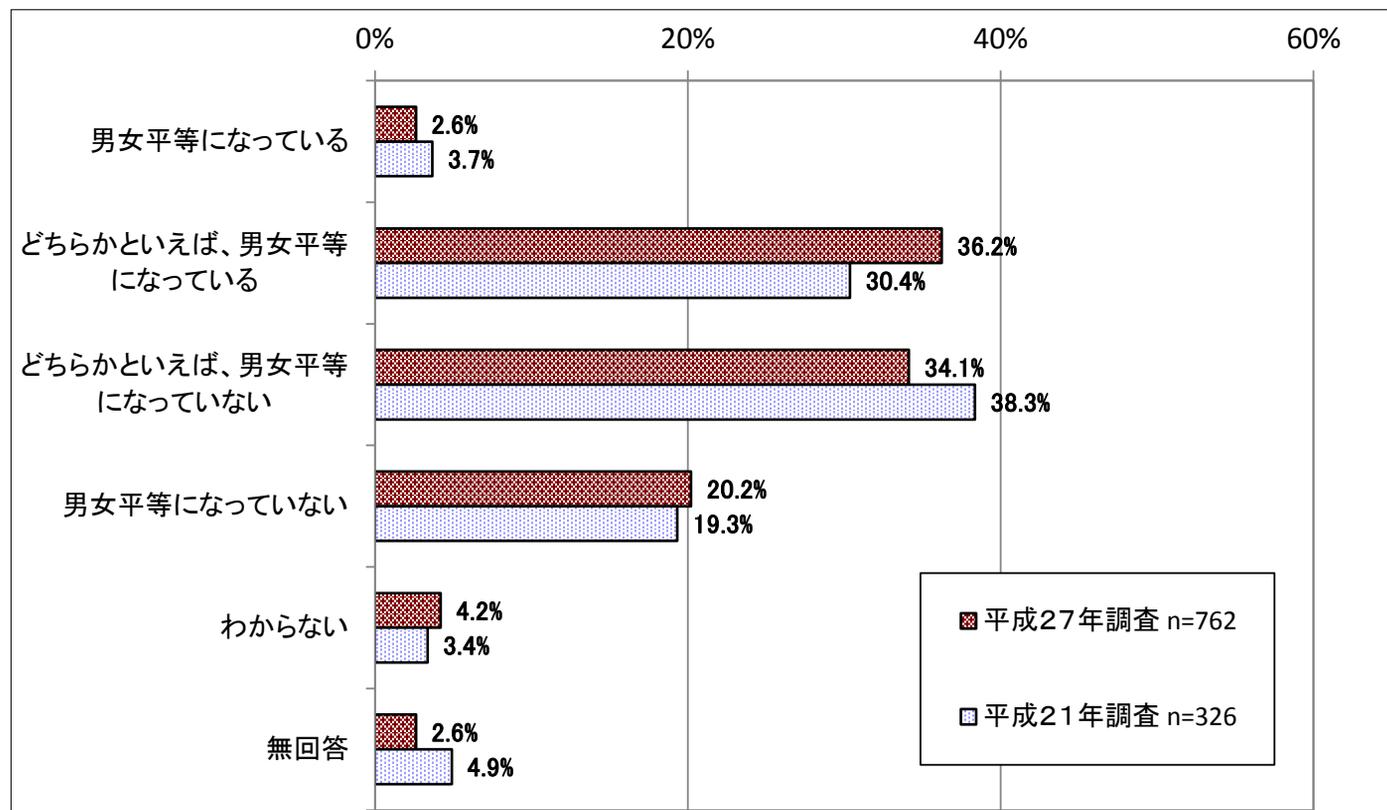
「男女平等になっている」と「どちらかといえば、男女平等になっている」を合わせた割合は女性で32.8%であるのに対し、男性は48.7%と15.9ポイント高くなっています。

「男女平等になっていない」「どちらかといえば、男女平等になっていない」を合わせた割合は女性で58.5%であるのに対し、男性は45.3%と13.2ポイント低くなっています。

平成21年調査と比較すると、全体としては「どちらかといえば男女平等になっていない」が38.3%から34.1%に減少し、「どちらかといえば男女平等になっている」が30.4%から36.2%に増加している。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表1-2>

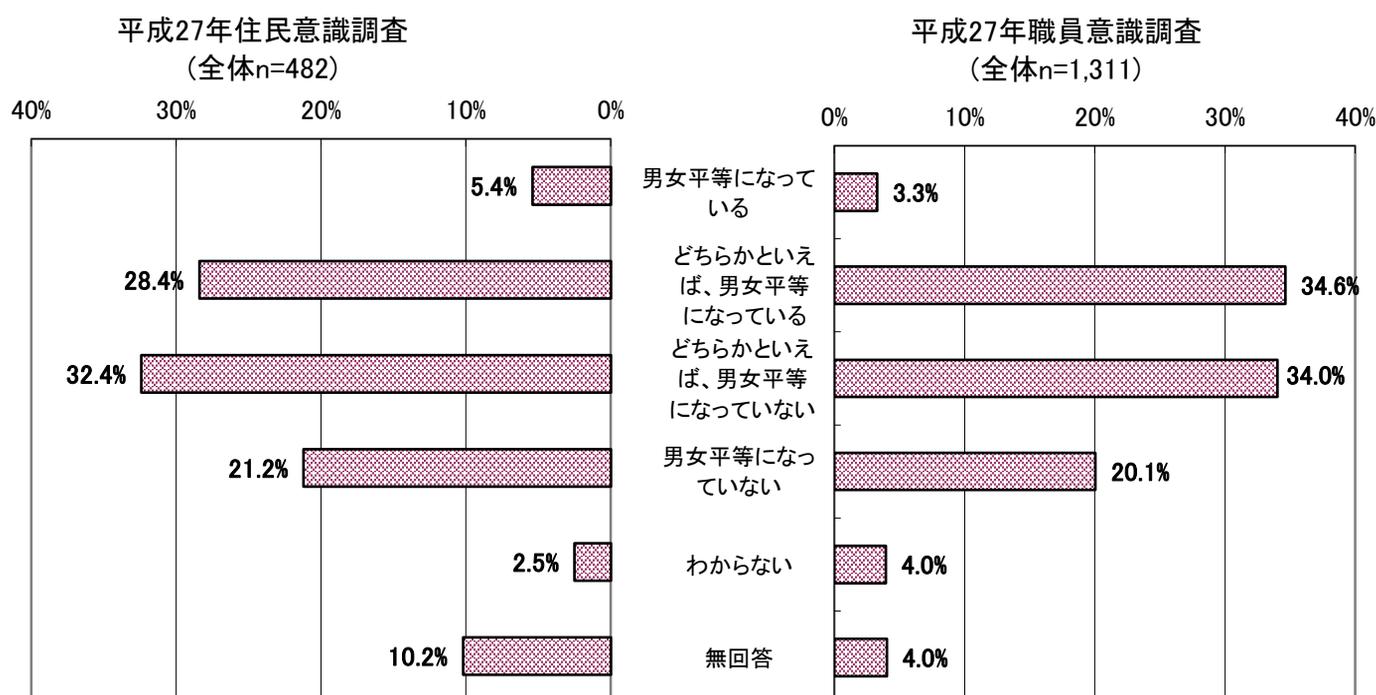


※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

また、住民意識調査（H27年7月実施）との比較においては、あまり大きな差異はみられません。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-3>

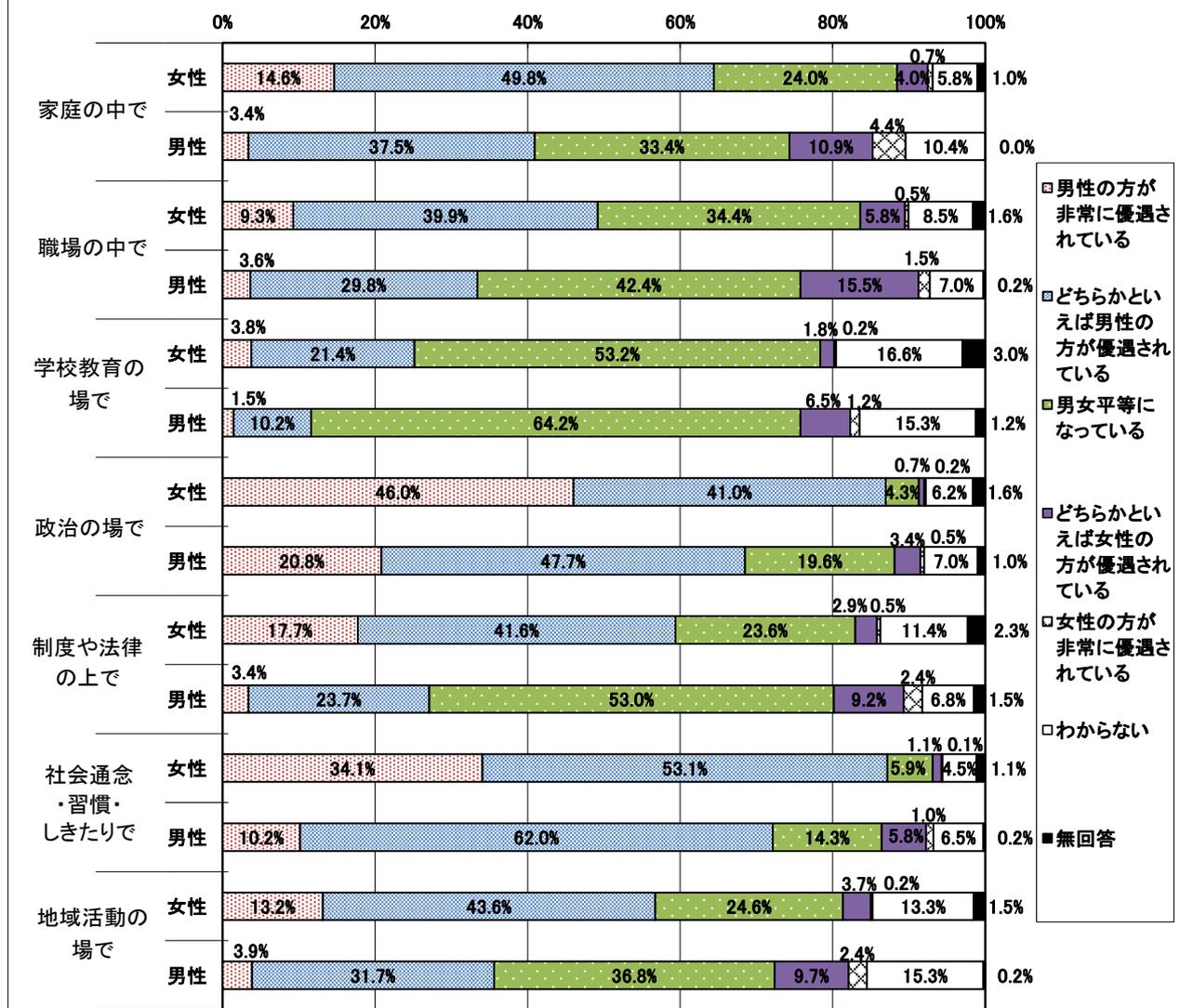


問2 では、次のa～gの分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。各分野ごとに、1～6の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

女性n=874 男性n=413 全体n=1,311

		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	女性	14.6%	49.8%	24.0%	4.0%	0.7%	5.8%	1.0%
	男性	3.4%	37.5%	33.4%	10.9%	4.4%	10.4%	0.0%
b 職場の中で	女性	9.3%	39.9%	34.4%	5.8%	0.5%	8.5%	1.6%
	男性	3.6%	29.8%	42.4%	15.5%	1.5%	7.0%	0.2%
c 学校教育の場で	女性	3.8%	21.4%	53.2%	1.8%	0.2%	16.6%	3.0%
	男性	1.5%	10.2%	64.2%	6.5%	1.2%	15.3%	1.2%
d 政治の場で	女性	46.0%	41.0%	4.3%	0.7%	0.2%	6.2%	1.6%
	男性	20.8%	47.7%	19.6%	3.4%	0.5%	7.0%	1.0%
e 制度や法律の上で	女性	17.7%	41.6%	23.6%	2.9%	0.5%	11.4%	2.3%
	男性	3.4%	23.7%	53.0%	9.2%	2.4%	6.8%	1.5%
f 社会通念・習慣・しきたりで	女性	34.1%	53.1%	5.9%	1.1%	0.1%	4.5%	1.1%
	男性	10.2%	62.0%	14.3%	5.8%	1.0%	6.5%	0.2%
g 地域活動の場で	女性	13.2%	43.6%	24.6%	3.7%	0.2%	13.3%	1.5%
	男性	3.9%	31.7%	36.8%	9.7%	2.4%	15.3%	0.2%

<図表1-4> 男女平等の実現度



各分野の男女平等の実現度については、「男性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』は、「社会通念・習慣・しきたりで」が82.3%と最も高く、「政治の場で」（81.0%）、「家庭の中で」（56.7%）と続いています。

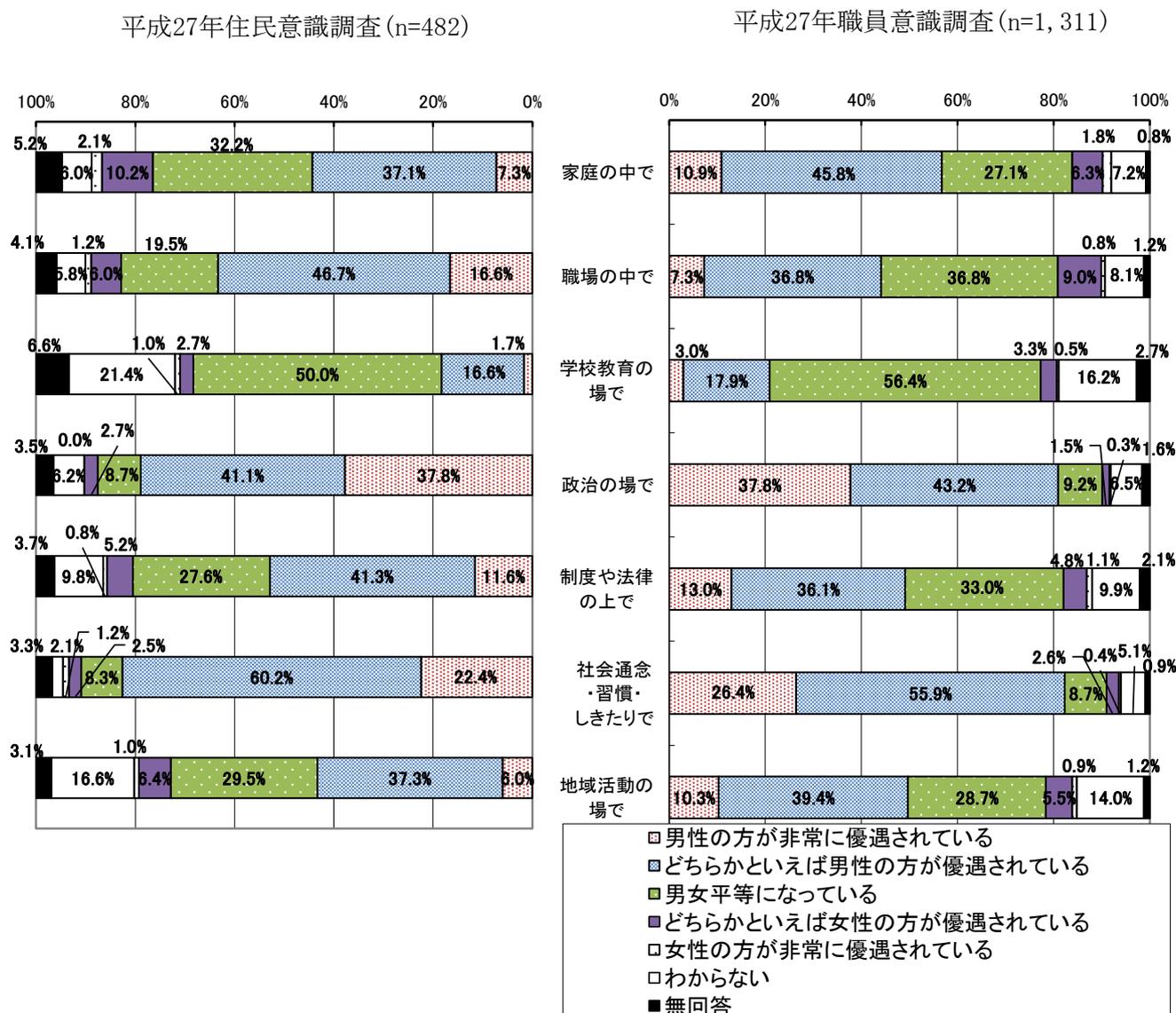
一方、「平等になっている」は、「学校教育の場で」が56.4%と最も高く、「職場の中で」（36.8%）、「制度や法律の上で」（33.0%）と続いています。

また、「女性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている』は、「職場の中で」が9.8%と最も高く、「家庭の中で」（8.1%）、「地域活動の場で」（6.4%）と続いています。

住民意識調査（H27年7月実施）との比較においては、職場の中で「平等になっている」が住民意識調査では19.5%、職員意識調査では36.8%と17.3ポイントの差があるが、その他は大きな差異はみられません。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-5>



問3 社会的に配偶者（事実婚や離婚後も含む）への暴力（DV）が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。

次のa～lごとに、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

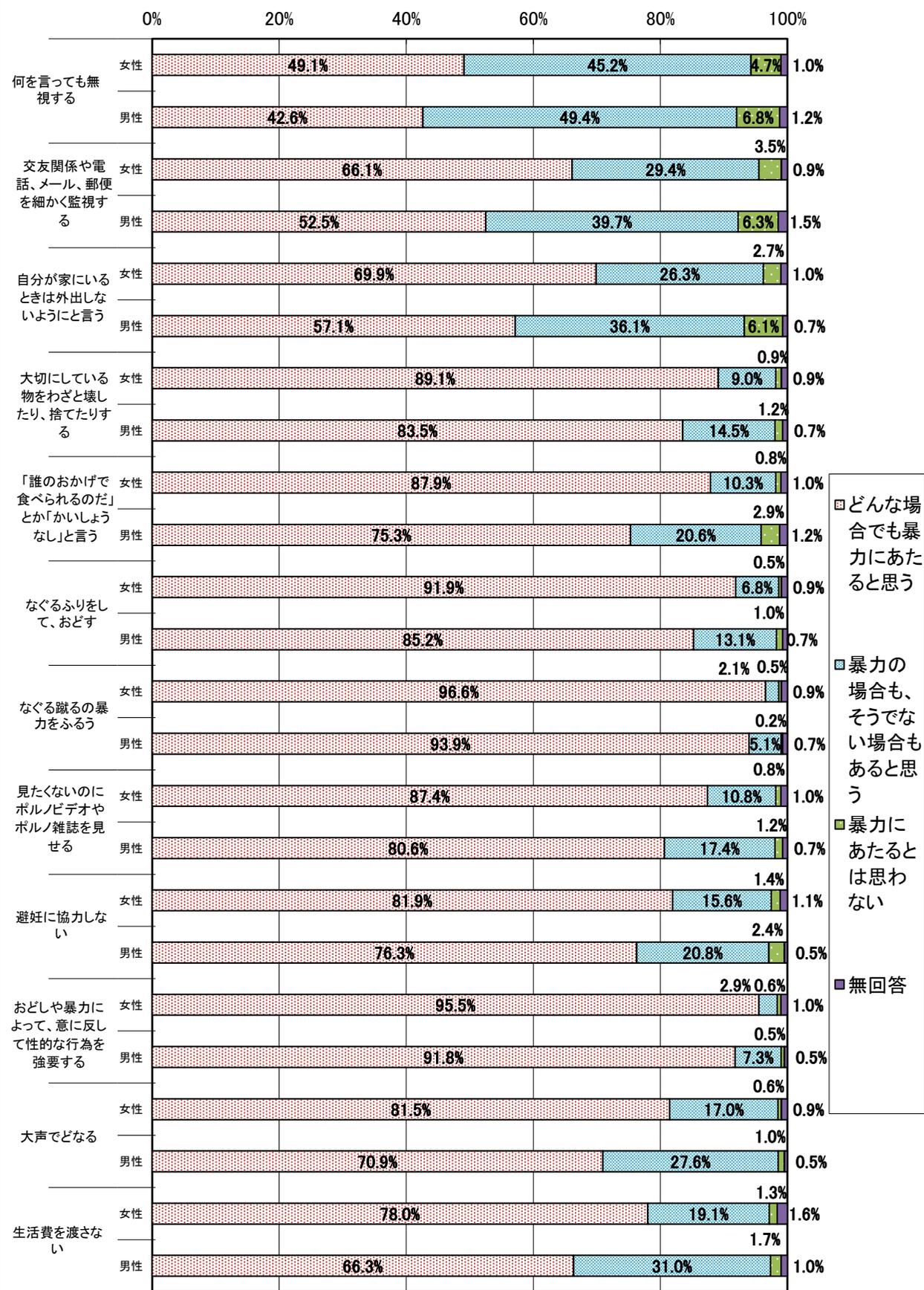
全体n=1,311

	女性n=874 男性n=413	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	女性	49.1%	45.2%	4.7%	1.0%
	男性	42.6%	49.4%	6.8%	1.2%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	女性	66.1%	29.4%	3.5%	0.9%
	男性	52.5%	39.7%	6.3%	1.5%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	女性	69.9%	26.3%	2.7%	1.0%
	男性	57.1%	36.1%	6.1%	0.7%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	女性	89.1%	9.0%	0.9%	0.9%
	男性	83.5%	14.5%	1.2%	0.7%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしようなし」と言う	女性	87.9%	10.3%	0.8%	1.0%
	男性	75.3%	20.6%	2.9%	1.2%
f なぐるふりをして、おどす	女性	91.9%	6.8%	0.5%	0.9%
	男性	85.2%	13.1%	1.0%	0.7%
g なぐる蹴るの暴力をふるう	女性	96.6%	2.1%	0.5%	0.9%
	男性	93.9%	5.1%	0.2%	0.7%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	女性	87.4%	10.8%	0.8%	1.0%
	男性	80.6%	17.4%	1.2%	0.7%
i 避妊に協力しない	女性	81.9%	15.6%	1.4%	1.1%
	男性	76.3%	20.8%	2.4%	0.5%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	女性	95.5%	2.9%	0.6%	1.0%
	男性	91.8%	7.3%	0.5%	0.5%
k 大声でどなる	女性	81.5%	17.0%	0.6%	0.9%
	男性	70.9%	27.6%	1.0%	0.5%
l 生活費を渡さない	女性	78.0%	19.1%	1.3%	1.6%
	男性	66.3%	31.0%	1.7%	1.0%

「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、『なぐる蹴るの暴力をふるう』（女性96.6%、男性93.9%）が最も高く、次に『おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する』（女性95.5%、男性91.8%）と続いています。

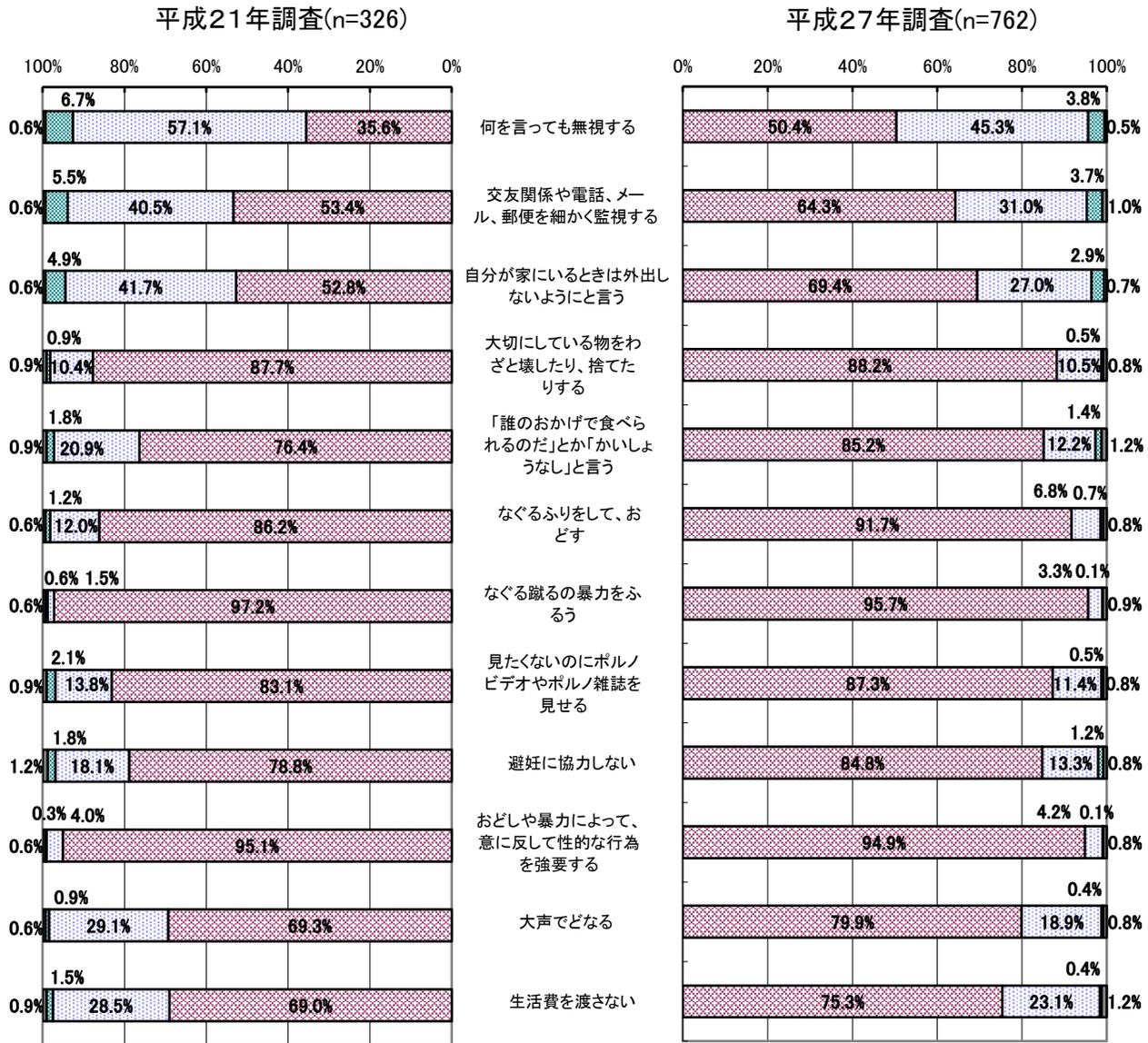
また、平成21年調査と比較すると、ほとんどの項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が増加しています。

<図表 1 - 6> それぞれの行為がDVにあたると思うか？ 男女別比較



<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表1-7>



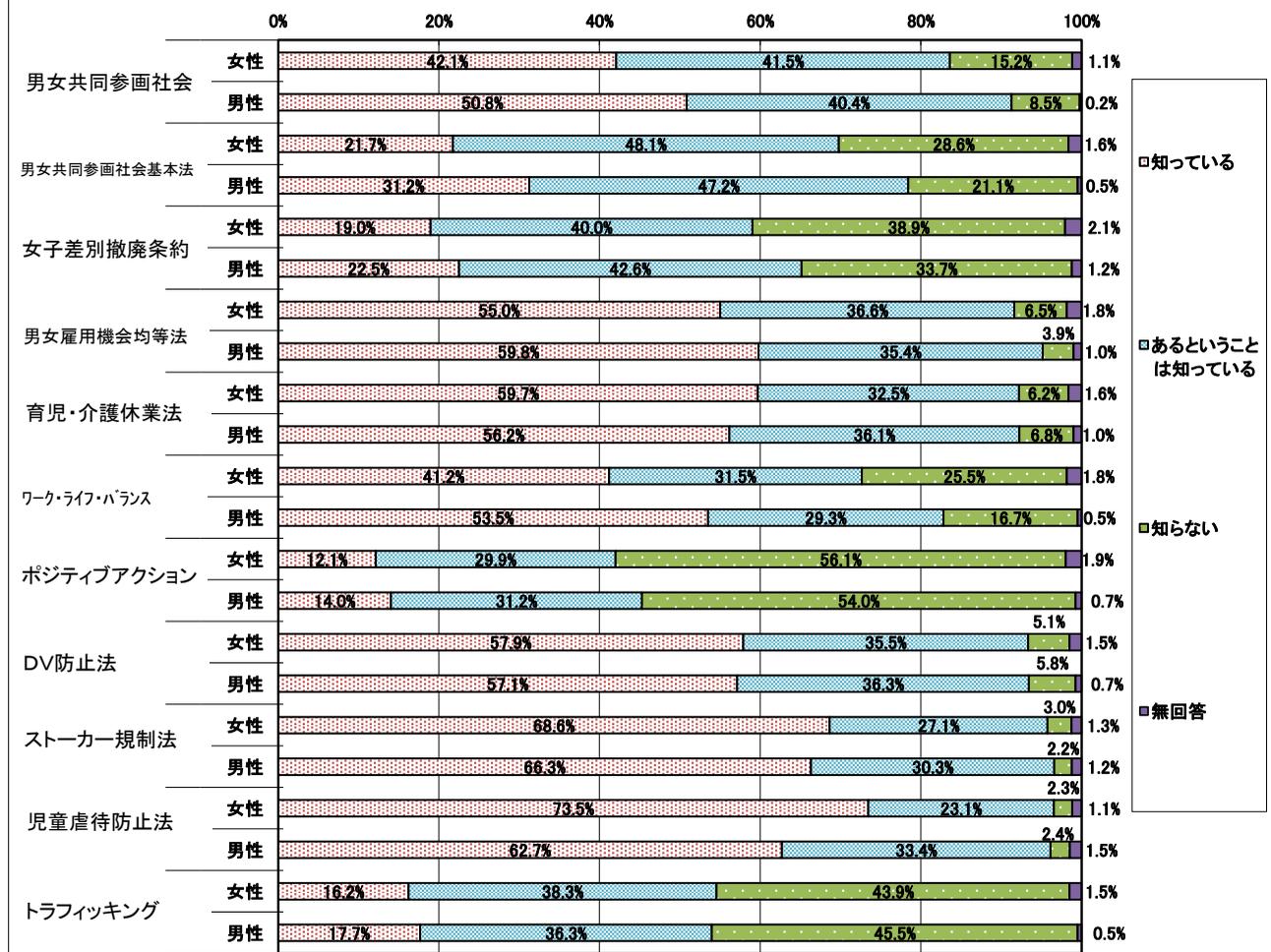
どのような場合でも暴力にあたると思う
 暴力の場合も、そうでない場合もあると思う
 暴力にあたると思わない
 無回答

※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問4 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次の a~k ごとに、それぞれ当てはまるものを、1~3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	女性n=874 男性n=413 全体n=1,311	知っている	あるとい うことは 知っている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	女性	42.1%	41.5%	15.2%	1.1%
	男性	50.8%	40.4%	8.5%	0.2%
b 男女共同参画社会基本法	女性	21.7%	48.1%	28.6%	1.6%
	男性	31.2%	47.2%	21.1%	0.5%
c 女子差別撤廃条約	女性	19.0%	40.0%	38.9%	2.1%
	男性	22.5%	42.6%	33.7%	1.2%
d 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	女性	55.0%	36.6%	6.5%	1.8%
	男性	59.8%	35.4%	3.9%	1.0%
e 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	女性	59.7%	32.5%	6.2%	1.6%
	男性	56.2%	36.1%	6.8%	1.0%
f ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性	41.2%	31.5%	25.5%	1.8%
	男性	53.5%	29.3%	16.7%	0.5%
g ポジティブアクション（積極的改善措置）	女性	12.1%	29.9%	56.1%	1.9%
	男性	14.0%	31.2%	54.0%	0.7%
h DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）	女性	57.9%	35.5%	5.1%	1.5%
	男性	57.1%	36.3%	5.8%	0.7%
i ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）	女性	68.6%	27.1%	3.0%	1.3%
	男性	66.3%	30.3%	2.2%	1.2%
j 児童虐待防止法（児童虐待の防止に関する法律）	女性	73.5%	23.1%	2.3%	1.1%
	男性	62.7%	33.4%	2.4%	1.5%
k トラフィッキング（人身取引）	女性	16.2%	38.3%	43.9%	1.5%
	男性	17.7%	36.3%	45.5%	0.5%

<図表1-8> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度(男女別比較)



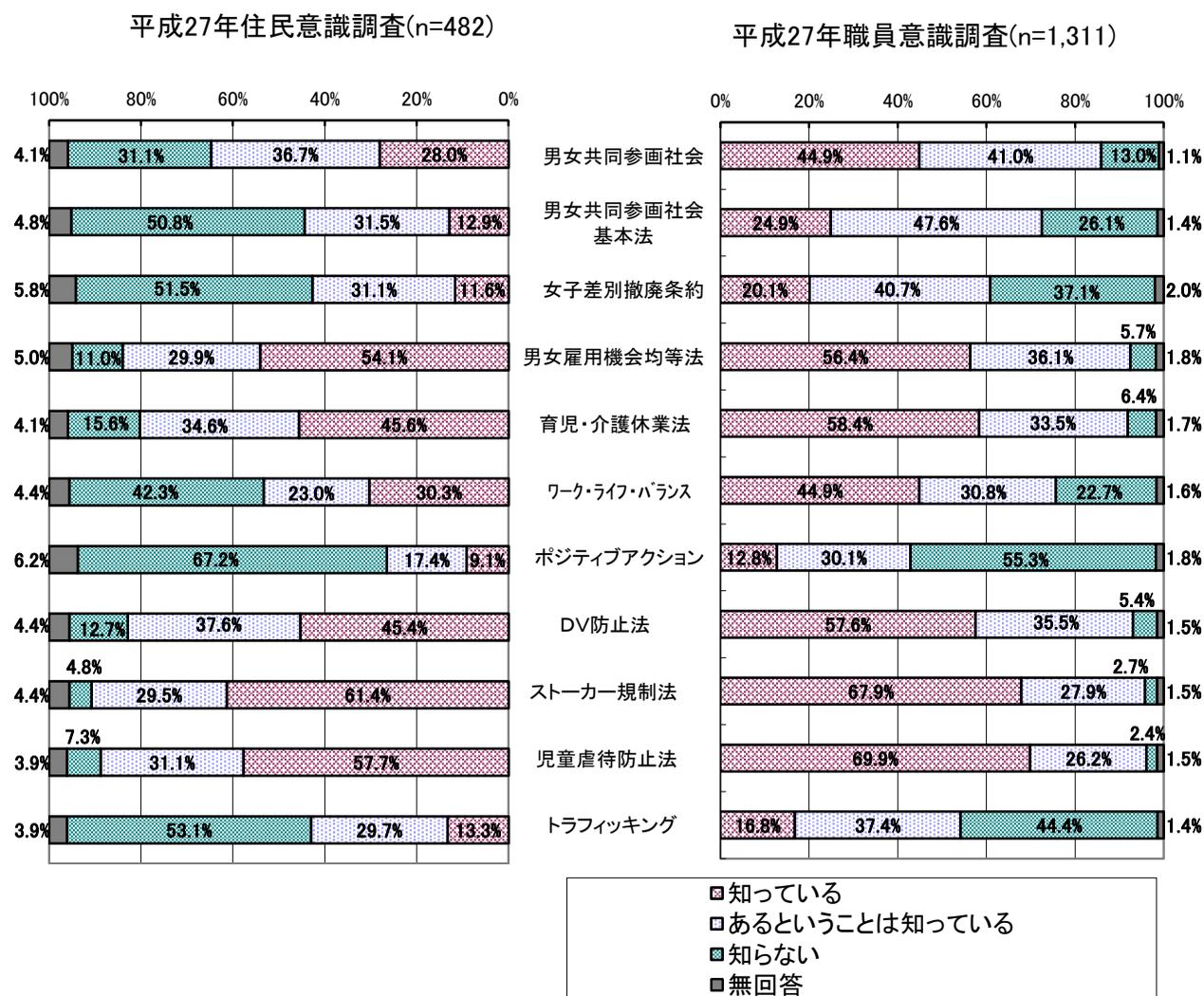
国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度については、「知っている」・「あるという事は知っている」を合わせた『知っている』は、「児童虐待防止法」が96.1%と最も高く、「ストーカー規制法」(95.8%)、「DV防止法」(93.1%)と続いています。

逆に、認知度が低いのは、「ポジティブアクション」が42.9%と最も低く、「トラフィッキング」(54.2%)、「女子差別撤廃条約」(60.8%)となっています。

また、住民意識調査(H27年7月実施)との比較においては、大きな差異は見られません。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-9> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度(全体比較)

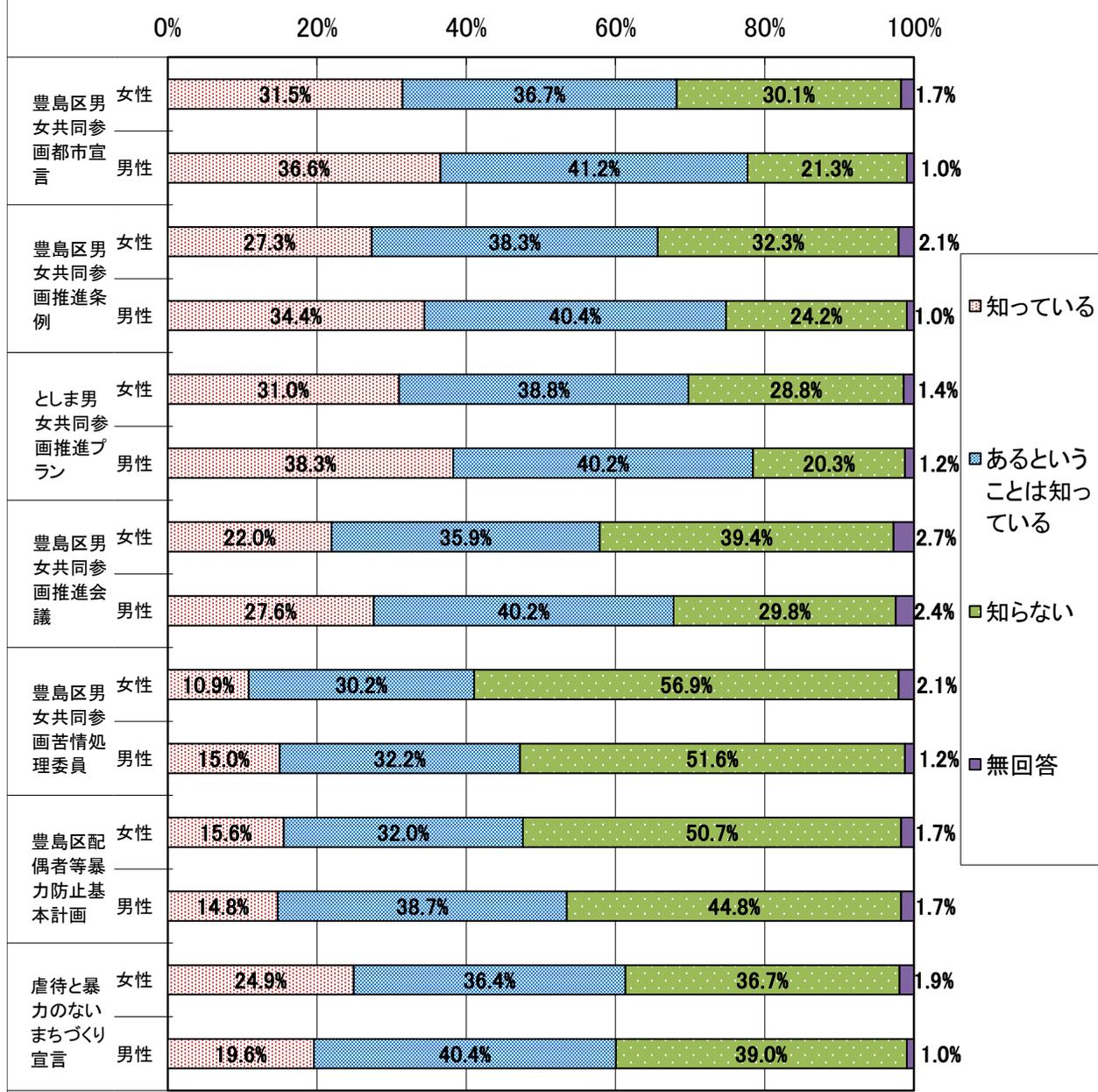


問5 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次のa～gごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

全体 n = 1,311

	女性n=874 男性n=413	知っている	あるとい うことは 知ってい る	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	女性 男性	31.5% 36.6%	36.7% 41.2%	30.1% 21.3%	1.7% 1.0%
b 豊島区男女共同参画推進条例	女性 男性	27.3% 34.4%	38.3% 40.4%	32.3% 24.2%	2.1% 1.0%
c としま男女共同参画推進プラン	女性 男性	31.0% 38.3%	38.8% 40.2%	28.8% 20.3%	1.4% 1.2%
d 豊島区男女共同参画推進会議	女性 男性	22.0% 27.6%	35.9% 40.2%	39.4% 29.8%	2.7% 2.4%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	女性 男性	10.9% 15.0%	30.2% 32.2%	56.9% 51.6%	2.1% 1.2%
f 豊島区配偶者等暴力防止基本計画	女性 男性	15.6% 14.8%	32.0% 38.7%	50.7% 44.8%	1.7% 1.7%
g 虐待と暴力のないまちづくり宣言	女性 男性	24.9% 19.6%	36.4% 40.4%	36.7% 39.0%	1.9% 1.0%

<図表1-10> 豊島区における男女共同参画事業・施策の認知度



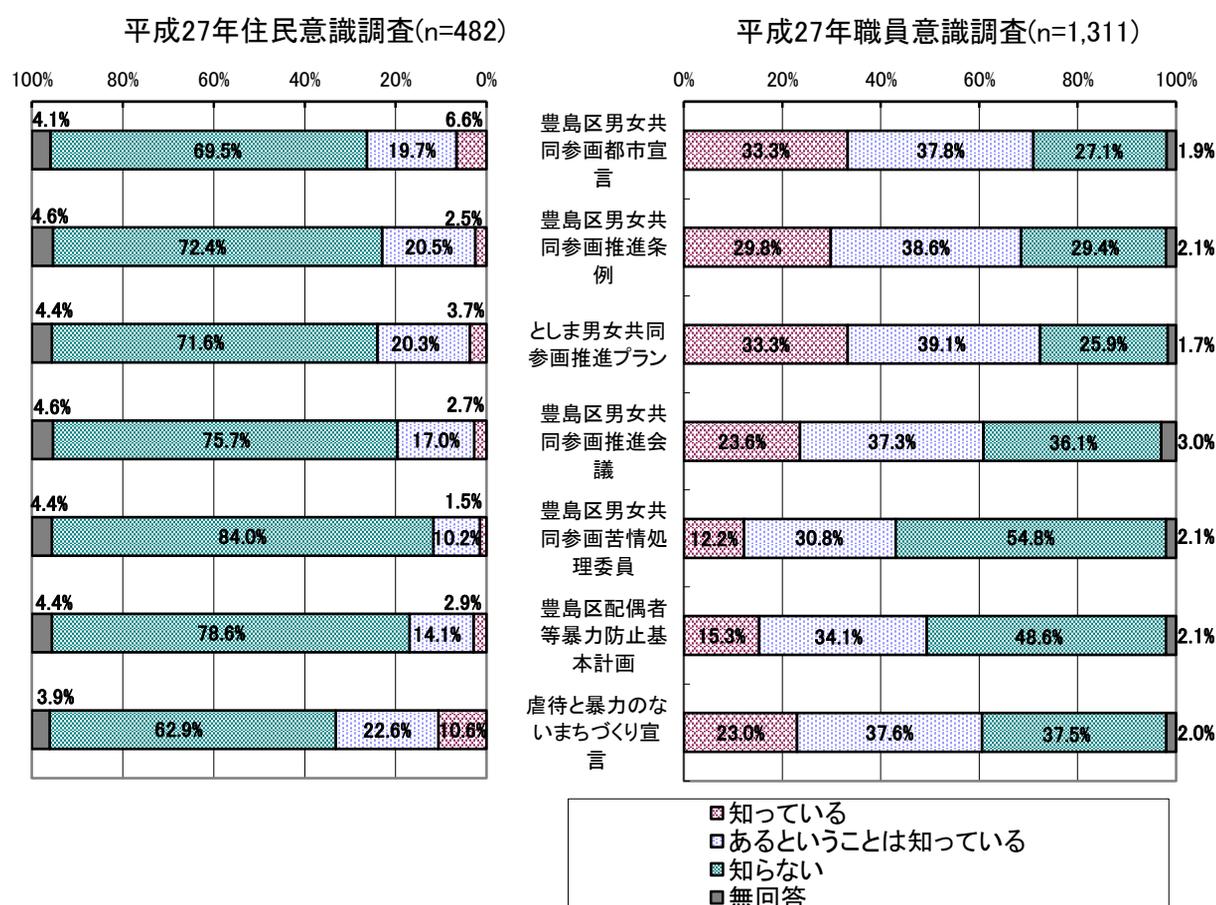
区の男女共同参画事業・施策の認知度については、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「としま男女共同参画推進プラン」が72.4%と最も高く、「豊島区男女共同参画苦情処理委員」が43.0%と最も低くなっています。

また、女性・男性との比較においては、全体的に男性の認知度が高くなっています。

職員意識調査・住民意識調査との比較においては、全ての事業について職員の認知度が高くなっています。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-11> 豊島区の男女共同参画事業に係わる事業・施策の認知度(全体比較)



問6 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいますが、次のa～kの事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっていると思いますか。次のa～kの各事業ごとに、1～4の中から当てはまるものを1つ選んでください。

(○はそれぞれ1つ)

	女性n=874 男性n=413 全体 n=1,311	区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているとは思えない	区が取り組んでいることは知っているが、よくやっているかどうかはわからない	区が取り組んでいることは知らなかった	無回答
a 学校教育における男女平等観を育てる教育指導の推進	女性	8.4%	7.9%	43.5%	37.6%	2.6%
	男性	12.6%	8.5%	41.2%	36.8%	1.0%
b 男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	女性	16.1%	7.0%	46.1%	28.1%	2.6%
	男性	20.8%	8.7%	41.9%	27.4%	1.2%
c 男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	女性	9.6%	17.4%	44.3%	26.4%	2.3%
	男性	15.3%	17.4%	46.2%	19.9%	1.2%
d 女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	女性	10.6%	11.4%	45.2%	29.6%	3.1%
	男性	12.8%	12.3%	42.1%	31.2%	1.5%
e 仕事と育児の両立支援施策の推進	女性	10.9%	14.0%	48.4%	24.3%	2.5%
	男性	12.3%	13.8%	47.9%	24.7%	1.2%
f 地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	女性	8.7%	7.8%	44.9%	35.6%	3.1%
	男性	11.1%	9.7%	44.8%	32.4%	1.9%
g 暴力(セクハラ・DV)の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など	女性	22.8%	10.4%	47.1%	17.2%	2.5%
	男性	22.8%	11.4%	46.0%	17.9%	1.9%
h 区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	女性	7.8%	12.5%	44.1%	33.1%	2.6%
	男性	16.2%	16.5%	40.4%	25.2%	1.7%
i 性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	女性	27.5%	10.9%	39.5%	19.7%	2.5%
	男性	23.0%	12.8%	37.5%	24.5%	2.2%
j 性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の理解促進に向けた取り組み	女性	5.3%	11.2%	39.6%	40.7%	3.2%
	男性	10.9%	13.6%	37.0%	36.8%	1.7%
k デートDV(恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと)予防の啓発	女性	12.2%	8.8%	40.5%	35.5%	3.0%
	男性	13.1%	10.2%	38.0%	36.8%	1.9%

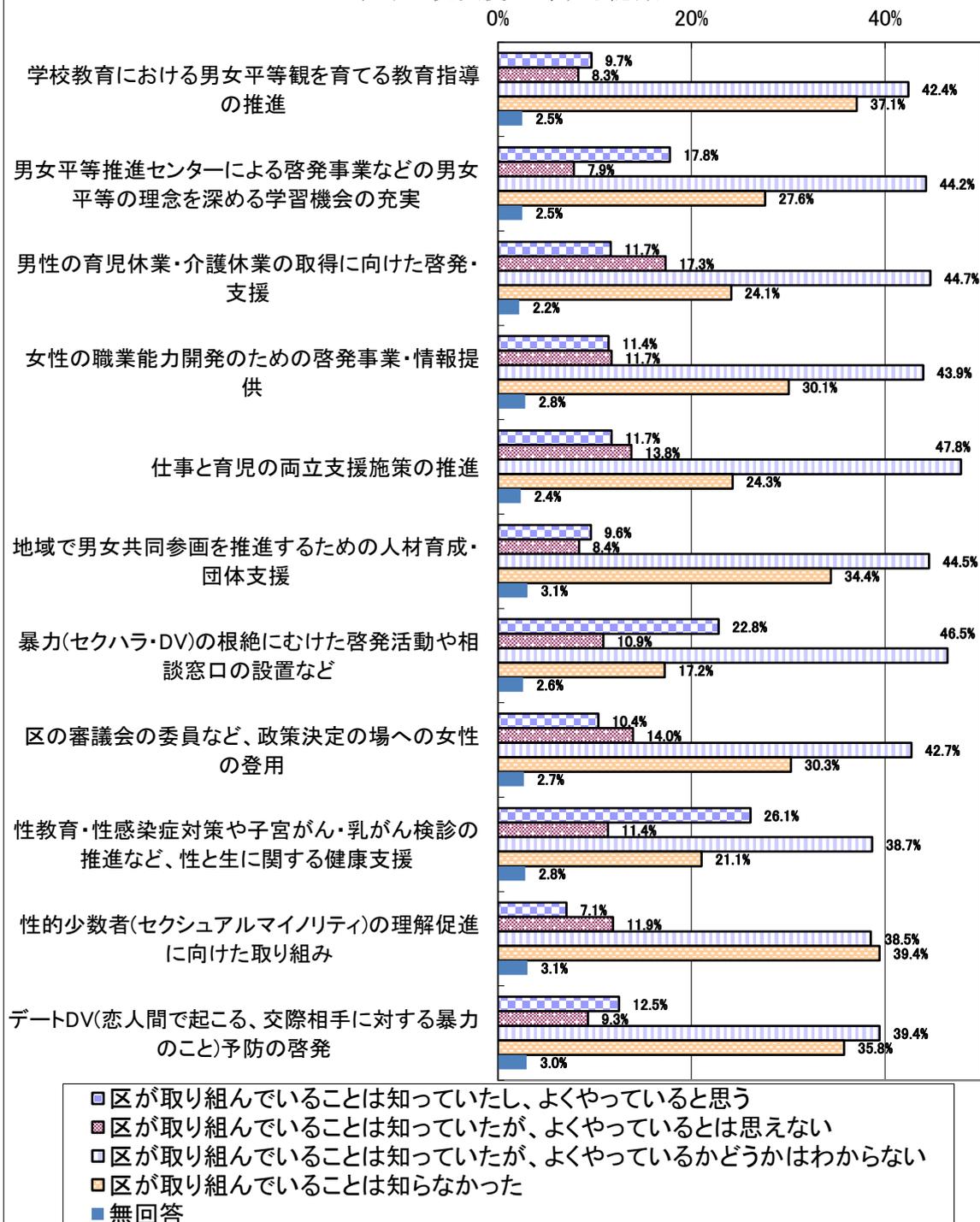
男女共同参画社会を実現するための区の取り組みの認知度については、『よくやっていると思う』は、「性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援」(26.1%)、「暴力(セクハラ・DV)の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」(22.8%)、「男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実」(17.8%)となっています。

『よくやっているとは思えない』は、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発支援」(17.3%)、「区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用」(14.0%)、「仕事と育児の両立支援施策の推進」(13.8%)となっています。

『よくやっているかどうかはわからない』は、「仕事と育児の両立支援施策の推進」（47.8%）、「暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」（46.5%）、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援」（44.7%）となっています。

『知らなかった』は、「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の理解促進に向けた取り組み」（39.4%）、「学校教育における男女平等観を育てる教育指導の推進」（37.1%）、「デートDV（恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと）予防の啓発」（35.8%）となっています。

<図表1-12> 豊島区における男女共同参画事業の認知度と取り組みの充実度に対する認識

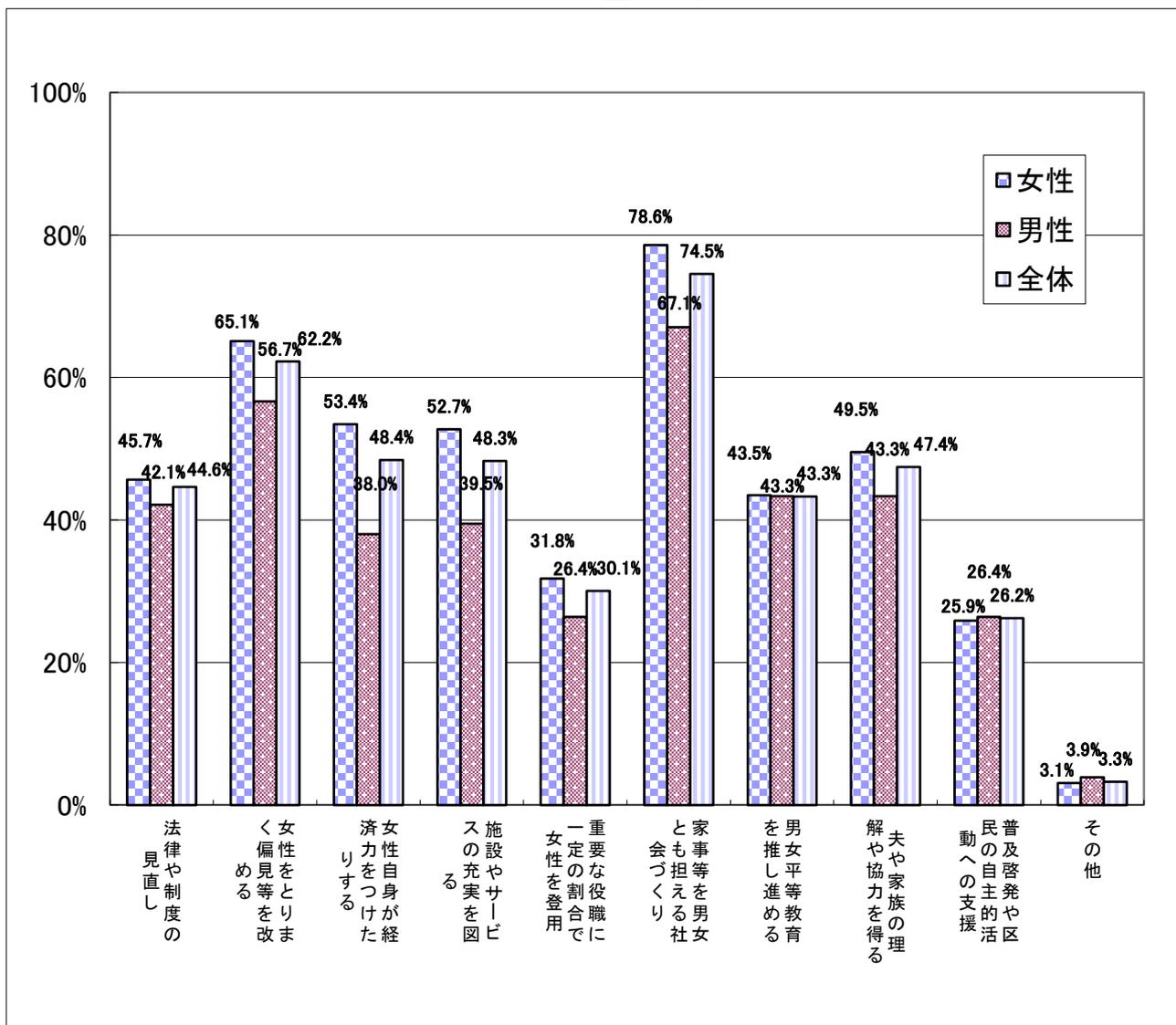


問7 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は該当するものいくつでも)

	女性	男性	全体
法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	399 45.7%	174 42.1%	585 44.6%
女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	569 65.1%	234 56.7%	816 62.2%
女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	467 53.4%	157 38.0%	635 48.4%
女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	461 52.7%	163 39.5%	633 48.3%
行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	278 31.8%	109 26.4%	394 30.1%
家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	687 78.6%	277 67.1%	977 74.5%
学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること	380 43.5%	179 43.3%	568 43.3%
夫や家族の理解や協力を得ること	433 49.5%	179 43.3%	622 47.4%
男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	226 25.9%	109 26.4%	344 26.2%
その他	27 3.1%	16 3.9%	43 3.3%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表1-13> 男女共同参画社会実現のために重要と思うこと

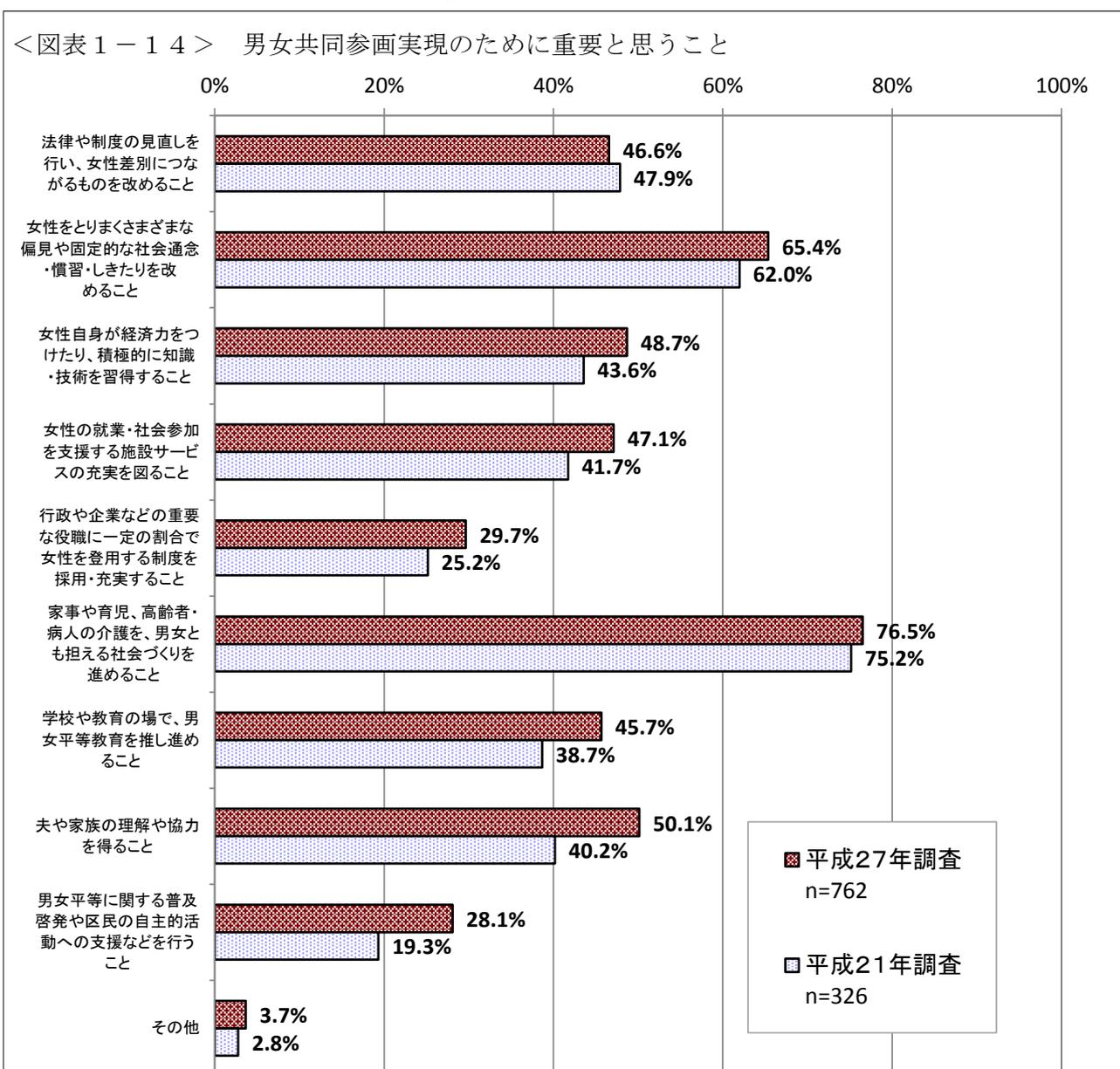


男女共同参画社会実現のために重要と思うことを複数回答してもらったところ、最も多かったのは「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」（女性78.6%、男性67.1%、全体74.5%）で、次いで「女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」（女性65.1%、男性56.7%、全体62.2%）となっています。

また、男女で違いが大きかったのは「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」（女性53.4%、男性38.0%、15.4ポイント差）「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（女性52.7%、男性39.5%、13.2ポイント差）となっています。

平成21年調査と比較すると、「法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」以外の全ての項目で、前回の値を上回っています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較



※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

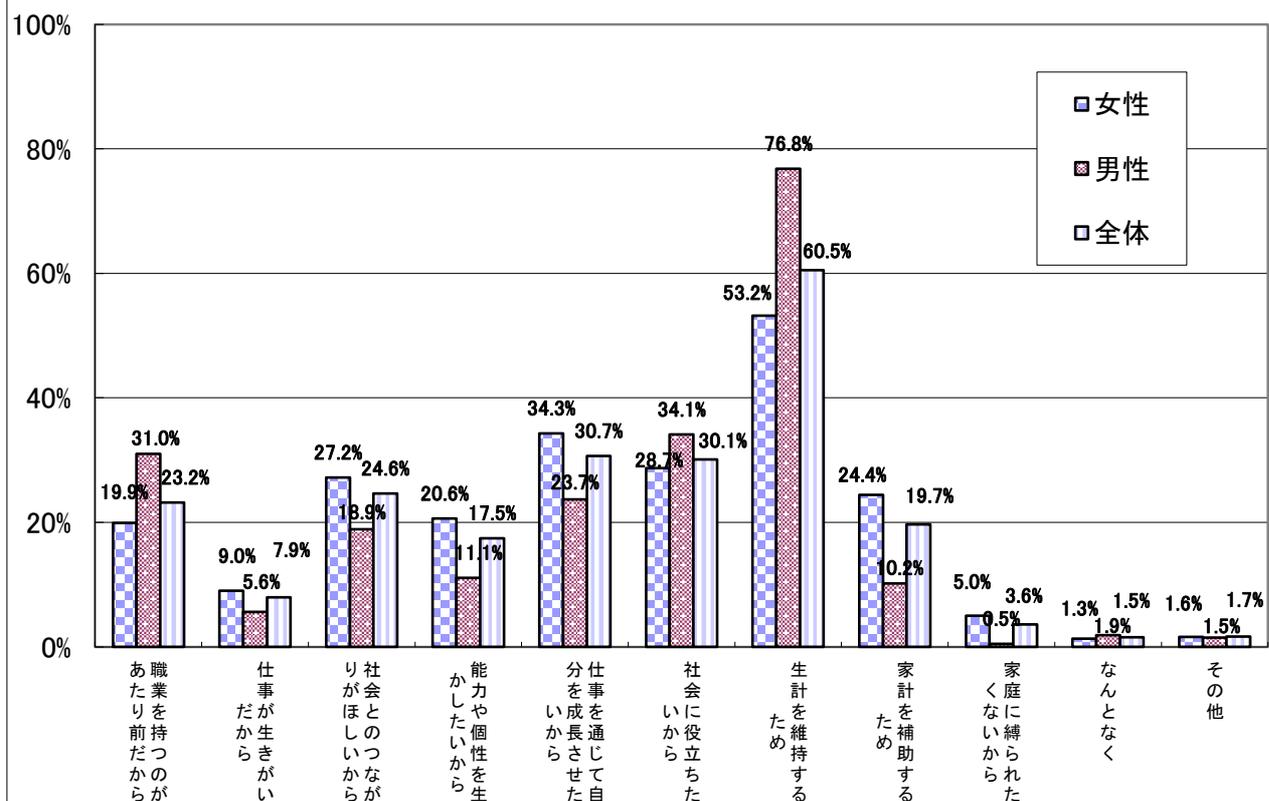
《 2 仕事について 》

問8 あなたが現在働いている理由は何ですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
職業を持つのがあたり前だから	174 19.9%	128 31.0%	304 23.2%
仕事が生きがいだから	79 9.0%	23 5.6%	104 7.9%
社会とのつながりがほしいから	238 27.2%	78 18.9%	323 24.6%
能力や個性を生かしたいから	180 20.6%	46 11.1%	229 17.5%
仕事を通じて自分を成長させたいから	300 34.3%	98 23.7%	402 30.7%
社会に役立ちたいから	251 28.7%	141 34.1%	395 30.1%
生計を維持するため	465 53.2%	317 76.8%	793 60.5%
家計を補助するため	213 24.4%	42 10.2%	258 19.7%
家庭に縛られたくないから	44 5.0%	2 0.5%	47 3.6%
なんとなく	11 1.3%	8 1.9%	20 1.5%
その他	14 1.6%	6 1.5%	22 1.7%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表2-1> 現在働いている理由

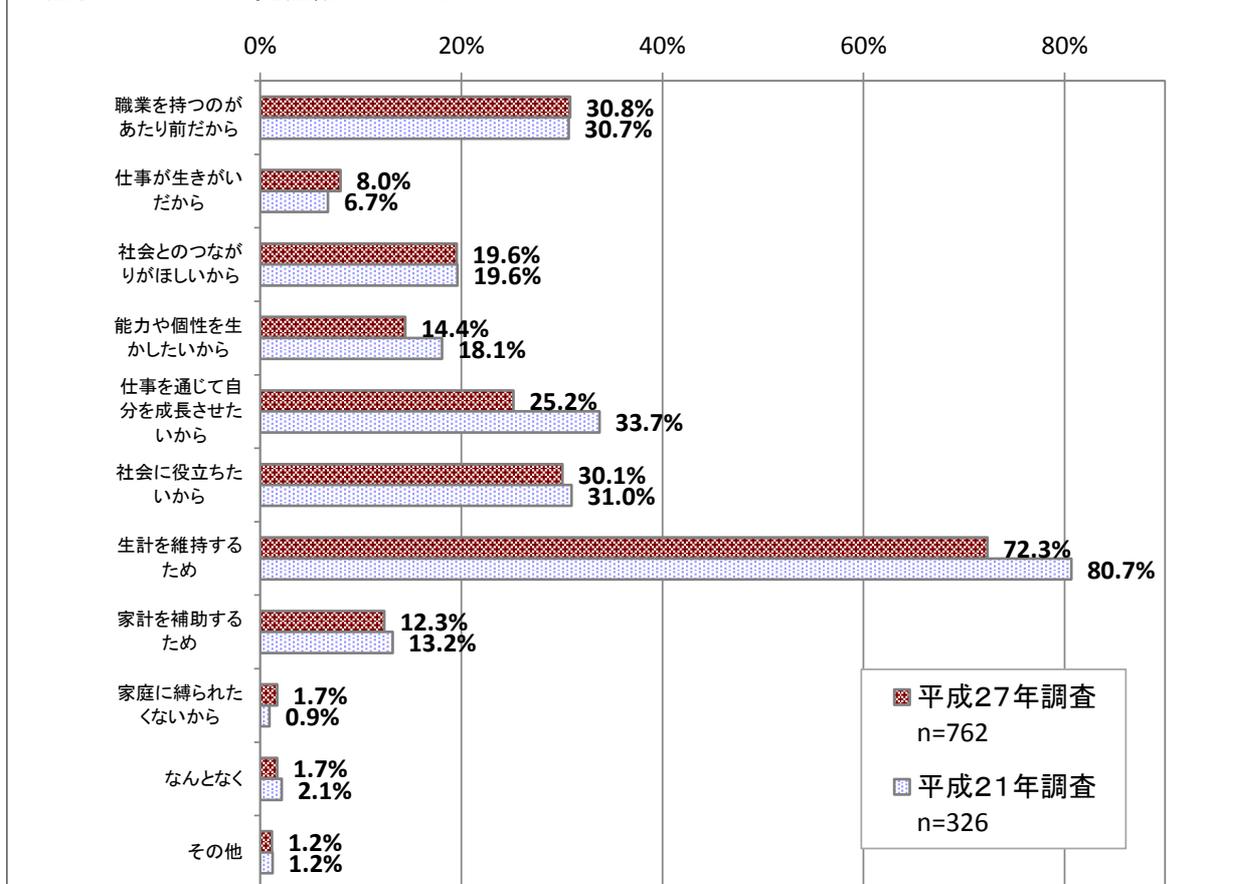


平成21年調査と比較すると、大きな違いは見られません。

変化が大きかったものとしては「仕事を通じて自分を成長させたいから」（平成21年調査33.7% 平成27年調査25.2%、8.5ポイント減）があげられます。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表2-2> 現在働いている理由



<図表2-3> 職員意識調査男女別比較

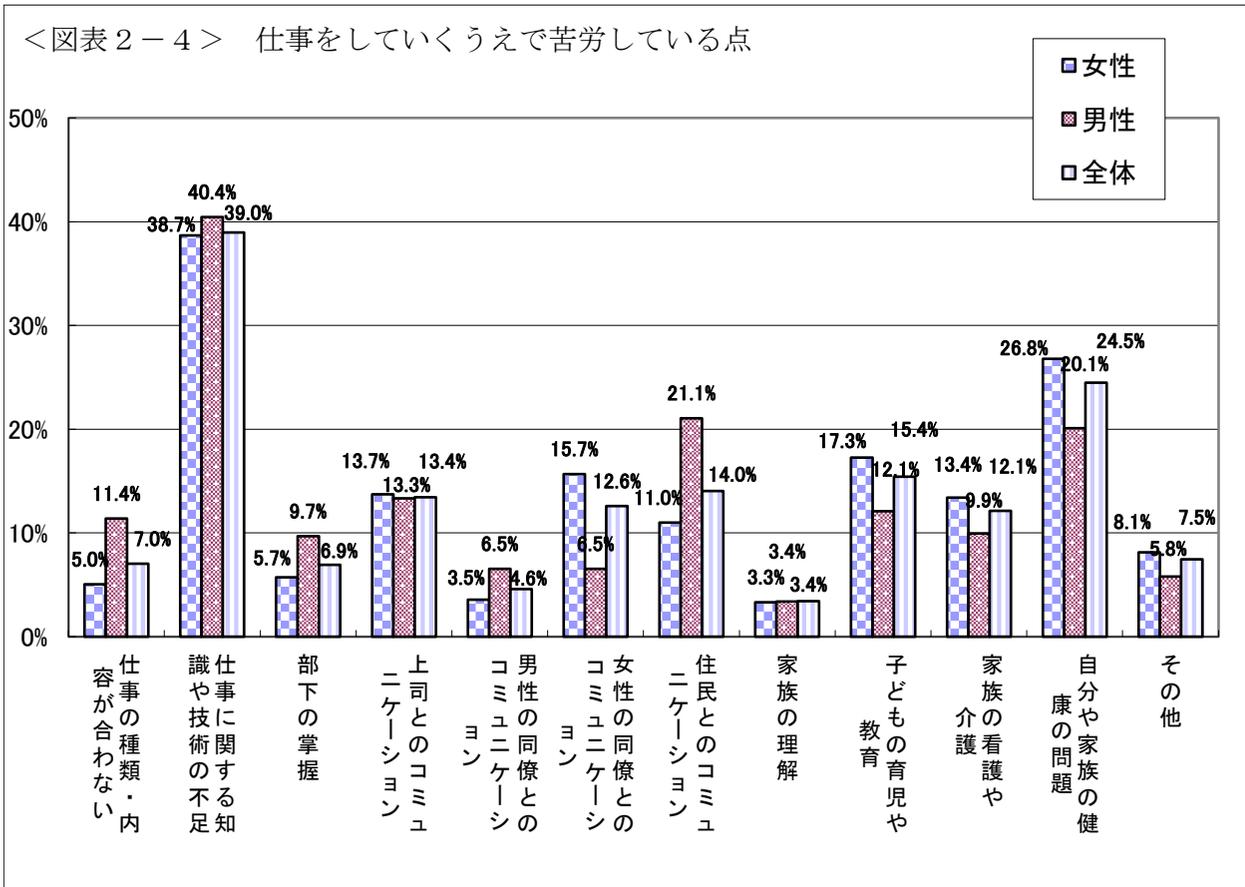
	平成27年調査		平成21年調査	
	女性	男性	女性	男性
H27 女性n=465 男性n=294				
H21 女性n=190 男性n=136				
職業を持つのがあたり前だから	28.0%	35.7%	33.2%	27.2%
仕事が生きがいだから	10.5%	4.1%	10.0%	2.2%
社会とのつながりがほしいから	21.5%	16.3%	25.8%	11.0%
能力や個性を生かしたいから	19.8%	6.1%	24.2%	9.6%
仕事を通じて自分を成長させたいから	27.1%	22.4%	38.4%	27.2%
社会に役立ちたいから	29.5%	31.3%	26.3%	37.5%
生計を維持するため	64.5%	84.4%	70.5%	94.9%
家計を補助するため	16.6%	5.8%	16.3%	8.8%
家庭に縛られたくないから	2.6%	0.3%	1.6%	0.0%
なんとなく	1.3%	2.0%	2.1%	2.2%
その他	1.3%	1.0%	1.1%	1.5%

※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問9 あなたが現在仕事をしていくうえで苦勞している点はどんなことですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事の種類・内容が合わない	44 5.0%	47 11.4%	92 7.0%
仕事に関する知識や技術の不足	338 38.7%	167 40.4%	511 39.0%
部下の掌握	50 5.7%	40 9.7%	91 6.9%
上司とのコミュニケーション	120 13.7%	55 13.3%	176 13.4%
男性の同僚とのコミュニケーション	31 3.5%	27 6.5%	60 4.6%
女性の同僚とのコミュニケーション	137 15.7%	27 6.5%	165 12.6%
住民とのコミュニケーション	96 11.0%	87 21.1%	184 14.0%
家族の理解	29 3.3%	14 3.4%	45 3.4%
子どもの育児や教育	151 17.3%	50 12.1%	202 15.4%
家族の看護や介護	117 13.4%	41 9.9%	159 12.1%
自分や家族の健康の問題	234 26.8%	83 20.1%	321 24.5%
その他	71 8.1%	24 5.8%	98 7.5%

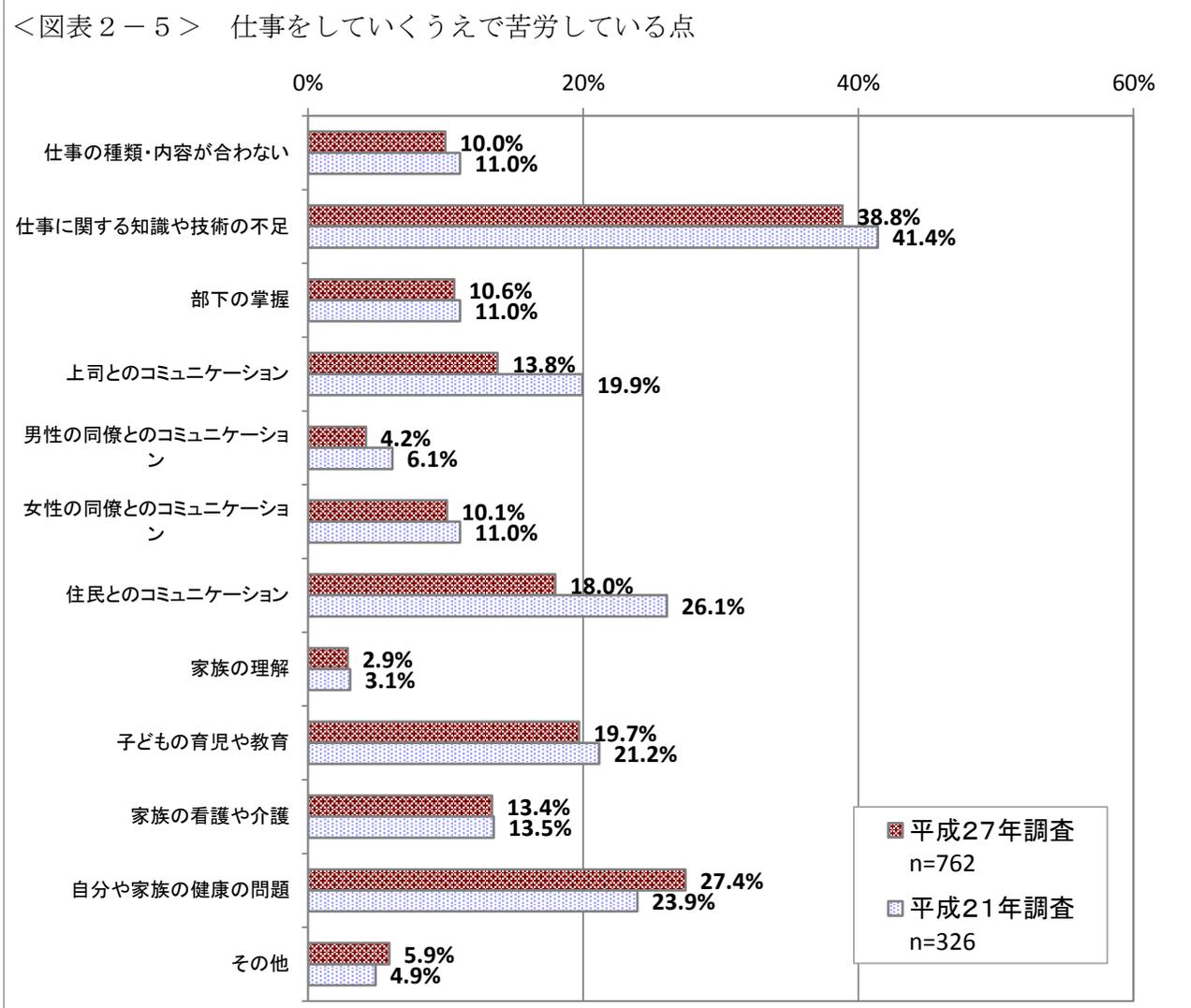
女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311



現在仕事をしていく上で苦勞している点をたずねたところ、全体としては「仕事に関する知識や技術の不足」（39.0%）、次に「自分や家族の健康の問題」（24.5%）をあげるのが多くなっています。男女別に見ると、女性では「仕事に関する知識や技術の不足」（38.7%）、「自分や家族の健康の問題」（26.8%）の順で高く、男性は「仕事に関する知識や技術の不足」（40.4%）、「住民とのコミュニケーション」（21.1%）の順で高くなっています。

平成21年調査との比較では、「上司とのコミュニケーション」が19.9%から13.8%に、「住民とのコミュニケーション」が26.1%から18.0%に減っています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較



<図表2-6> 職員意識調査男女別比較

	平成27年調査		平成21年調査	
	女性	男性	女性	男性
H27 女性n=465 男性n=294 H21 女性n=190 男性n=136				
仕事の種類・内容が合わない	7.1%	14.3%	7.9%	15.4%
仕事に関する知識や技術の不足	37.2%	41.5%	41.1%	41.9%
部下の掌握	9.2%	12.6%	7.9%	15.4%
上司とのコミュニケーション	14.6%	12.6%	18.9%	21.3%
男性の同僚とのコミュニケーション	3.2%	5.8%	4.7%	8.1%
女性の同僚とのコミュニケーション	13.5%	4.8%	12.6%	8.8%
住民とのコミュニケーション	15.7%	21.8%	21.1%	33.1%
家族の理解	2.4%	3.7%	3.7%	2.2%
子どもの育児や教育	23.0%	14.6%	25.8%	14.7%
家族の看護や介護	15.3%	10.5%	18.4%	6.6%
自分や家族の健康の問題	32.9%	19.0%	30.0%	15.4%
その他	6.9%	4.1%	6.3%	2.9%

※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問10 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、現実はどうですか。次の中から選んでください。

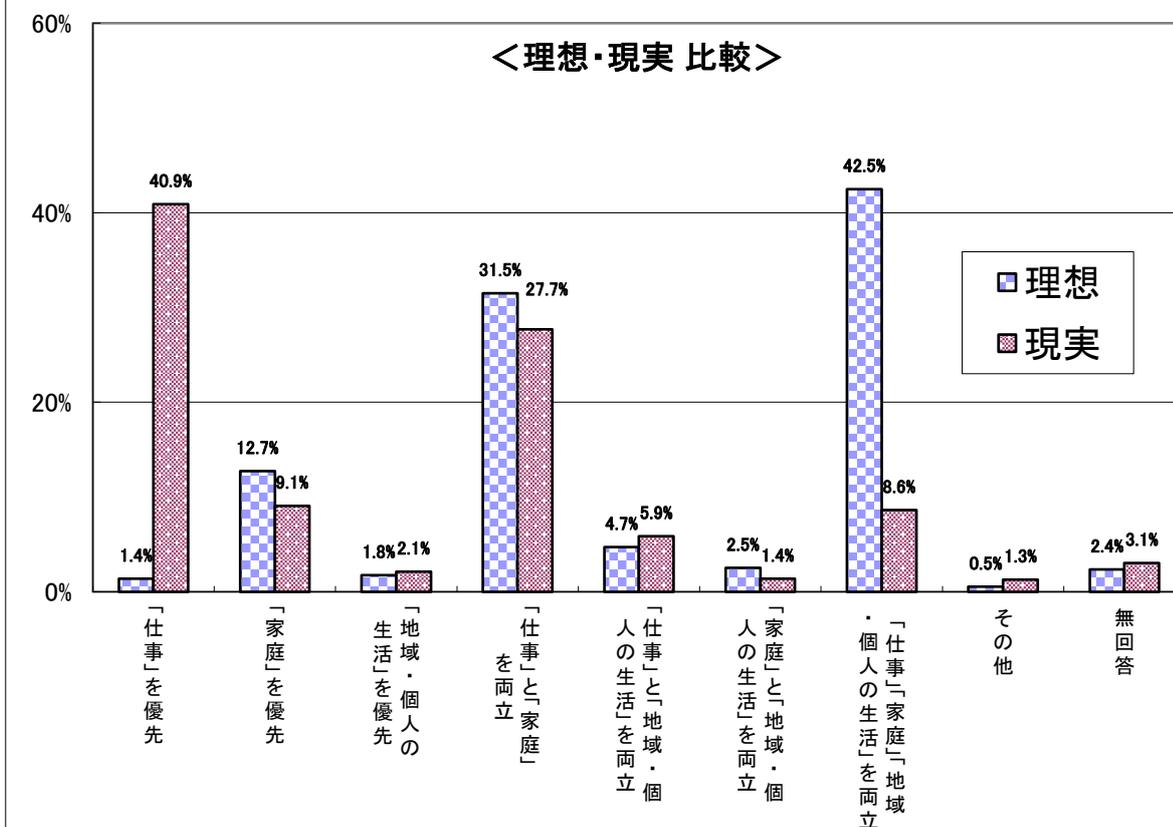
	a 理想			b 現実		
	女性	男性	全体	女性	男性	全体
「仕事」を優先	11 1.3%	7 1.7%	18 1.4%	349 39.9%	182 44.1%	536 40.9%
「家庭」を優先	100 11.4%	65 15.7%	167 12.7%	84 9.6%	33 8.0%	119 9.1%
「地域・個人の生活」を優先	9 1.0%	14 3.4%	23 1.8%	15 1.7%	13 3.1%	28 2.1%
「仕事」と「家庭」を両立	293 33.5%	115 27.8%	413 31.5%	254 29.1%	105 25.4%	363 27.7%
「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	32 3.7%	28 6.8%	62 4.7%	50 5.7%	26 6.3%	77 5.9%
「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	15 1.7%	17 4.1%	33 2.5%	11 1.3%	7 1.7%	18 1.4%
「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	389 44.5%	162 39.2%	557 42.5%	72 8.2%	37 9.0%	113 8.6%
その他	3 0.3%	3 0.7%	7 0.5%	9 1.0%	7 1.7%	17 1.3%
無回答	22 2.5%	2 0.5%	31 2.4%	30 3.4%	3 0.7%	40 3.1%
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874

男性 n = 413

全体 n = 1,311

<図表2-7> 「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について



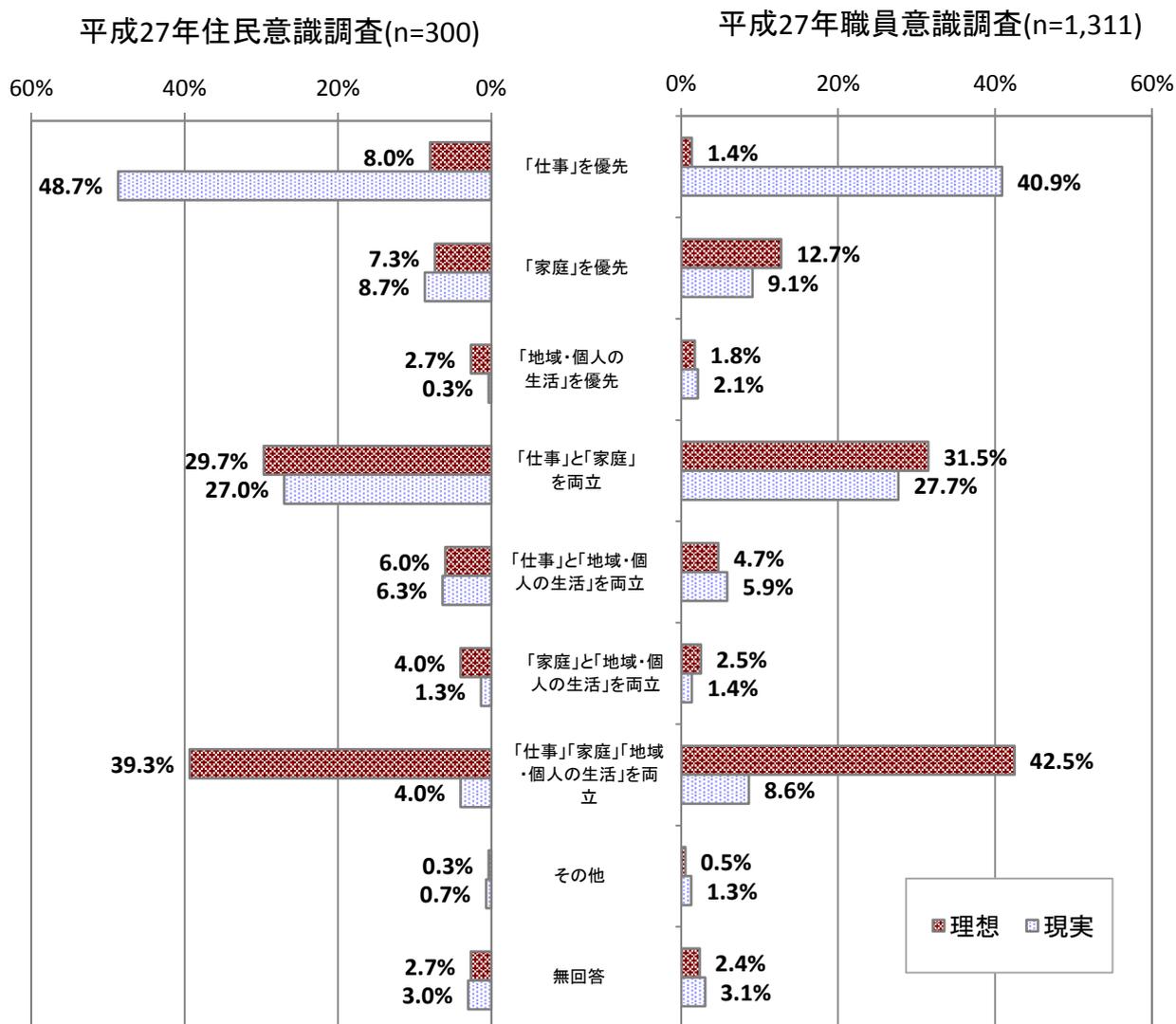
◇理想では、『「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立』が全体で見ると42.5%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が31.5%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

◇現実では、『「仕事」を優先』が全体で見ると40.9%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が27.7%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

職員意識調査・住民意識調査と比較してみても同様の傾向が見られます。また、平成21年調査との比較でも、大きな差異は見られません。

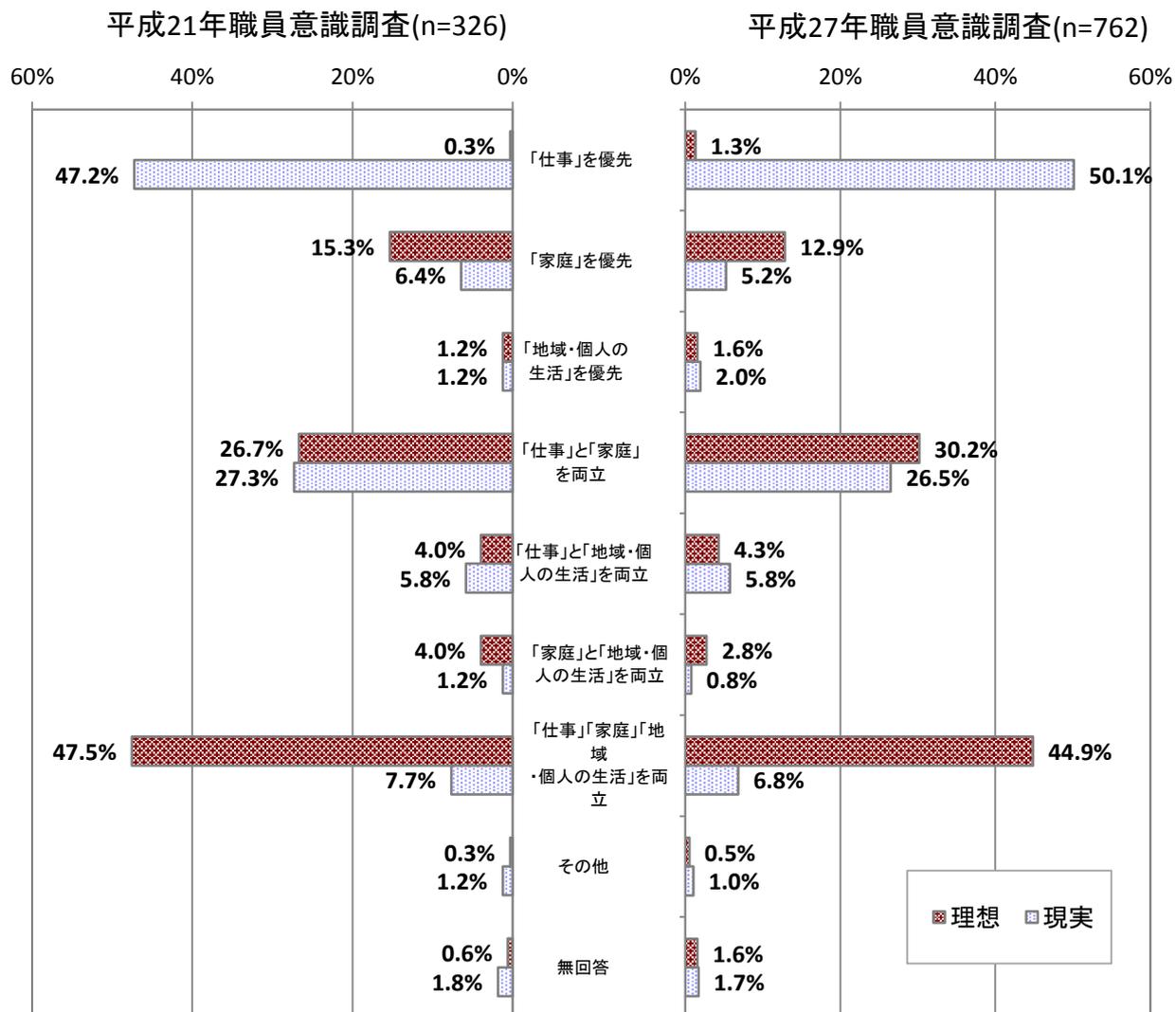
<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表2-8>



<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表2-9>

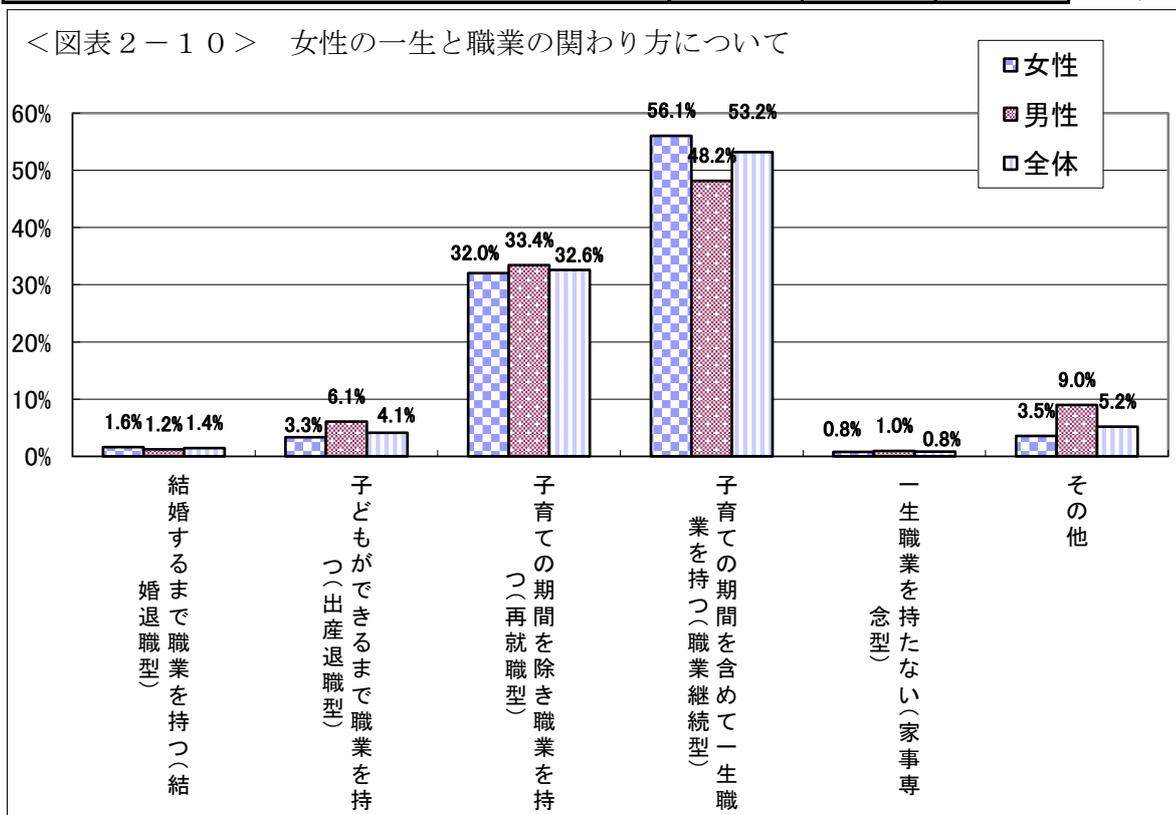


※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問11 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれに
あたりますか。(○は1つ)

	女性	男性	全体
結婚するまで職業を持つ(結婚退職型)	14 1.6%	5 1.2%	19 1.4%
子どもができるまで職業を持つ(出産退職型)	29 3.3%	25 6.1%	54 4.1%
子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)	280 32.0%	138 33.4%	427 32.6%
子育ての期間を含めて一生職業を持つ (職業継続型)	490 56.1%	199 48.2%	697 53.2%
一生職業を持たない(家事専念型)	7 0.8%	4 1.0%	11 0.8%
その他	31 3.5%	37 9.0%	68 5.2%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

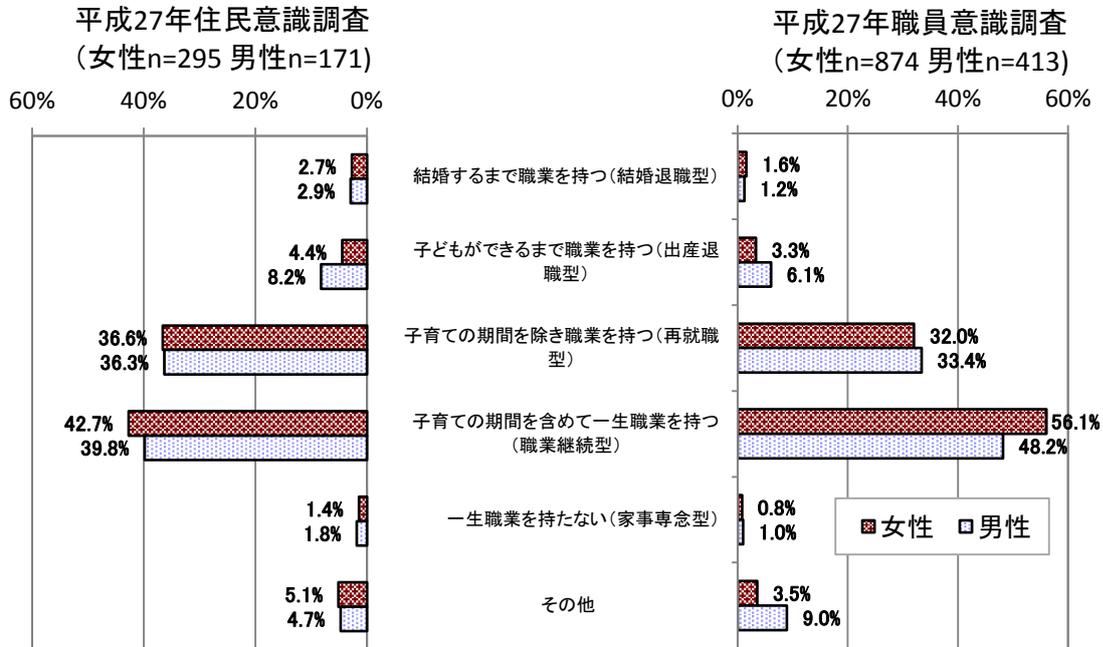


女性の一生と職業の関わり方については、「子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型)」が女性56.1%、男性48.2%で最も多くなっています。次いで、「子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)」が女性32.0%、男性33.4%の順となっています。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

職員意識調査・住民意識調査を比べると、女性の職員で「子育ての期間を含めて一生職業を持つ（職業継続型）」が56.1%と、住民の42.7%よりも13.4ポイント高くなっています。

<図表2-11>



問12 あなたの職場では、仕事の分担はどのようになっていますか。
次のa～hごとに、1～3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

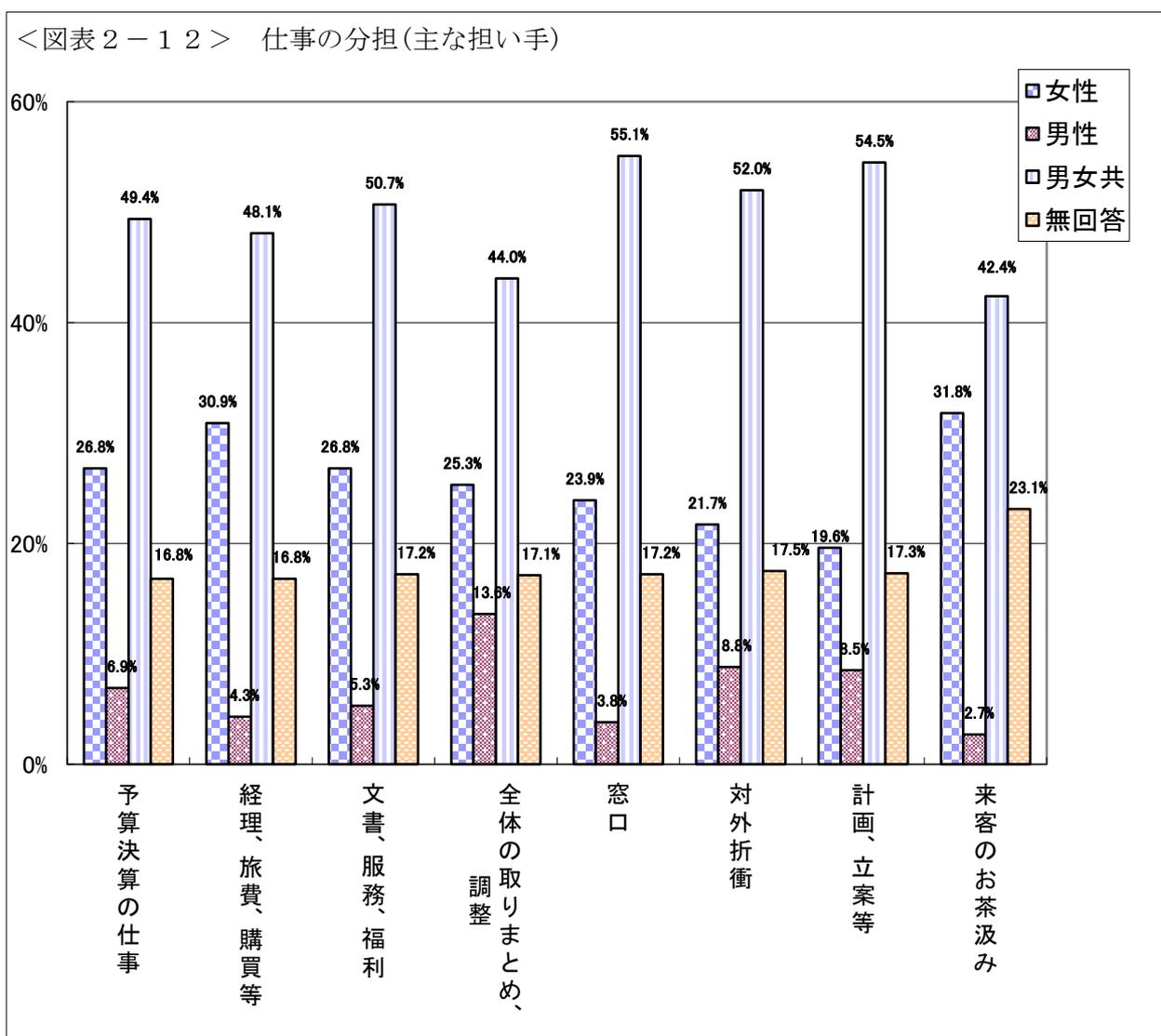
	女性	男性	男女共	無回答
a 予算決算の仕事	26.8%	6.9%	49.4%	16.8%
b 経理、旅費、購買等	30.9%	4.3%	48.1%	16.8%
c 文書、サービス、福利	26.8%	5.3%	50.7%	17.2%
d 全体の取りまとめ、調整	25.3%	13.6%	44.0%	17.1%
e 窓口	23.9%	3.8%	55.1%	17.2%
f 対外折衝	21.7%	8.8%	52.0%	17.5%
g 計画、立案等	19.6%	8.5%	54.5%	17.3%
h 来客のお茶汲み	31.8%	2.7%	42.4%	23.1%

女性 n = 874

男性 n = 413

全体 n = 1,311

<図表2-12> 仕事の分担(主な担い手)

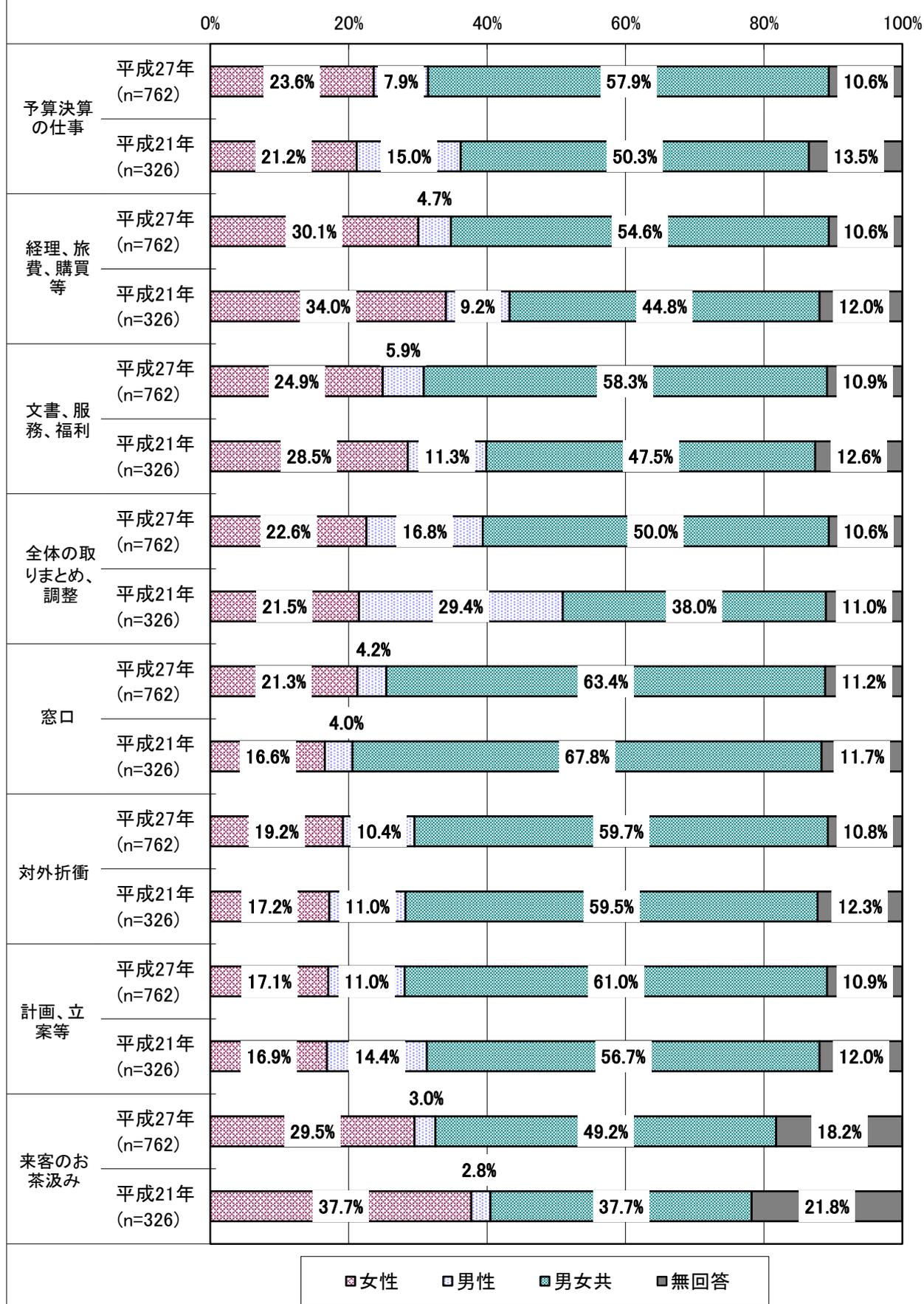


「来客のお茶汲み」については「男女共」の割合が比較的低く、「女性」の割合が比較的高くなっています。

平成21年調査と比べると、「来客のお茶汲み」について「女性」の割合が37.7%から29.5%に減少しています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表2-13> 仕事の分担(主な担い手)



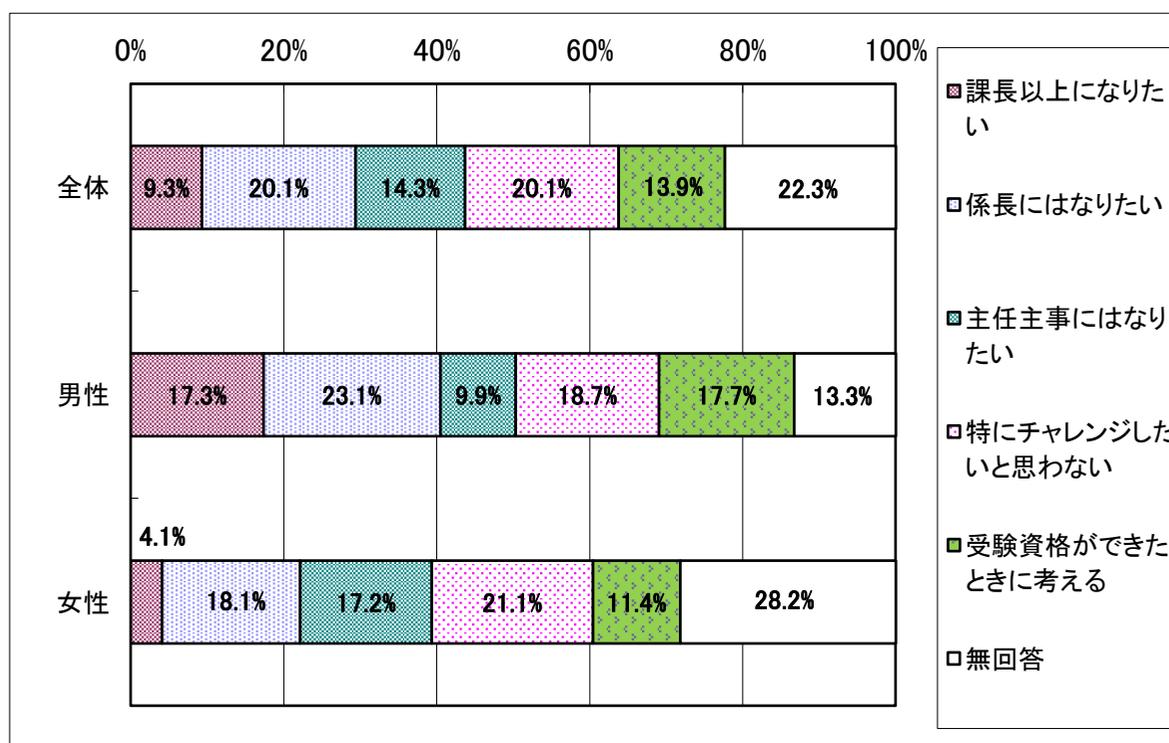
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問13 再任用・再雇用・非常勤・臨時職員以外の方にお聞きします。
 あなたが定年まで勤めるとして、どこまでチャレンジしますか。(〇は1つ)

	女性	男性	全体
課長以上になりたい	19 4.1%	51 17.3%	71 9.3%
係長にはなりたい	84 18.1%	68 23.1%	153 20.1%
主任主事にはなりたい	80 17.2%	29 9.9%	109 14.3%
特にチャレンジしたいと思わない	98 21.1%	55 18.7%	153 20.1%
受験資格ができたときに考える	53 11.4%	52 17.7%	106 13.9%
無回答	131 28.2%	39 13.3%	170 22.3%
総計	465 100.0%	294 100.0%	762 100.0%

女性 n = 465
 男性 n = 294
 全体 n = 762

<図表2-14>



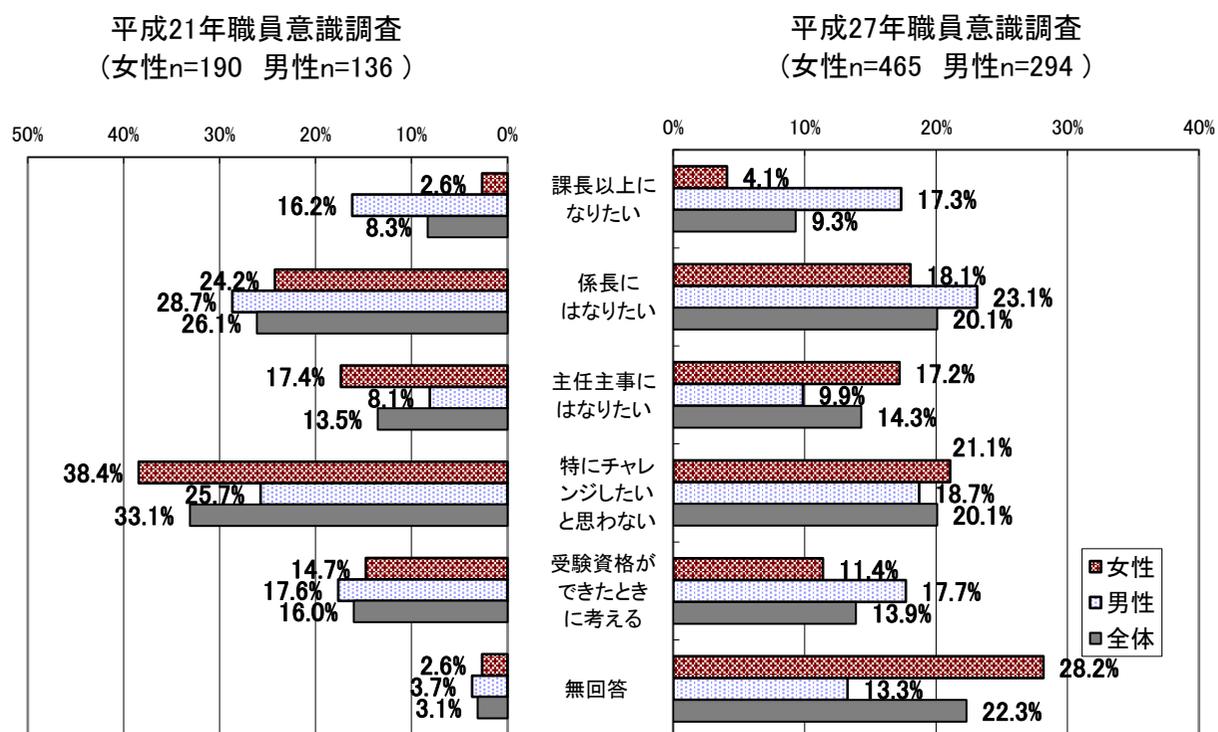
昇進については、「課長以上になりたい」「係長にはなりたい」とした割合は女性の22.2%に対し男性は40.4%と18.2ポイント男性の方が高くなっています。「主任主事にはなりたい」を選んだ割合は女性が多いが、それを合計しても、なお男性の方がチャレンジしたいとする割合は高くなっています。

平成21年調査と比較すると、「課長以上になりたい」「係長にはなりたい」「主任主事にはなりたい」とした合計の割合は、男女あわせた全体では47.9%だったのが43.7%と4.2ポイント減少しています。男性では「課長以上になりたい」とした割合は、平成21年調査の16.2%から17.3%へと1.1ポイント増加しています。一方女性は2.6%から4.1%と1.5ポイント増加しています。

又、女性で「係長にはなりたい」が24.2%から18.1%と6.1ポイント減少していますが、「特にチャレンジしたいと思わない」も38.4%から21.1%と17.3ポイント減少しています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表2-15>



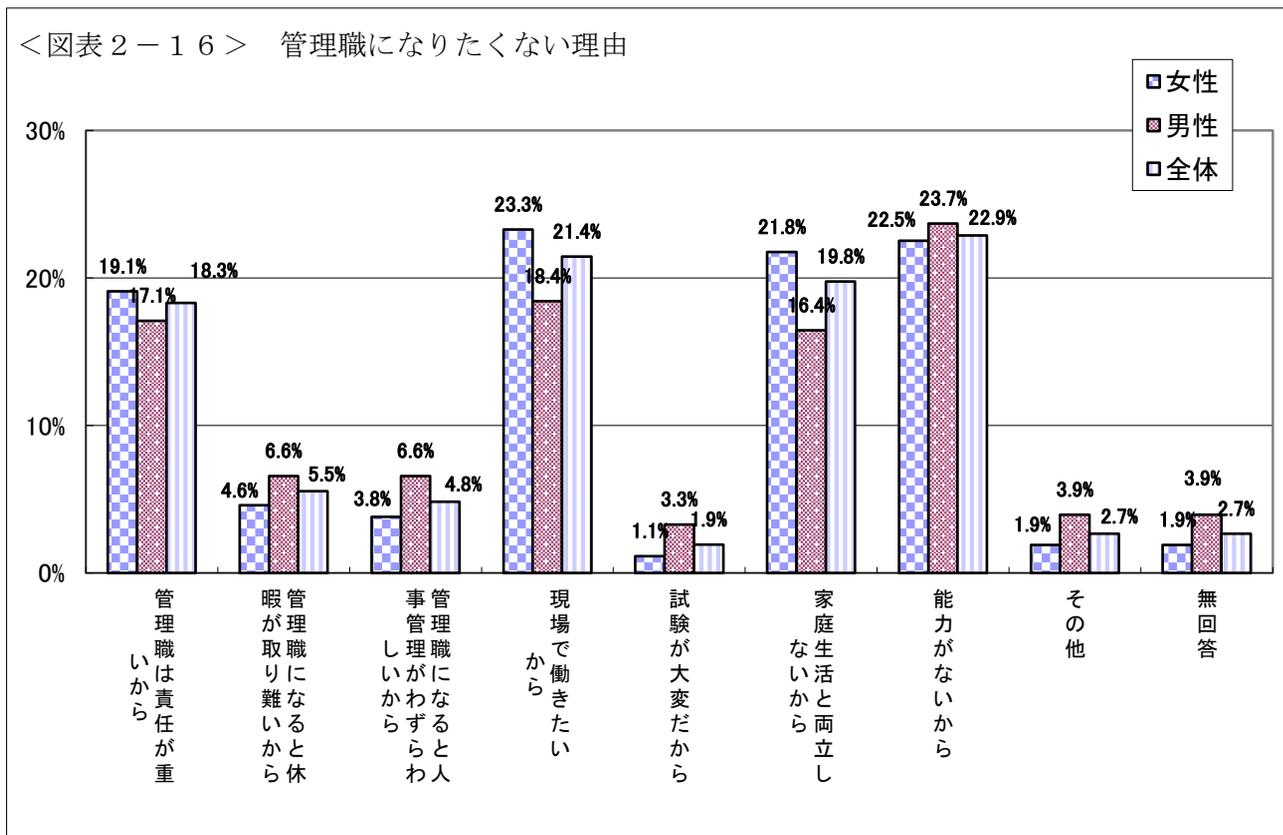
※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問14 (問13で 2、3、4 と答えた方に伺います。) 管理職になりたくない理由は何ですか。(〇は1つ)

	女性	男性	全体
管理職は責任が重いから	50 19.1%	26 17.1%	76 18.3%
管理職になると休暇が取り難いから	12 4.6%	10 6.6%	23 5.5%
管理職になると人事管理がわずらわしいから	10 3.8%	10 6.6%	20 4.8%
現場で働きたいから	61 23.3%	28 18.4%	89 21.4%
試験が大変だから	3 1.1%	5 3.3%	8 1.9%
家庭生活と両立しないから	57 21.8%	25 16.4%	82 19.8%
能力がないから	59 22.5%	36 23.7%	95 22.9%
その他	5 1.9%	6 3.9%	11 2.7%
無回答	5 1.9%	6 3.9%	11 2.7%
総計	262 100.0%	152 100.0%	415 100.0%

女性 n = 262
男性 n = 152
全体 n = 415

<図表 2-16> 管理職になりたくない理由

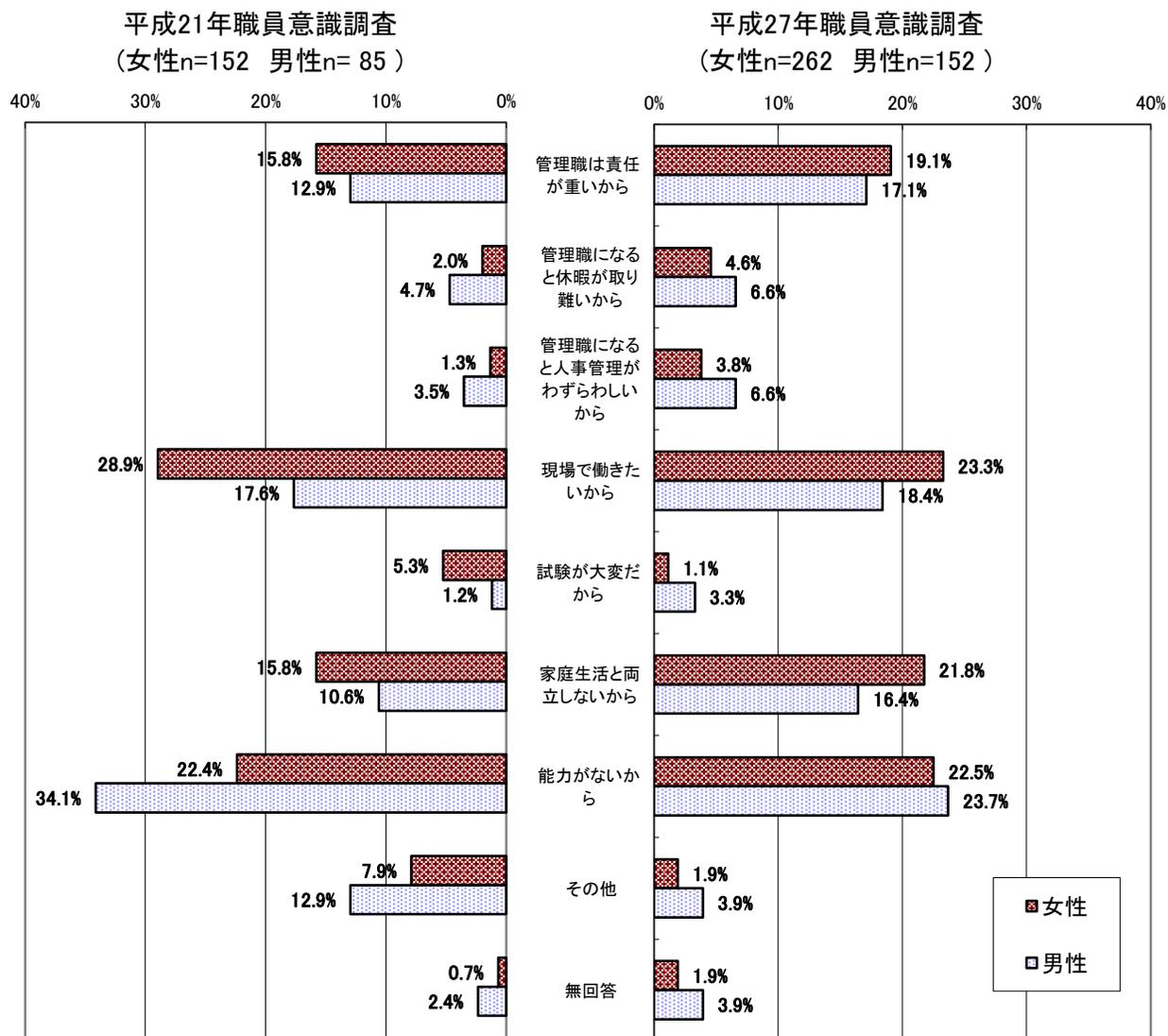


管理職（課長以上）になりたくない理由をたずねたところ、「能力がないから」が22.9%と最も高く、次に「現場で働きたいから」が21.4%となっています。

平成21年調査との比較でも、「現場で働きたいから」、「能力がないから」の割合が高く、大きな差は見られません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表2-17>



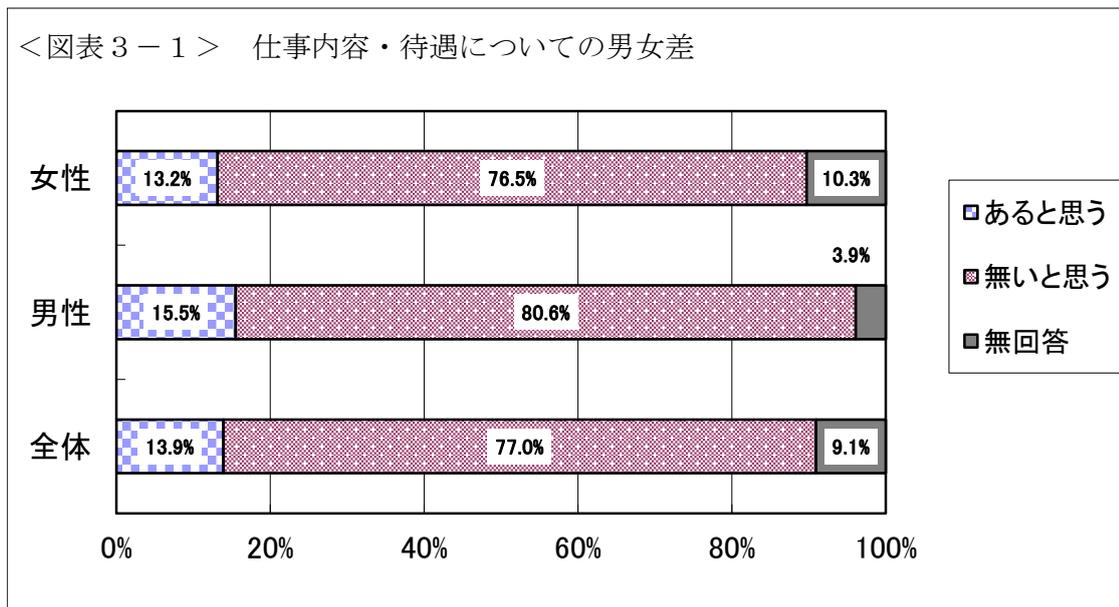
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

《 3 職場について 》

問15 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、男女の扱いに差はありますか。

	女性	男性	全体	
あると思う	115 13.2%	64 15.5%	182 13.9%	女性 n = 874 男性 n = 413 全体 n = 1,311
無いと思う	669 76.5%	333 80.6%	1,010 77.0%	
無回答	90 10.3%	16 3.9%	119 9.1%	
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%	

<図表3-1> 仕事内容・待遇についての男女差

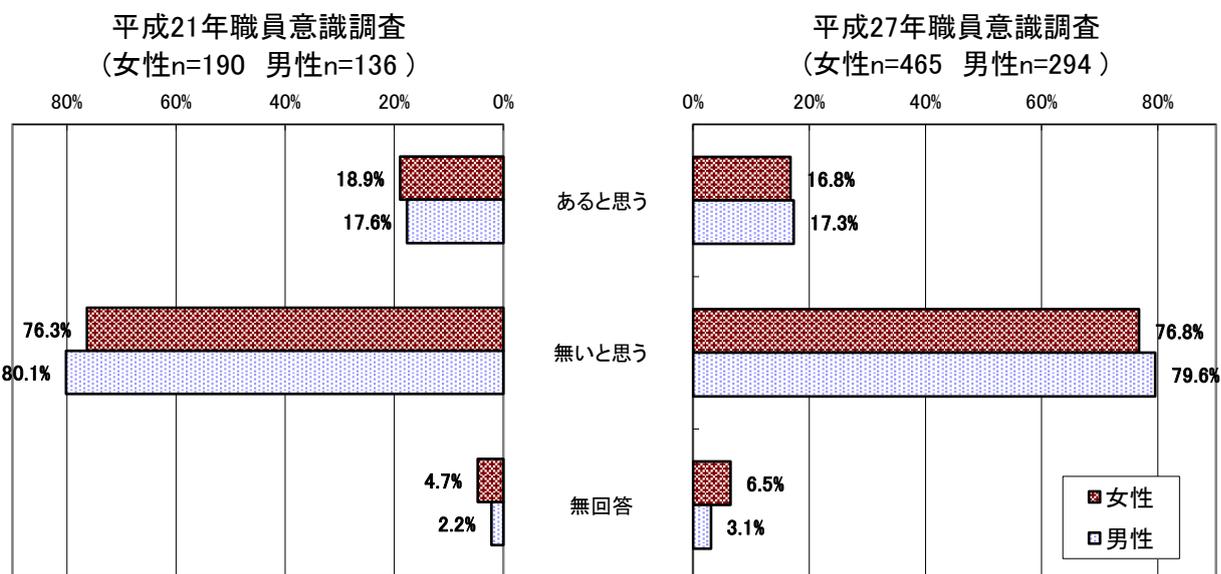


仕事の内容や待遇面で男女差があるかたずねたところ、男女差が「ある」とした人は1割強となっています。

平成21年調査と比較して大きな差異はありません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

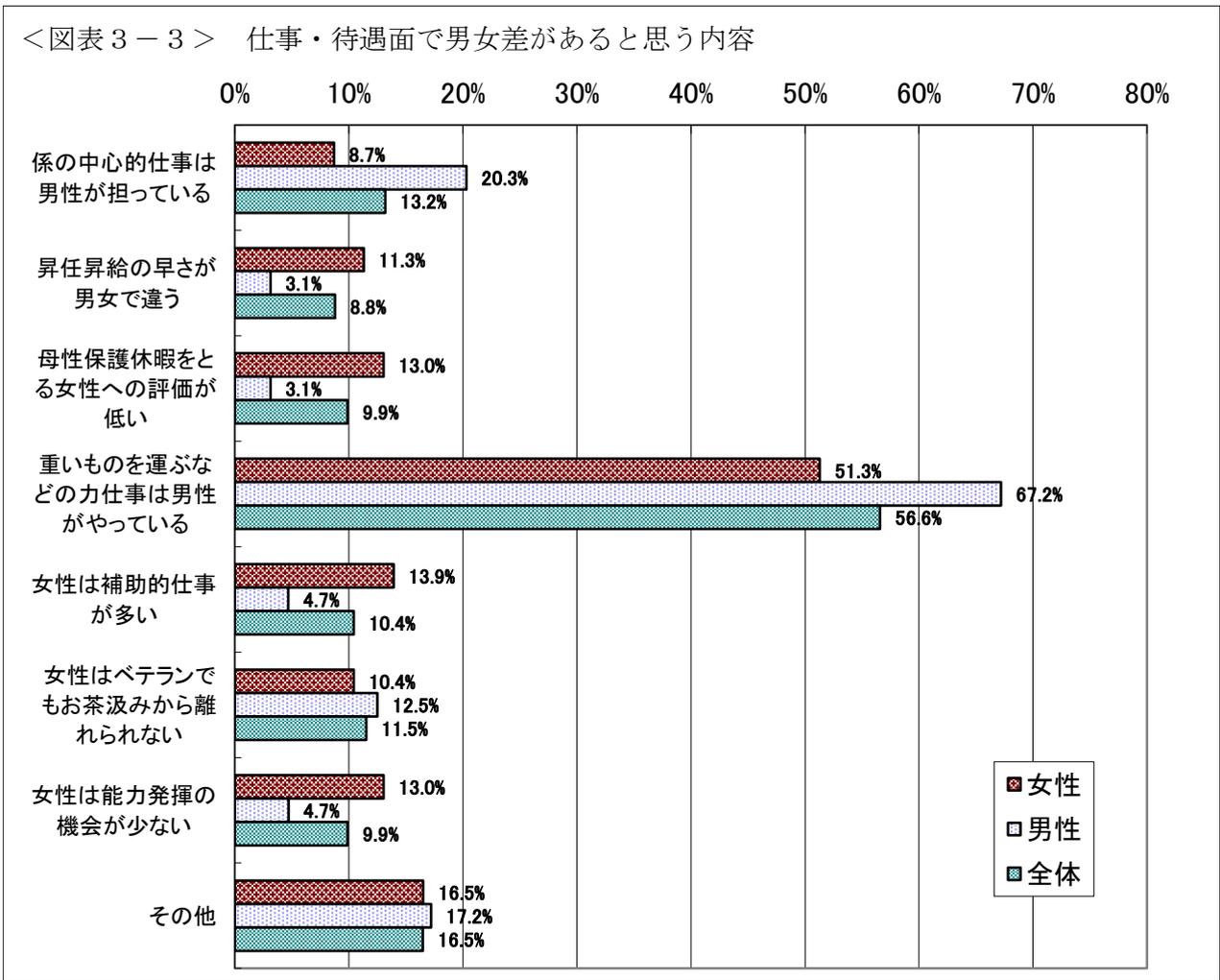
<図表3-2>



※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問16 (問15で「1あると思う」と答えた方に伺います) それはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇はいくつでも)

	女性	男性	全体	
係の中心的仕事は男性が担っている	10 8.7%	13 20.3%	24 13.2%	
昇任昇給の早さが男女で違う	13 11.3%	2 3.1%	16 8.8%	
母性保護休暇をとる女性への評価が低い	15 13.0%	2 3.1%	18 9.9%	
重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている	59 51.3%	43 67.2%	103 56.6%	
女性は補助的の仕事が多い	16 13.9%	3 4.7%	19 10.4%	
女性はベテランでもお茶汲みから離れられない	12 10.4%	8 12.5%	21 11.5%	女性 n = 115
女性は能力発揮の機会が少ない	15 13.0%	3 4.7%	18 9.9%	男性 n = 64
その他	19 16.5%	11 17.2%	30 16.5%	全体 n = 182



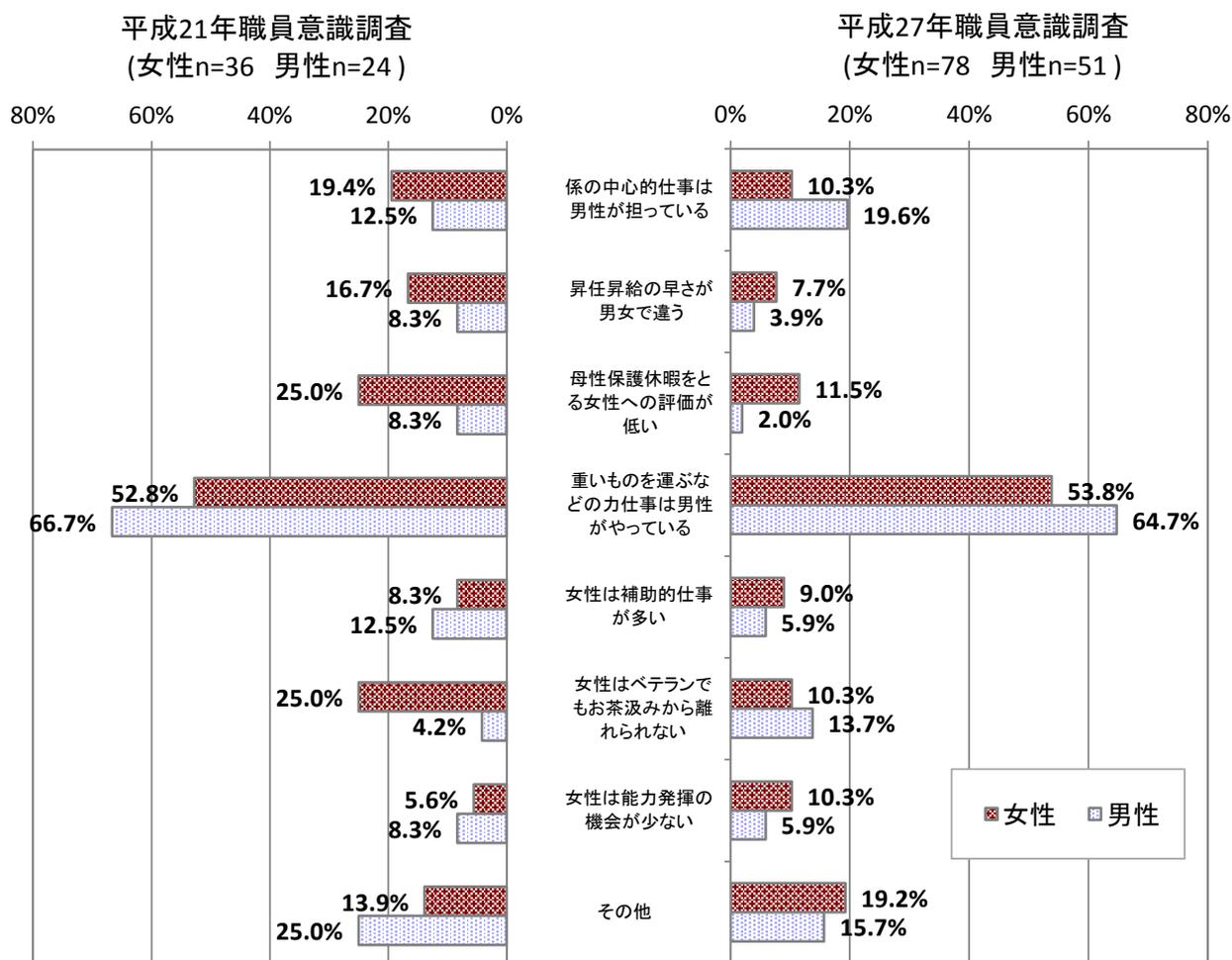
職場での男女の扱いに差があると答えた人に、その内容をたずねたところ「重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている」が女性51.3%、男性67.2%と最も多くなっています。

「母性保護休暇をとる女性への評価が低い」については、平成21年度調査と比較すると、女性は13.5ポイント、男性は6.3ポイント減っています。

また、「女性はベテランでもお茶汲みから離れられない」は、女性が14.7ポイント減少しているのに対し、男性は9.5ポイント増加、「係の中心的仕事は男性が担っている」も女性が9.1ポイント減少しているのに対し、男性は7.1ポイント増加しています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-4>



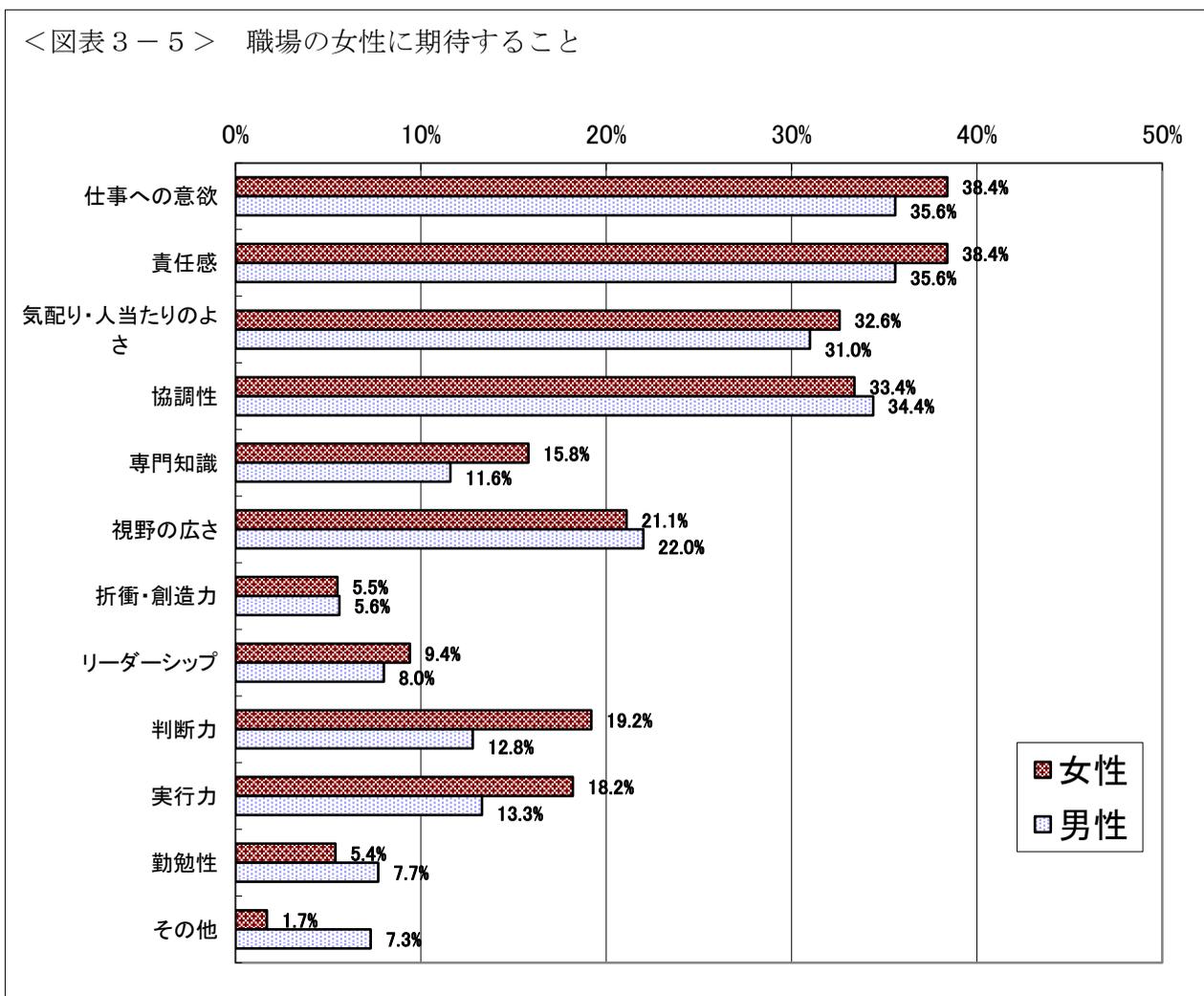
※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問17 あなたが職場の女性に期待することは主にどんなことですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事への意欲	336 38.4%	147 35.6%	486 37.1%
責任感	336 38.4%	147 35.6%	486 37.1%
気配り・人当たりのよさ	285 32.6%	128 31.0%	416 31.7%
協調性	292 33.4%	142 34.4%	440 33.6%
専門知識	138 15.8%	48 11.6%	187 14.3%
視野の広さ	184 21.1%	91 22.0%	280 21.4%
折衝・創造力	48 5.5%	23 5.6%	73 5.6%
リーダーシップ	82 9.4%	33 8.0%	115 8.8%
判断力	168 19.2%	53 12.8%	223 17.0%
実行力	159 18.2%	55 13.3%	215 16.4%
勤勉性	47 5.4%	32 7.7%	79 6.0%
その他	15 1.7%	30 7.3%	45 3.4%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

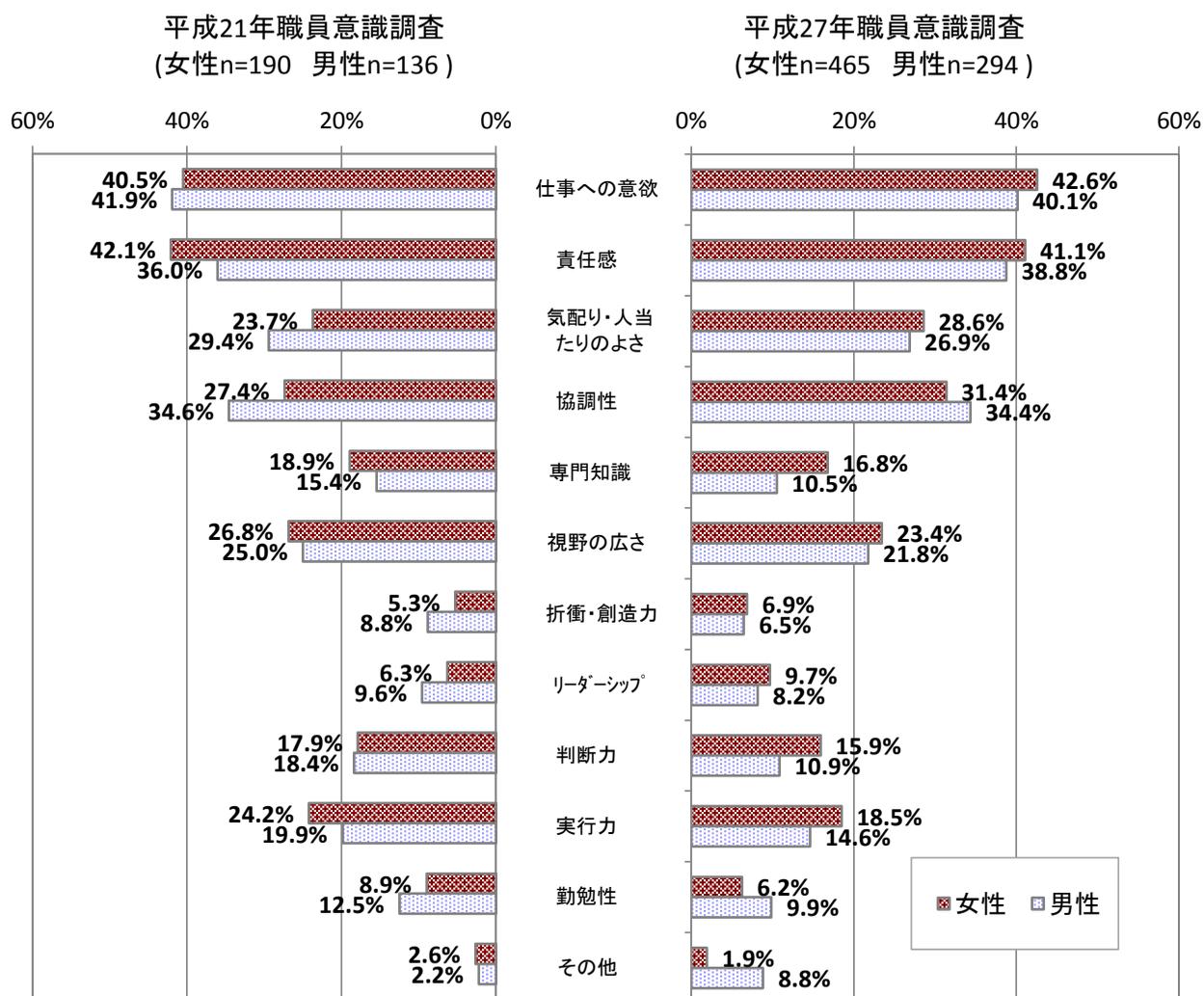
<図表3-5> 職場の女性に期待すること



女性職員に期待することを全員にたずねたところ「仕事への意欲」（女性38.4%、男性35.6%）、「責任感」（女性38.4%、男性35.6%）が高くなっています。また、平成21年調査と比較しても大きな差異はみられません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-6>



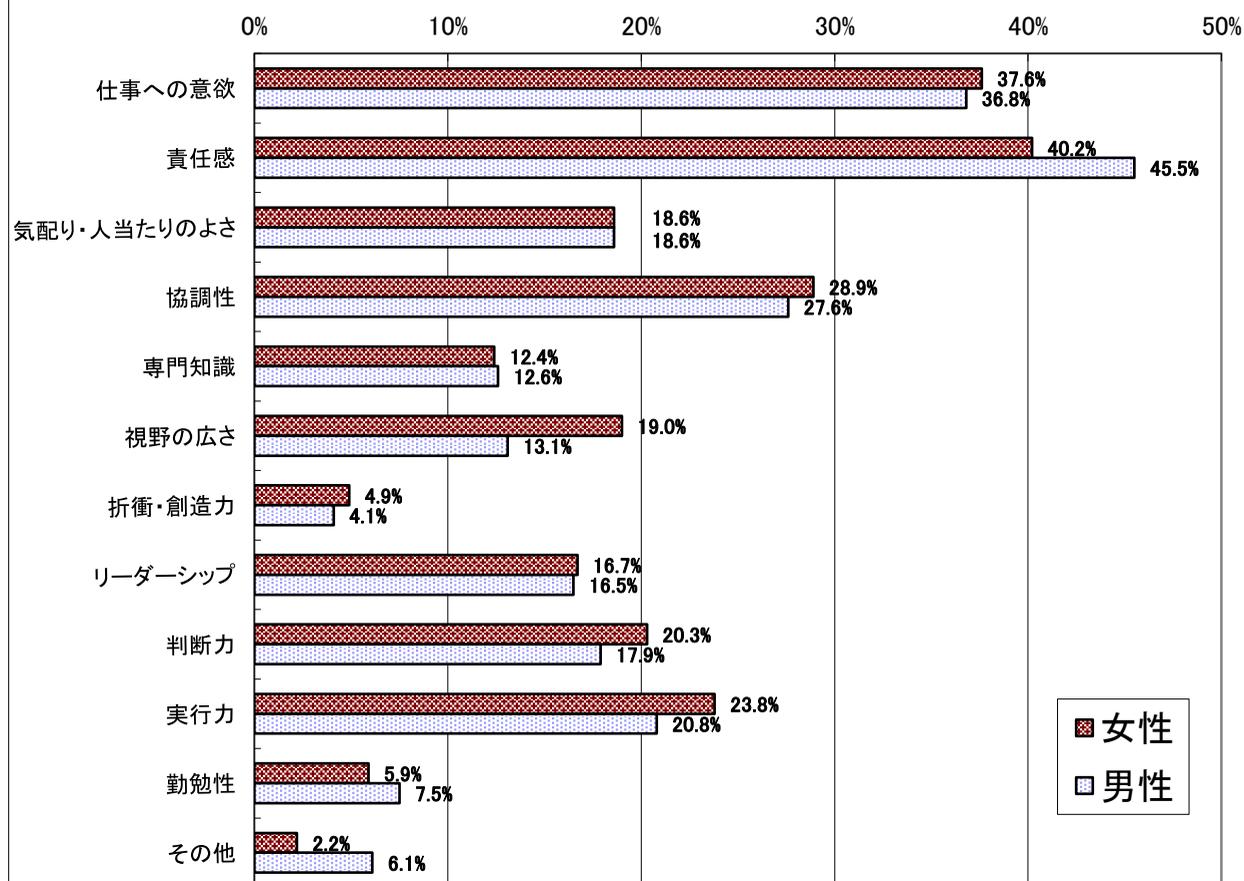
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問18 あなたが職場の男性に期待することは主にどんなことですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事への意欲	329 37.6%	152 36.8%	486 37.1%
責任感	351 40.2%	188 45.5%	543 41.4%
気配り・人当たりのよさ	163 18.6%	77 18.6%	242 18.5%
協調性	253 28.9%	114 27.6%	370 28.2%
専門知識	108 12.4%	52 12.6%	161 12.3%
視野の広さ	166 19.0%	54 13.1%	220 16.8%
折衝・創造力	43 4.9%	17 4.1%	61 4.7%
リーダーシップ	146 16.7%	68 16.5%	215 16.4%
判断力	177 20.3%	74 17.9%	251 19.1%
実行力	208 23.8%	86 20.8%	295 22.5%
勤勉性	52 5.9%	31 7.5%	84 6.4%
その他	19 2.2%	25 6.1%	44 3.4%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

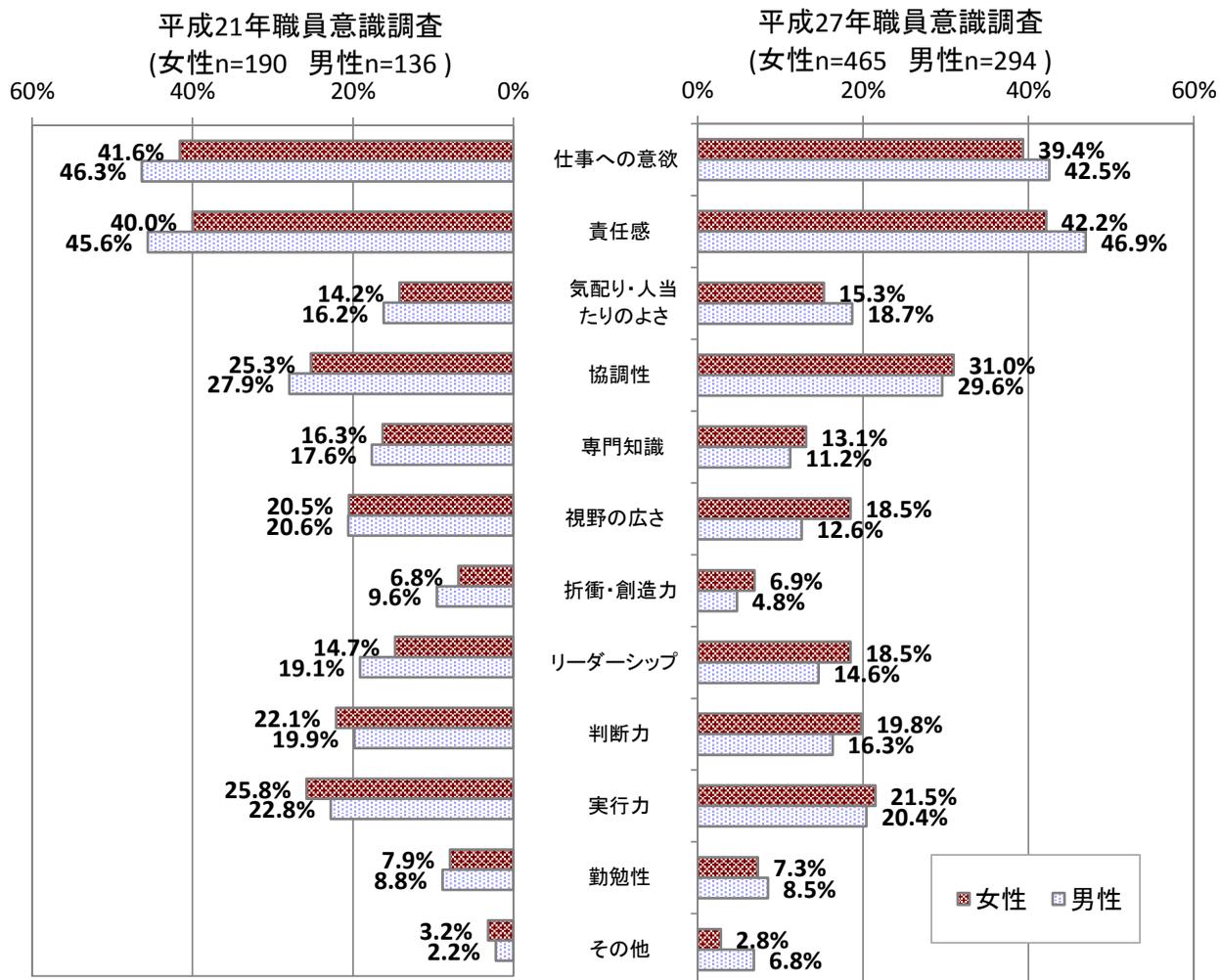
<図表3-7> 職場の男性に期待すること



男性職員に期待することを全員にたずねたところ「責任感」（女性40.2%、男性45.5%）、「仕事への意欲」（女性37.6%、男性36.8%）の割合が高くなっています。また、平成21年調査と比べても大きな差異は見られません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-8>



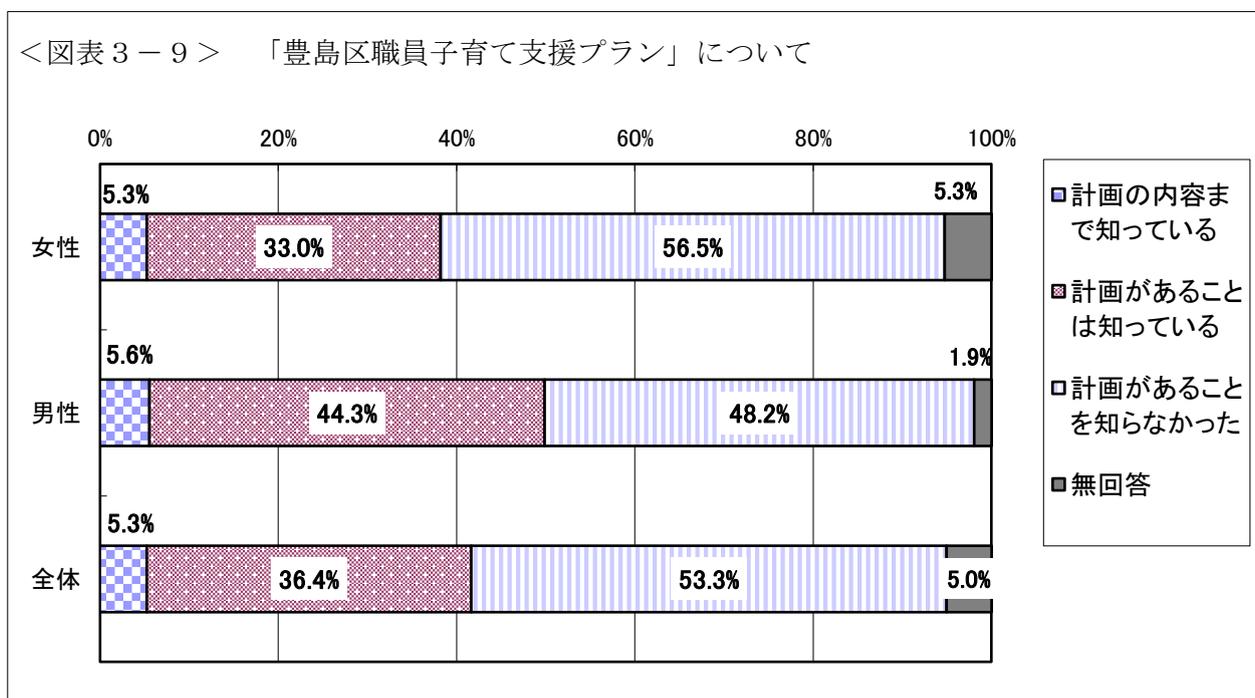
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問19 仕事と育児が両立できる職場づくりを進めるために、平成27年3月に「職員子育て支援プラン」が策定されましたが、あなたはこのプランを知っていますか。（○は1つ）

	女性	男性	全体
計画の内容まで知っている	46 5.3%	23 5.6%	69 5.3%
計画があることは知っている	288 33.0%	183 44.3%	477 36.4%
計画があることを知らなかった	494 56.5%	199 48.2%	699 53.3%
無回答	46 5.3%	8 1.9%	66 5.0%
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

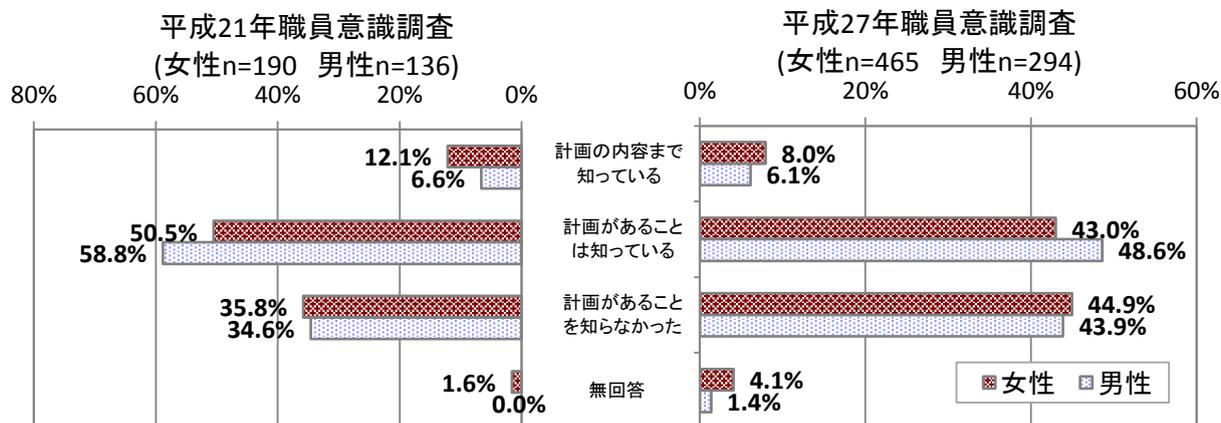
<図表3-9> 「豊島区職員子育て支援プラン」について



豊島区職員子育て支援プランについては、「計画の内容まで知っている」、「計画があることは知っている」を合わせた『知っている人』は女性38.3%、男性49.9%となっています。

平成21年調査と比較すると、「計画があることを知らなかった」の割合が、男女共増加しています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較
<図表3-10>



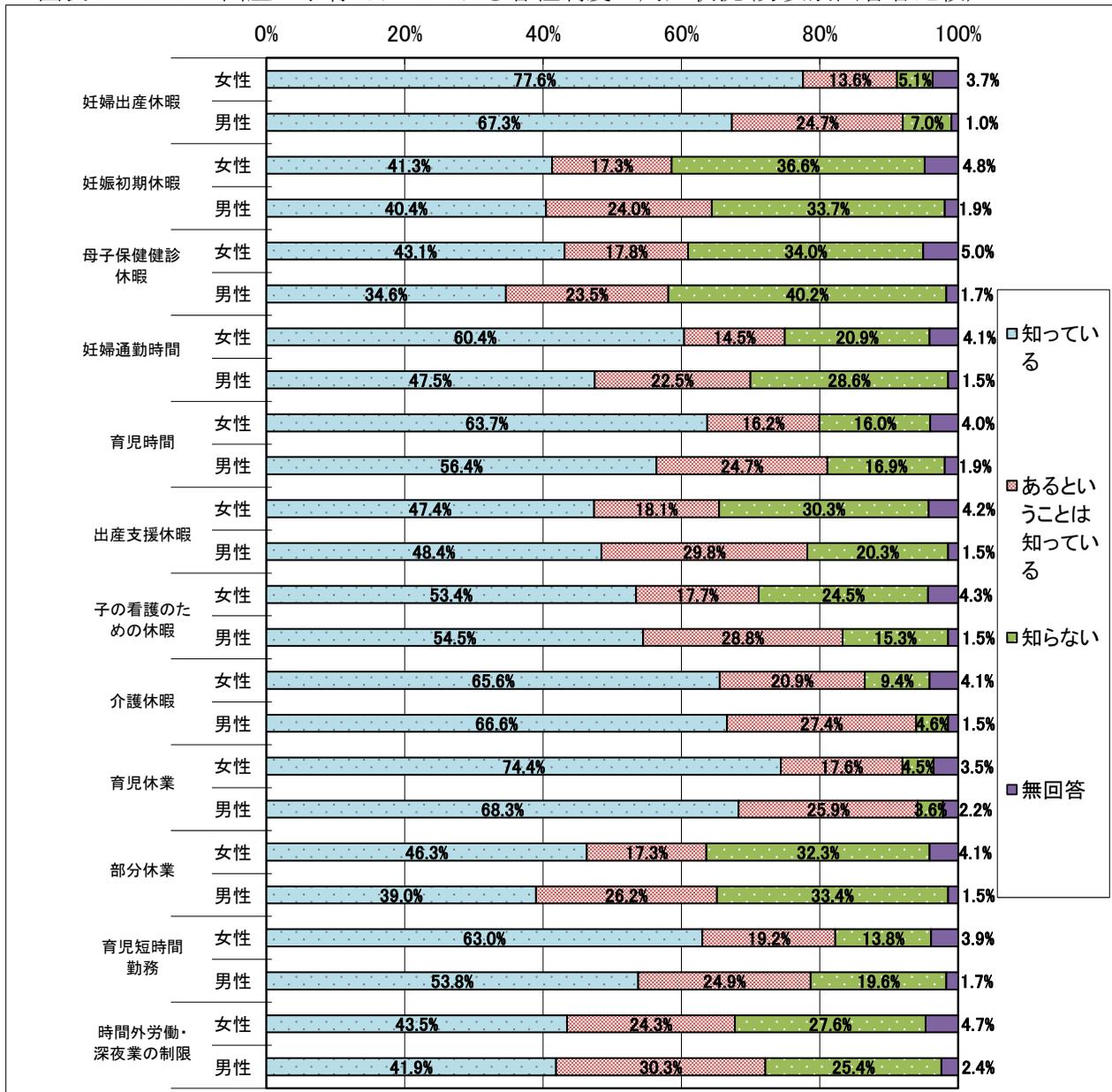
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問20 あなたは次の制度を知っていますか。次のa～lごとに、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	知っている	あるという ことは 知っている	知らない	無回答
a 妊婦出産休暇	73.5%	17.1%	5.7%	3.7%
b 妊娠初期休暇	40.5%	19.3%	35.3%	4.9%
c 母子保健健診休暇	40.0%	19.4%	35.7%	5.0%
d 妊婦通勤時間	55.7%	17.0%	23.1%	4.2%
e 育児時間	60.8%	18.8%	16.2%	4.3%
f 出産支援休暇	47.2%	21.7%	26.8%	4.3%
g 子の看護のための休暇	53.2%	21.1%	21.3%	4.4%
h 介護休暇	65.2%	22.8%	7.7%	4.3%
i 育児休業	71.7%	20.1%	4.1%	4.0%
j 部分休業	43.4%	19.9%	32.4%	4.3%
k 育児短時間勤務	59.4%	21.0%	15.5%	4.1%
l 時間外労働・深夜業の制限 (妊婦及び育児・介護者)	42.6%	25.9%	26.6%	5.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表3-11> 出産～子育てにかかわる各種制度の周知状況(男女別回答者比較)

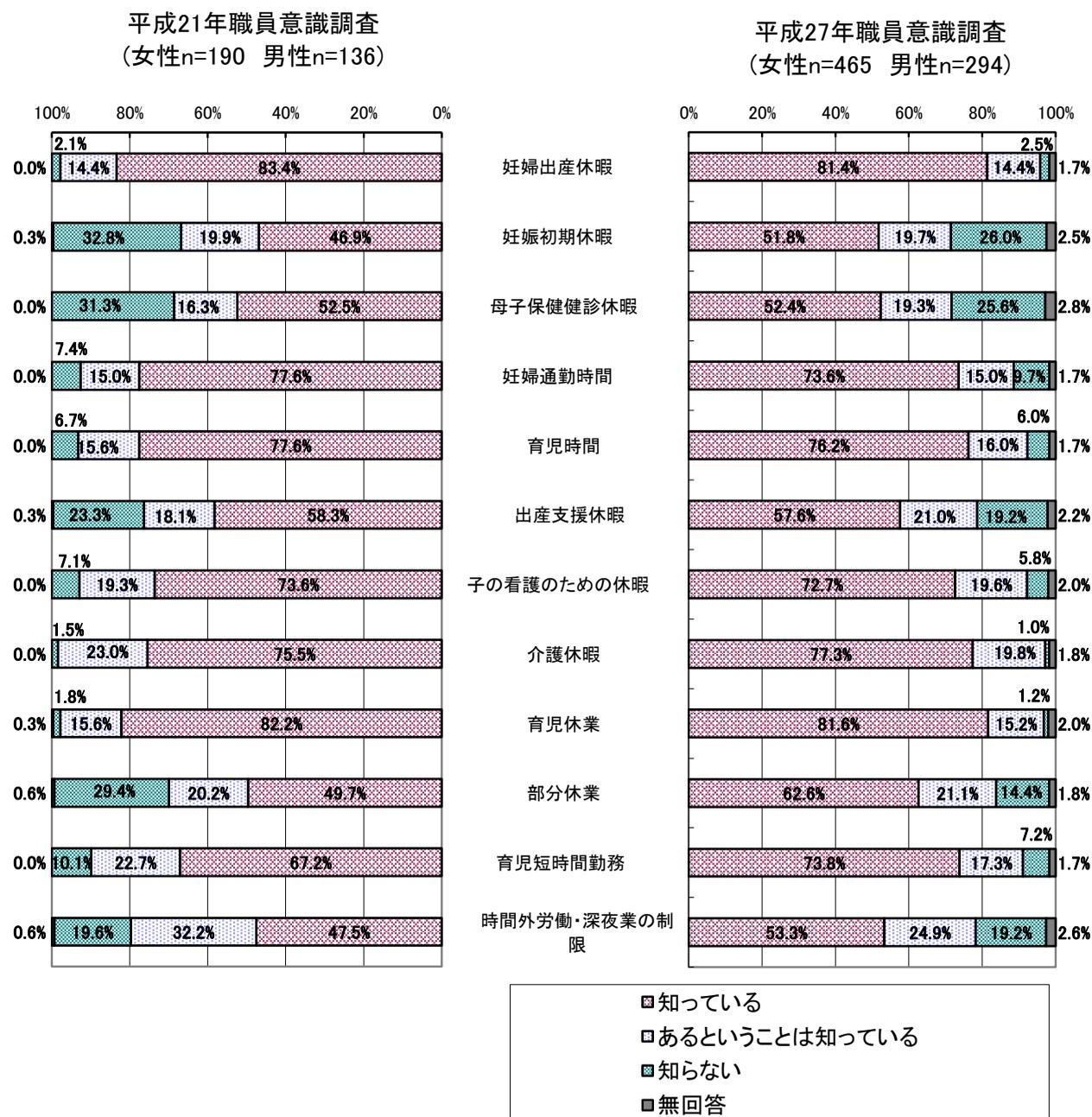


「知っている」「あるということは知っている」をあわせた「知っている」の割合は、「妊婦出産休暇」、「介護休暇」、「育児休業」で約90%と高くなっています。一方、「妊娠初期休暇」、「母子保健健診休暇」、「部分休業」については、60%程度と比較的低くなっています。

平成21年調査と比較しても、大きな差異は見られません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-12>



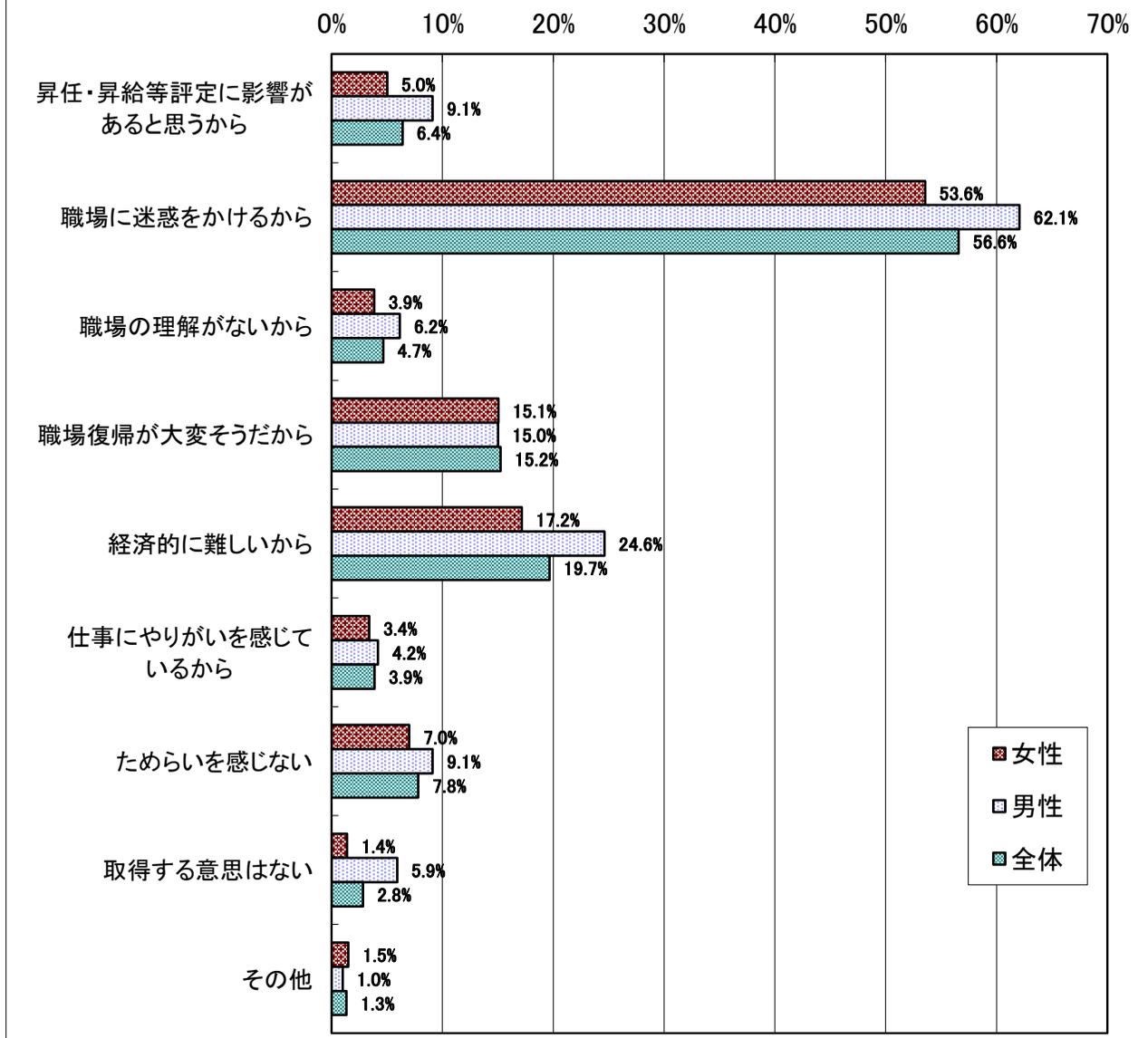
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問2 1 臨時職員以外の方にお聞きします。今、あなたが育児・介護休業を取るとしたら、どのようなことにためらいを感じますか。(〇はいくつでも)

	女性	男性	全体
昇任・昇給等評定に影響があると思うから	43 5.0%	37 9.1%	81 6.4%
職場に迷惑をかけるから	459 53.6%	252 62.1%	717 56.6%
職場の理解がないから	33 3.9%	25 6.2%	59 4.7%
職場復帰が大変そうだから	129 15.1%	61 15.0%	193 15.2%
経済的に難しいから	147 17.2%	100 24.6%	249 19.7%
仕事にやりがいを感じているから	29 3.4%	17 4.2%	49 3.9%
ためらいを感じない	60 7.0%	37 9.1%	99 7.8%
取得する意思はない	12 1.4%	24 5.9%	36 2.8%
その他	13 1.5%	4 1.0%	17 1.3%

女性 n = 857
男性 n = 406
全体 n = 1267

<図表3-13> 育児・介護休業取得にためらいを感じること

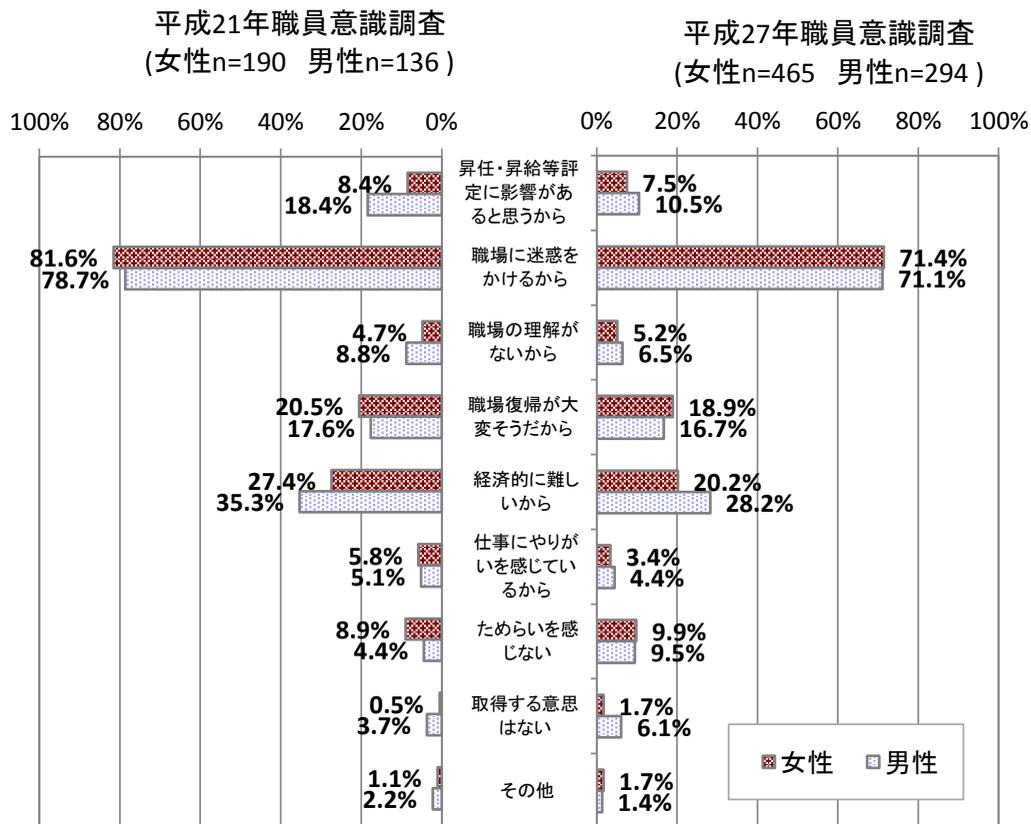


育児・介護休業を取るとしたらどんなことにためらいを感じるかたずねたところ、男女とも「職場に迷惑をかけるから」とする割合（女性53.6%、男性62.1%）が他を引き離して高く、次いで「経済的に難しいから」が高くなっています。

平成21年調査と比較しても大きな差異は見られません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-14>



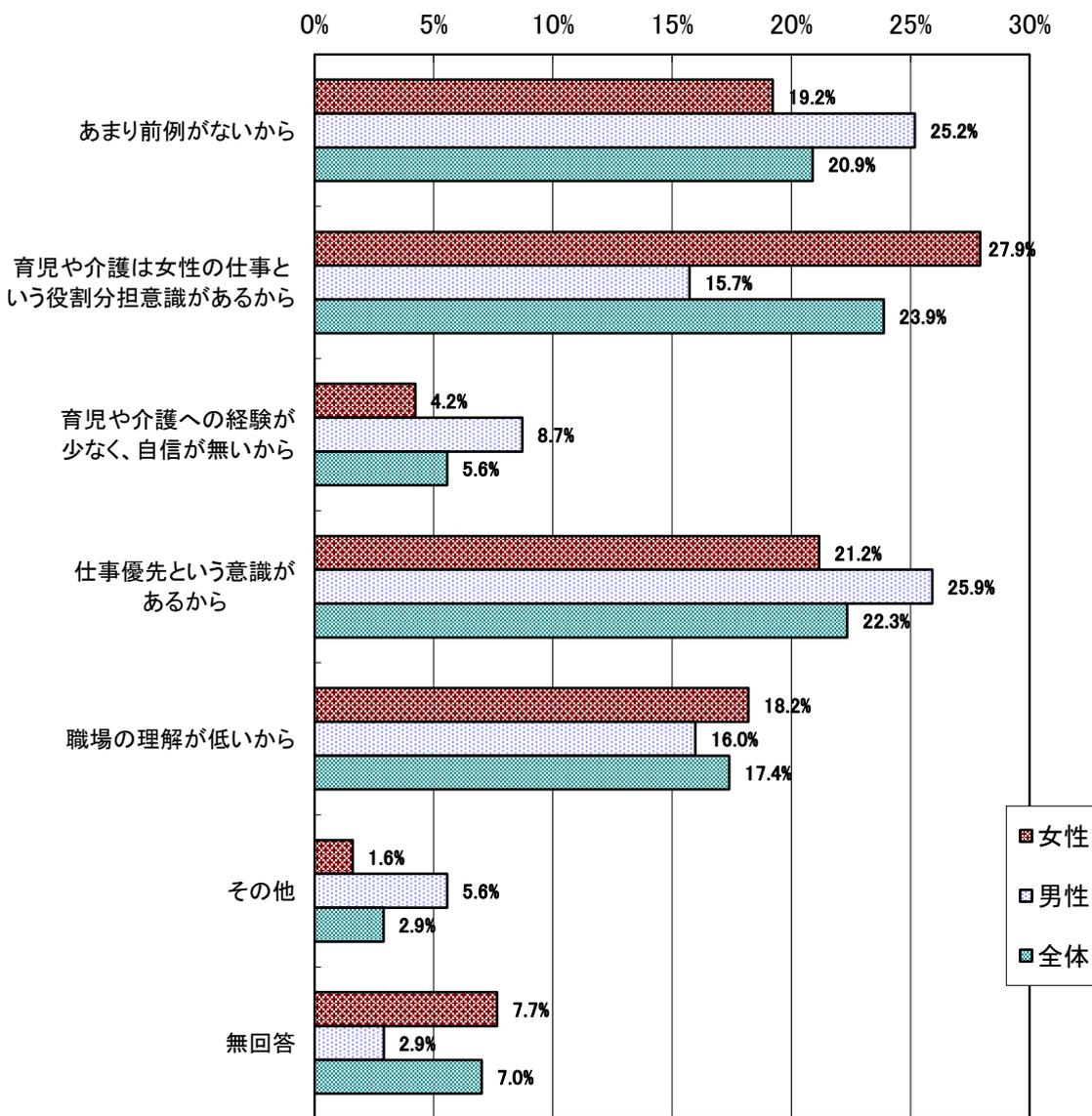
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問22 あなたは、育児・介護休業が、男女職員を対象としているのにもかかわらず、男性職員の取得率が低いのはなぜだと思いますか。（〇は1つ）

	女性	男性	全体
あまり前例がないから	168 19.2%	104 25.2%	274 20.9%
育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから	244 27.9%	65 15.7%	313 23.9%
育児や介護への経験が少なく、自信が無いから	37 4.2%	36 8.7%	73 5.6%
仕事優先という意識があるから	185 21.2%	107 25.9%	293 22.3%
職場の理解が低いから	159 18.2%	66 16.0%	228 17.4%
その他	14 1.6%	23 5.6%	38 2.9%
無回答	67 7.7%	12 2.9%	92 7.0%
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表3-15> 男性の育児・介護休業取得率が低い理由

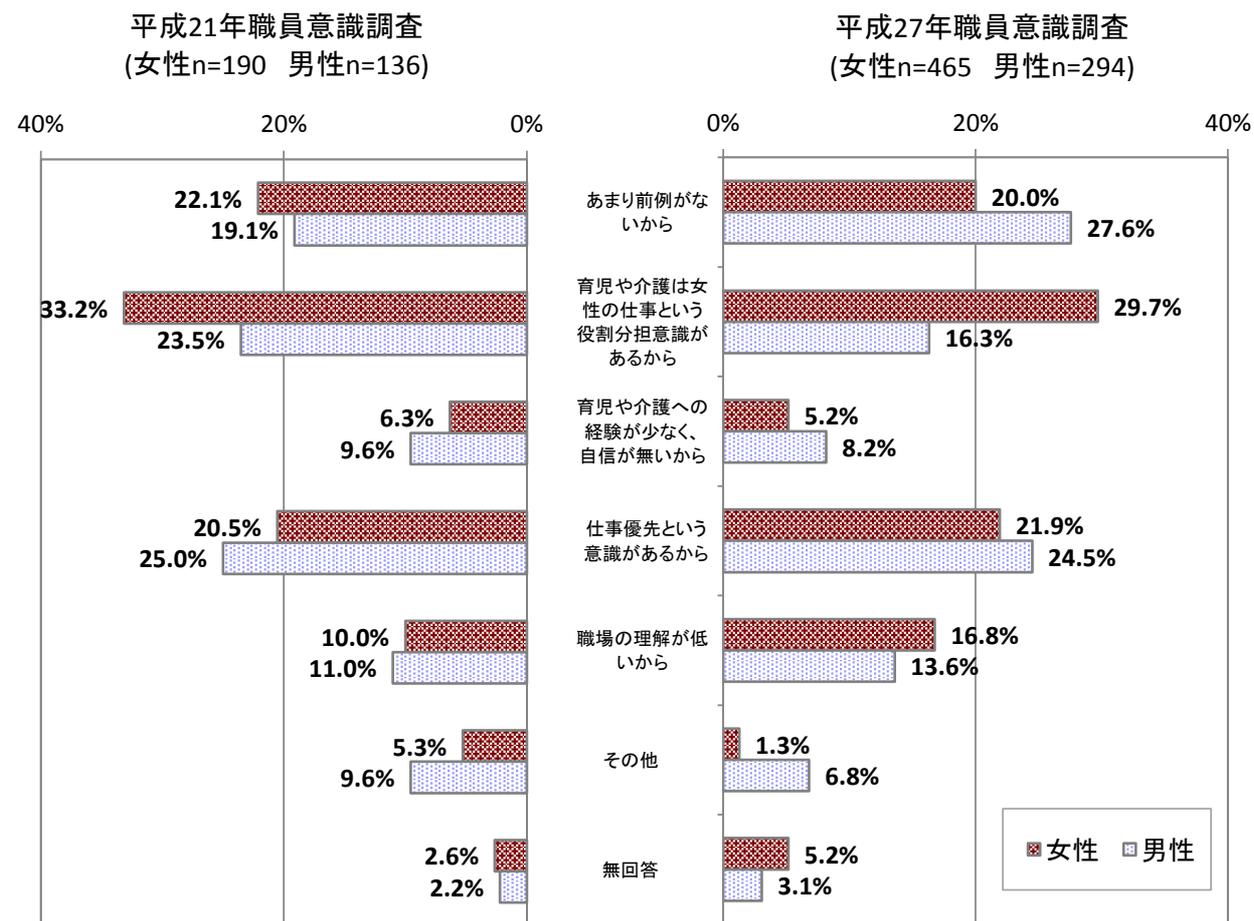


男性の育児・介護休業取得率が低い理由をたずねたところ、女性では「育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから」とした割合が27.9%と最も高く、次いで「仕事優先という意識があるから」が21.2%、「あまり前例がないから」が19.2%と続いています。当事者である男性は「仕事優先という意識があるから」が25.9%、次いで「あまり前例がないから」が25.2%、「職場の理解が低いから」が16.0%となっています。

平成21年調査と比較すると、男女とも同様の傾向ですが、男性では「あまり前例がないから」が、平成21年調査（19.1%）から8.5ポイント増加する一方、「育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから」は平成21年調査（23.5%）から、平成27年調査（16.3%）に7.2ポイント減少しています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-16>

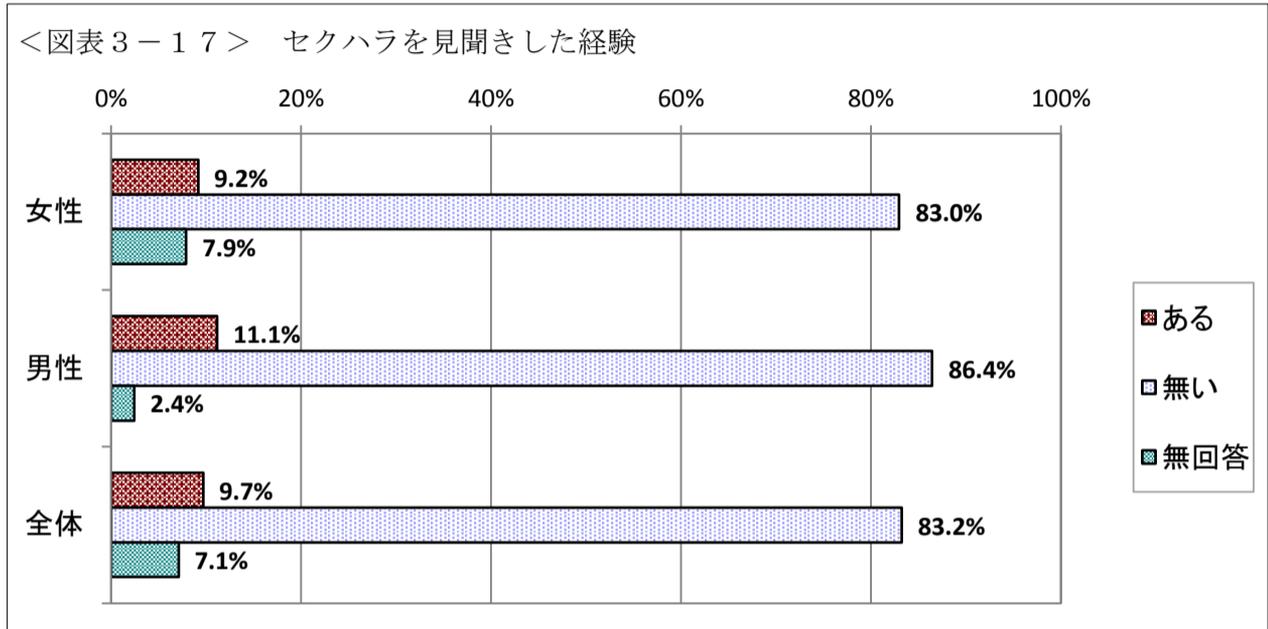


※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問23 あなたの職場で過去5年間にセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を見たり聞いたりしたことはありますか。あるいは、職場で実際に体験したことがありますか。
 (○は1つ)

	女性	男性	全体
ある	80 9.2%	46 11.1%	127 9.7%
無い	725 83.0%	357 86.4%	1,091 83.2%
無回答	69 7.9%	10 2.4%	93 7.1%
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
 男性 n = 413
 全体 n = 1,311



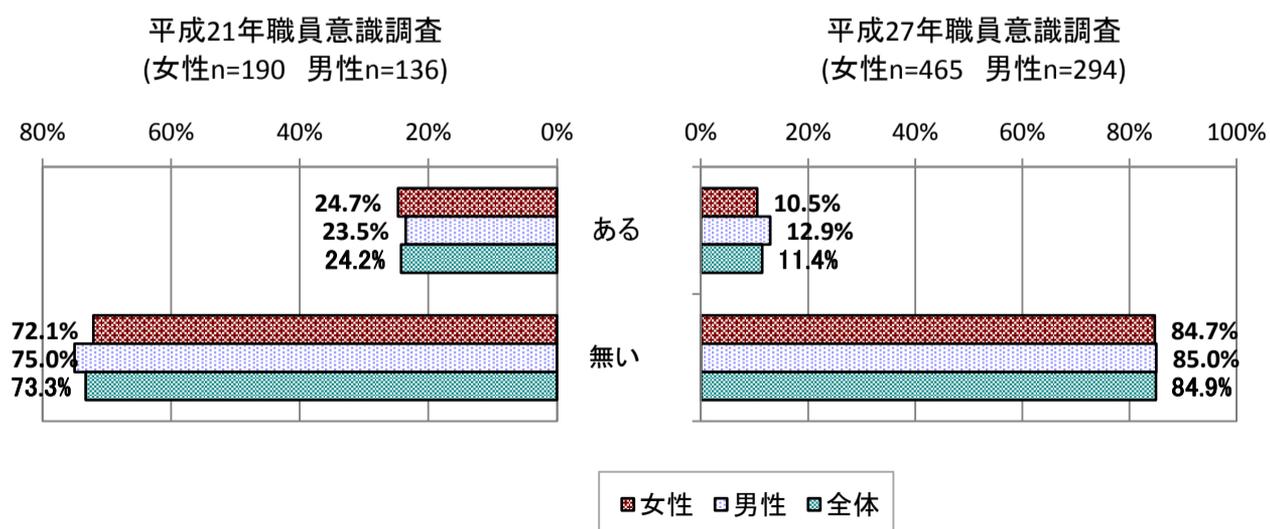
「見聞きしたことは無い」とする割合は高いものの、男女とも「見聞きしたことがある」とする割合が依然として約1割あります。

また、平成21年調査と比較すると、「見聞きしたことは無い」の割合は、全体で11.6ポイント増えています。

※「過去5年間」を聞いたのは今回調査のみであり、平成21年調査では、設問に「過去5年間」の記載はない。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表3-18>



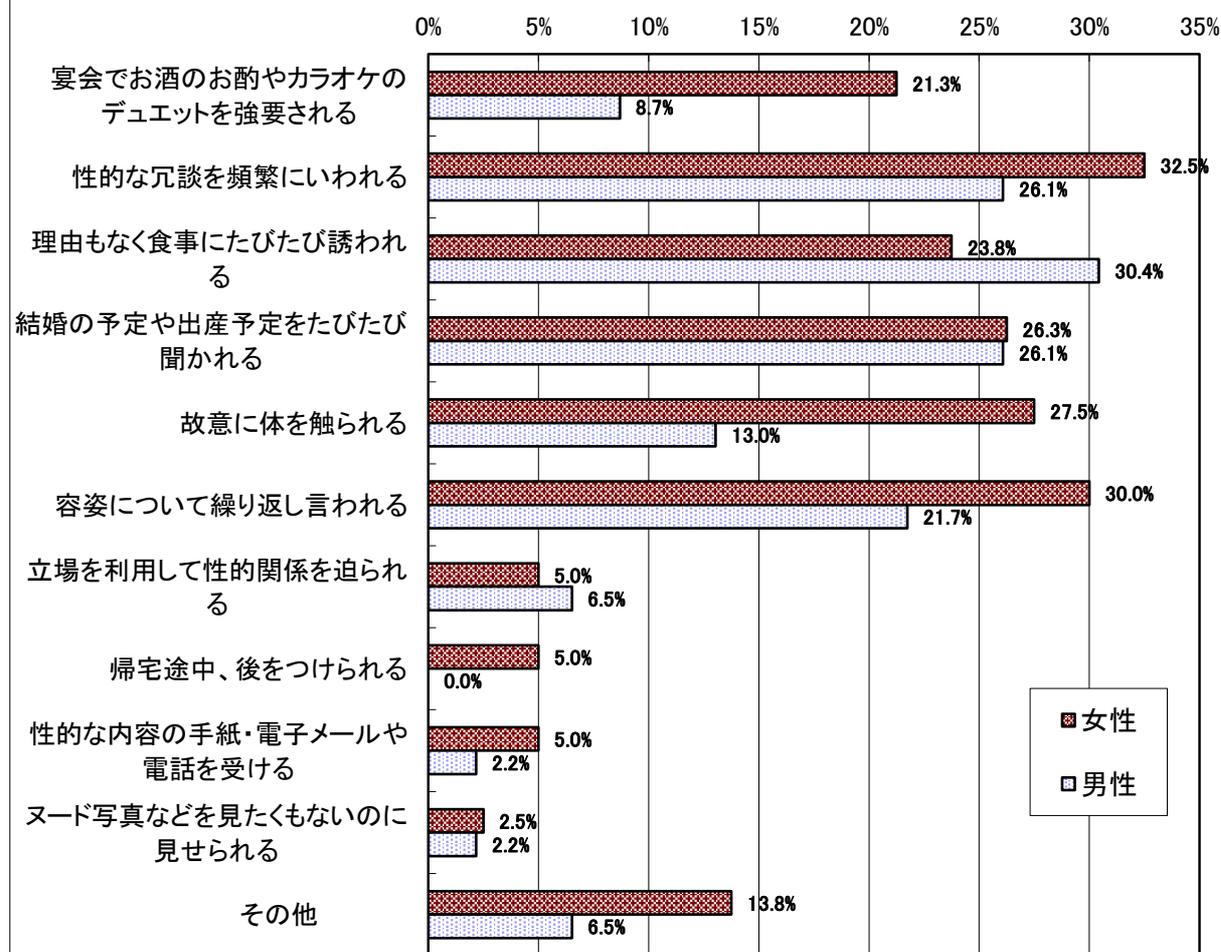
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問24 (問23で、「ある」と答えた方に伺います。) それほどのようなことですか。
(○は該当するものいくつかでも)

	女性	男性	全体
宴会でお酒のお酌やカラオケのデュエットを強要される	17 21.3%	4 8.7%	21 16.5%
性的な冗談を頻繁にいわれる	26 32.5%	12 26.1%	38 29.9%
理由もなく食事にたびたび誘われる	19 23.8%	14 30.4%	33 26.0%
結婚の予定や出産予定をたびたび聞かれる	21 26.3%	12 26.1%	33 26.0%
故意に体を触られる	22 27.5%	6 13.0%	28 22.0%
容姿について繰り返し言われる	24 30.0%	10 21.7%	34 26.8%
立場を利用して性的関係を迫られる	4 5.0%	3 6.5%	7 5.5%
帰宅途中、後をつけられる	4 5.0%	0 0.0%	4 3.1%
性的な内容の手紙・電子メールや電話を受ける	4 5.0%	1 2.2%	5 3.9%
ヌード写真などを見たくもないのに見せられる	2 2.5%	1 2.2%	3 2.4%
その他	11 13.8%	3 6.5%	14 11.0%

女性 n = 80
男性 n = 46
全体 n = 127

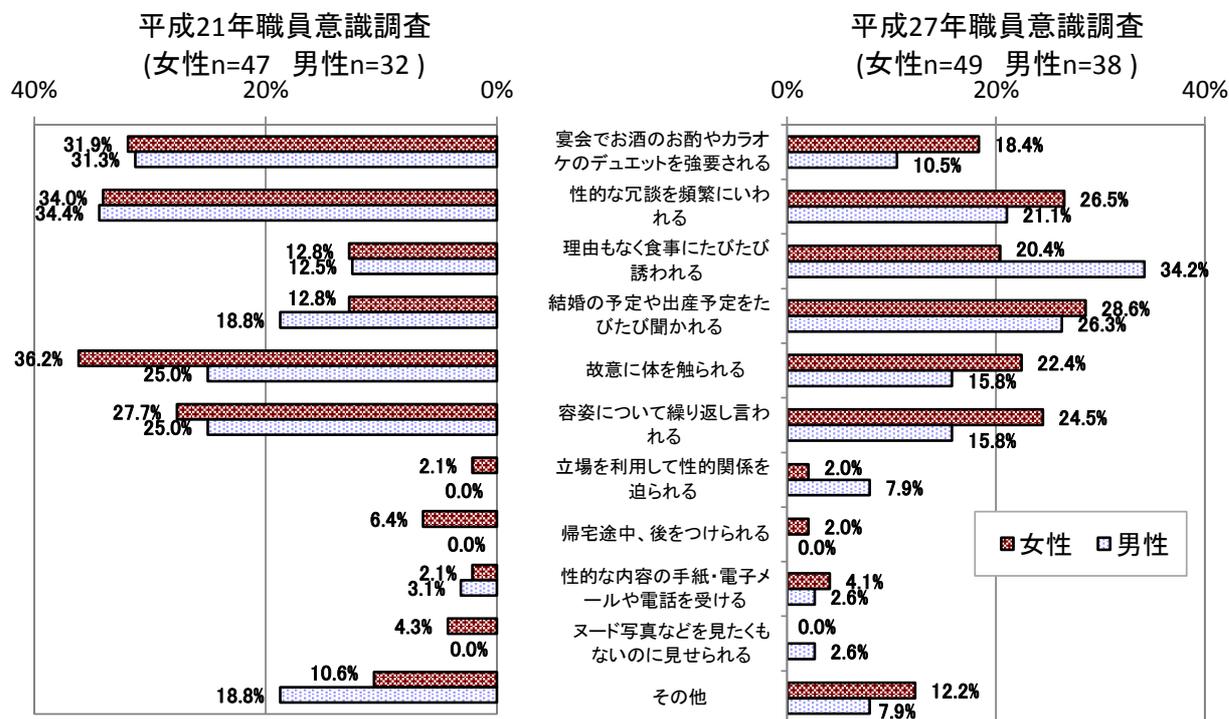
<図表3-19> 見・聞きしたことがあるセクハラの内容



セクハラの内容については、女性で「性的な冗談を頻繁にいわれる」が32.5%、「容姿について繰り返し言われる」が30.0%の順になっています。一方男性では「理由もなく食事にたびたび誘われる」30.4%、「性的な冗談を頻繁に言われる」及び「結婚の予定や出産予定をたびたび聞かれる」（26.1%）の順になっています。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

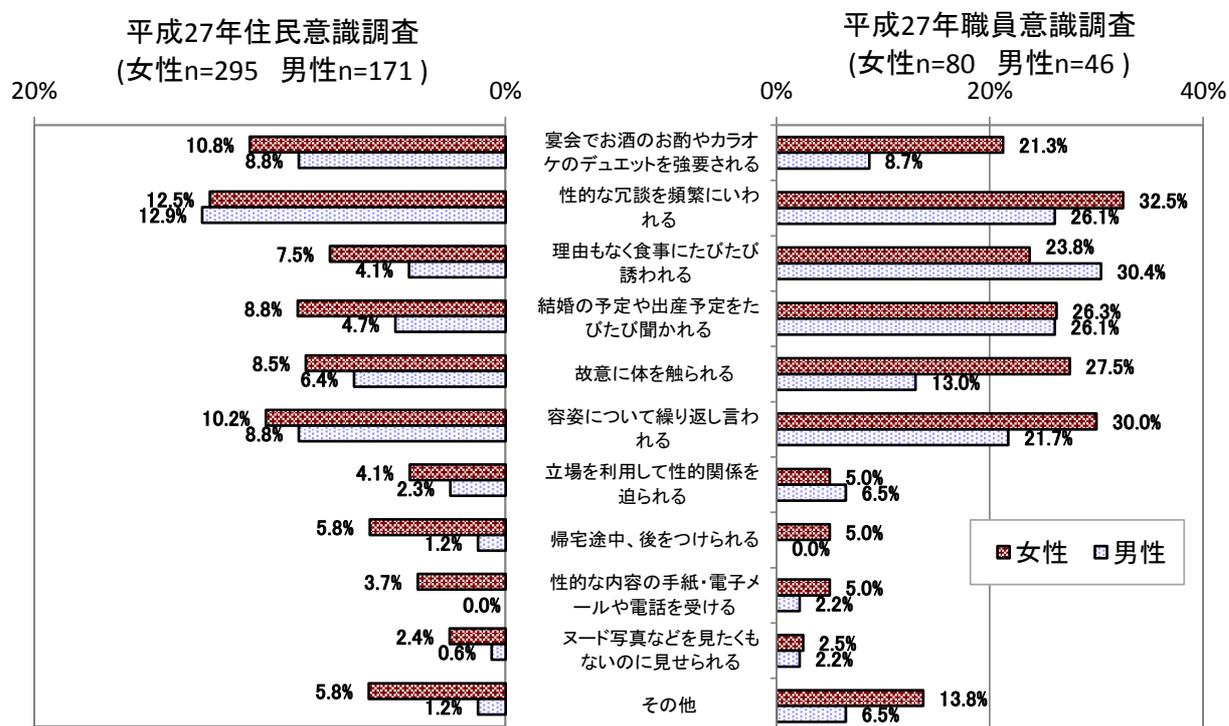
<図表3-20>



※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表3-21>



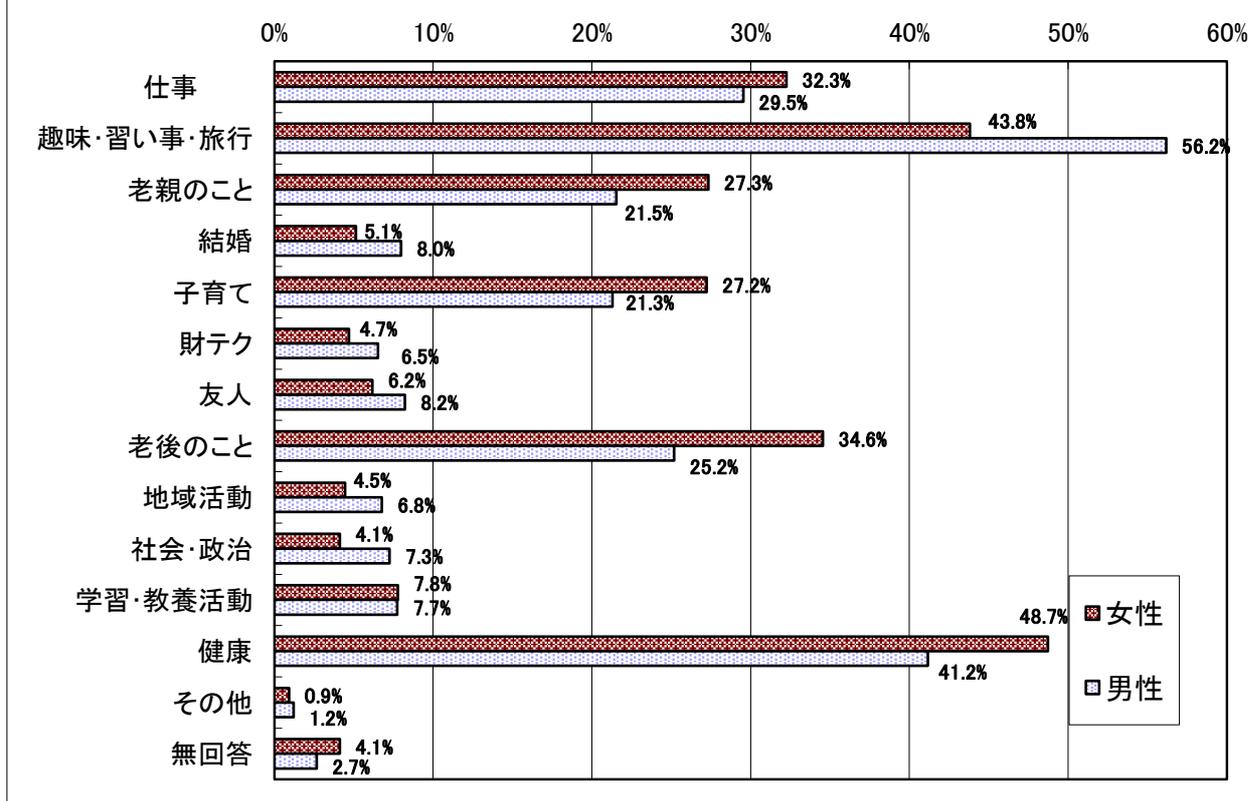
《 4 生活について 》

問 2 5 あなたの生活の中で、現在特に興味をもっているのは何ですか。(○は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事	282 32.3%	122 29.5%	406 31.0%
趣味・習い事・旅行	383 43.8%	232 56.2%	623 47.5%
老親のこと	239 27.3%	89 21.5%	330 25.2%
結婚	45 5.1%	33 8.0%	78 5.9%
子育て	238 27.2%	88 21.3%	327 24.9%
財テク	41 4.7%	27 6.5%	69 5.3%
友人	54 6.2%	34 8.2%	88 6.7%
老後のこと	302 34.6%	104 25.2%	410 31.3%
地域活動	39 4.5%	28 6.8%	69 5.3%
社会・政治	36 4.1%	30 7.3%	67 5.1%
学習・教養活動	68 7.8%	32 7.7%	101 7.7%
健康	426 48.7%	170 41.2%	603 46.0%
その他	8 0.9%	5 1.2%	14 1.1%
無回答	36 4.1%	11 2.7%	59 4.5%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表 4-1> 生活の中で、現在興味をもっていること

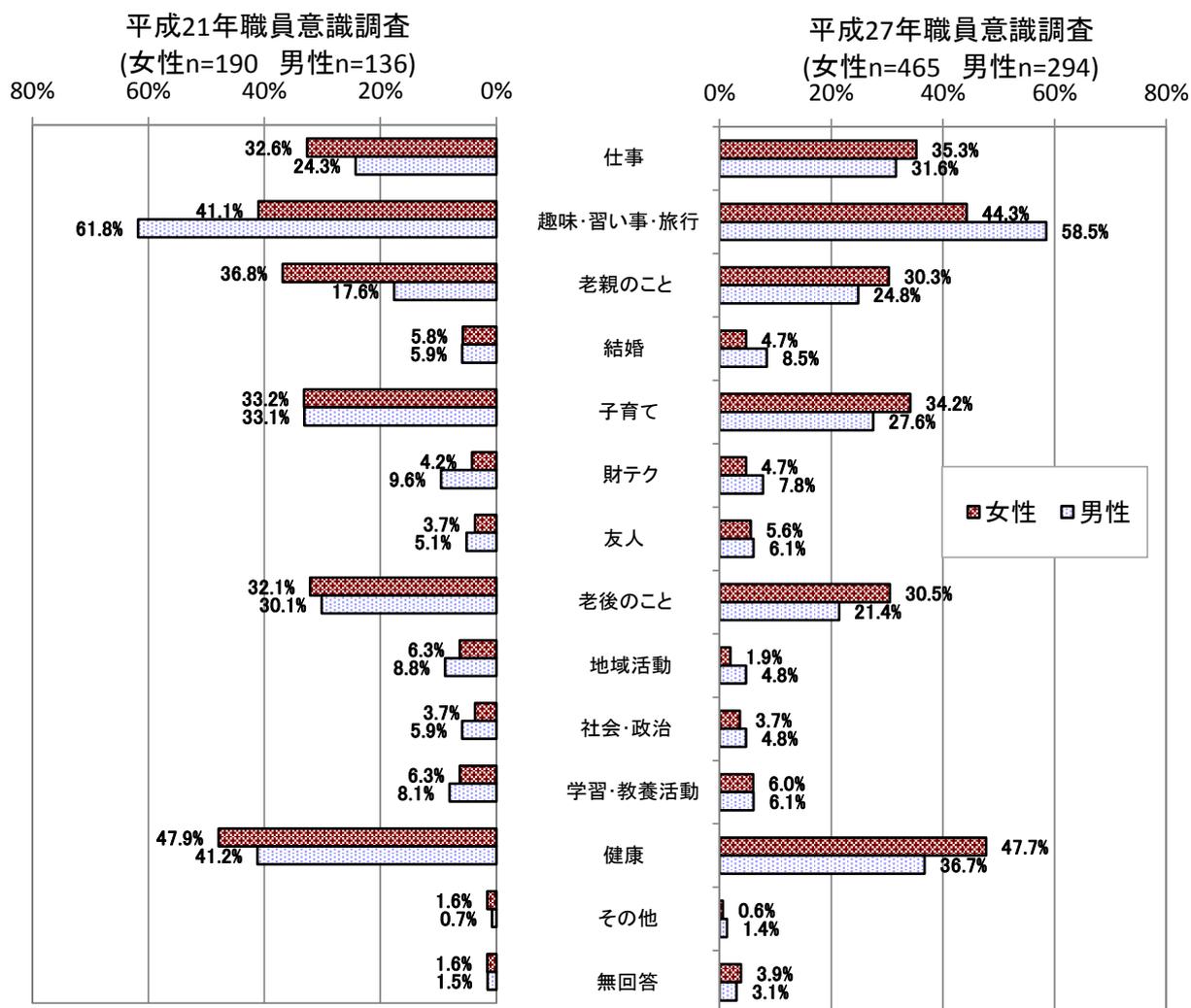


現在の関心事についてきいたところ、女性では「健康」(48.7%)、「趣味・習い事・旅行」(43.8%)、「老後のこと」(34.6%)の順で高く、男性では「趣味・習い事・旅行」(56.2%)、「健康」(41.2%)、「仕事」(29.5%)の順で高くなっています。

平成21年調査との比較では大きな違いは見られません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

<図表4-2>



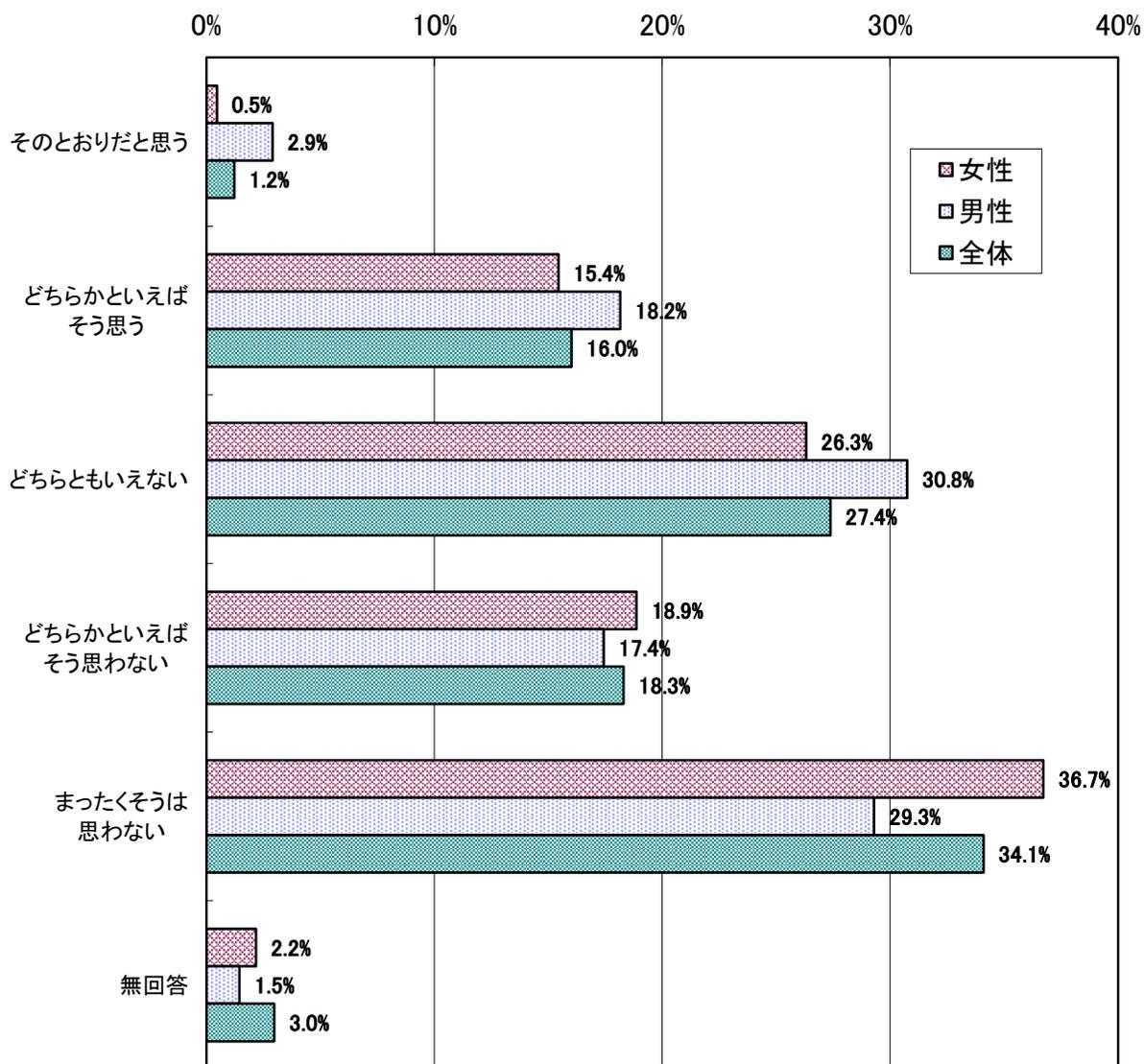
※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問26 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。（○は1つ）

	女性	男性	全体
そのとおりだと思う	4 0.5%	12 2.9%	16 1.2%
どちらかといえばそう思う	135 15.4%	75 18.2%	210 16.0%
どちらともいえない	230 26.3%	127 30.8%	359 27.4%
どちらかといえばそう思わない	165 18.9%	72 17.4%	240 18.3%
まったくそうは思わない	321 36.7%	121 29.3%	447 34.1%
無回答	19 2.2%	6 1.5%	39 3.0%
総計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311

<図表4-3> 男は仕事・女は家庭という意識



男は仕事、女は家庭という考え方については、「まったくそうは思わない」が（34.1%）が最も高く、「どちらともいえない」（27.4%）、「どちらかといえばそう思わない」（18.3%）と続いています。

また、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が52.4%、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が17.2%となっています。

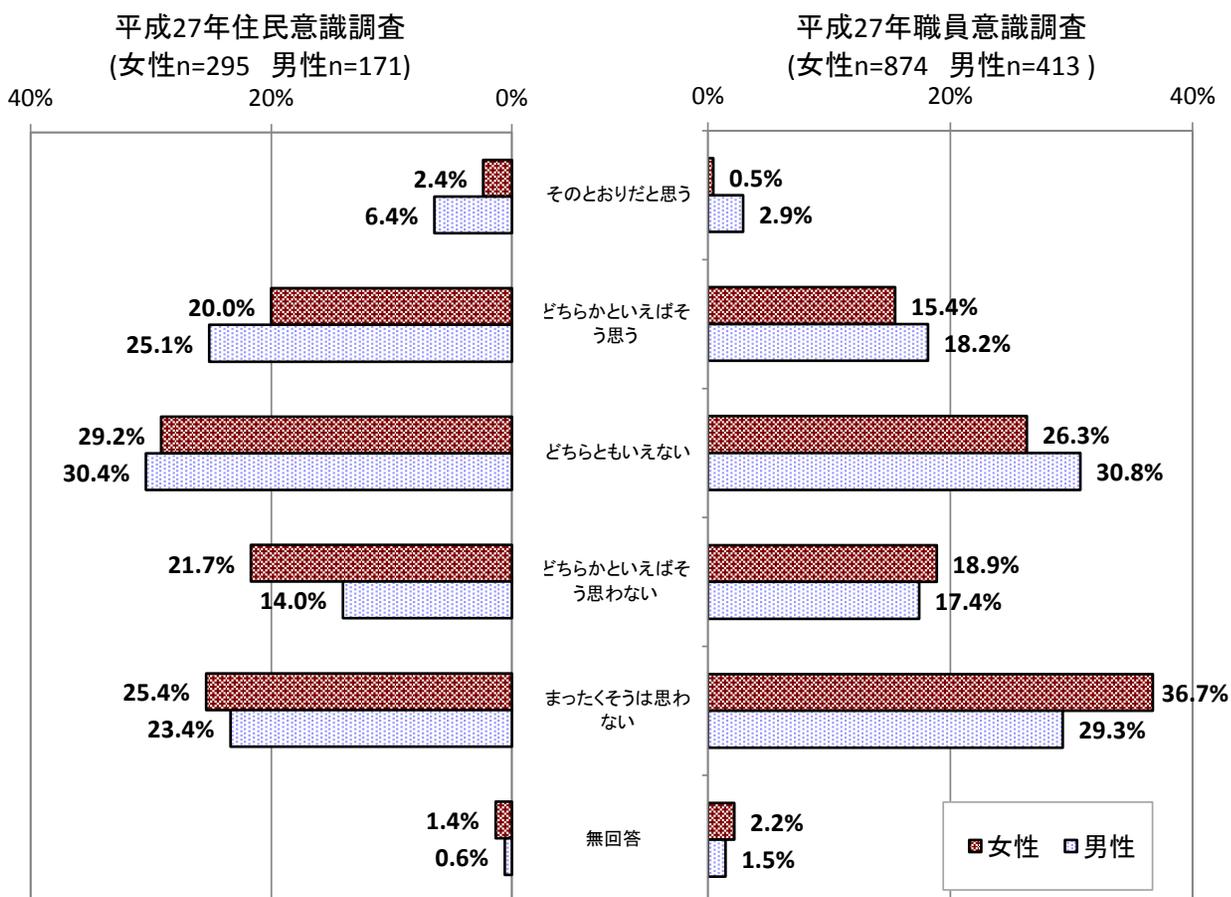
女性で『そう思わない』が55.6%と、男性（46.7%）より8.9ポイント高くなっています。

一方、男性で『そう思う』が21.1%と、女性（15.9%）より5.2ポイント高くなっています。

住民意識調査と比較すると、おおむね同傾向ですが、「まったくそうは思わない」は女性職員で36.7%と、住民の25.4%よりも11.3ポイント高くなっています。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

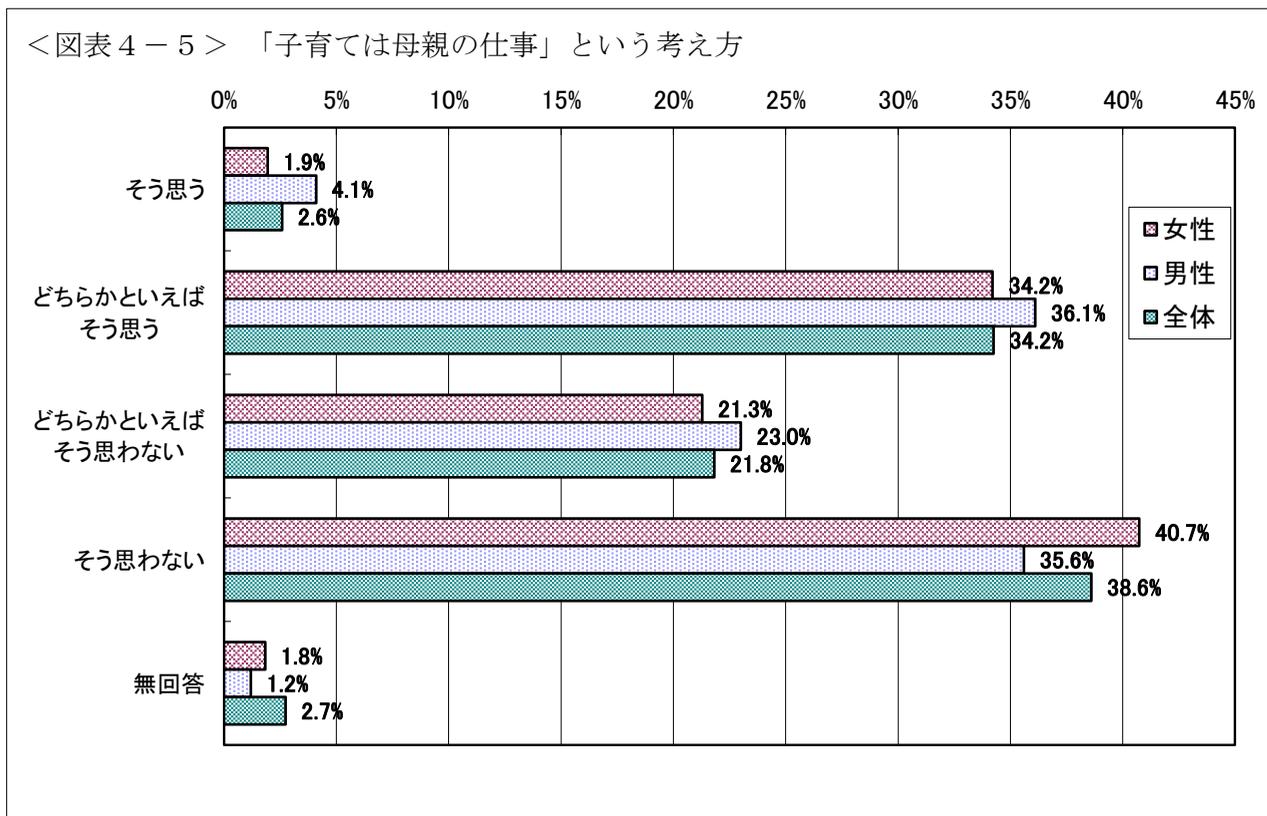
<図表4-4>



問27 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。それぞれ当てはまるものを、1～4の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

問27 a 「子育ては母親の仕事」という考え方

	女性	男性	全体	
そう思う	17 1.9%	17 4.1%	34 2.6%	
どちらかといえばそう思う	299 34.2%	149 36.1%	449 34.2%	
どちらかといえばそう思わない	186 21.3%	95 23.0%	286 21.8%	
そう思わない	356 40.7%	147 35.6%	506 38.6%	
無回答	16 1.8%	5 1.2%	36 2.7%	女性 n = 874
合計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%	男性 n = 413 全体 n = 1,311



子育ては母親の仕事という考え方については、「そう思わない」が38.6%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」（34.2%）、「どちらかといえばそう思わない」（21.8%）と続いています。

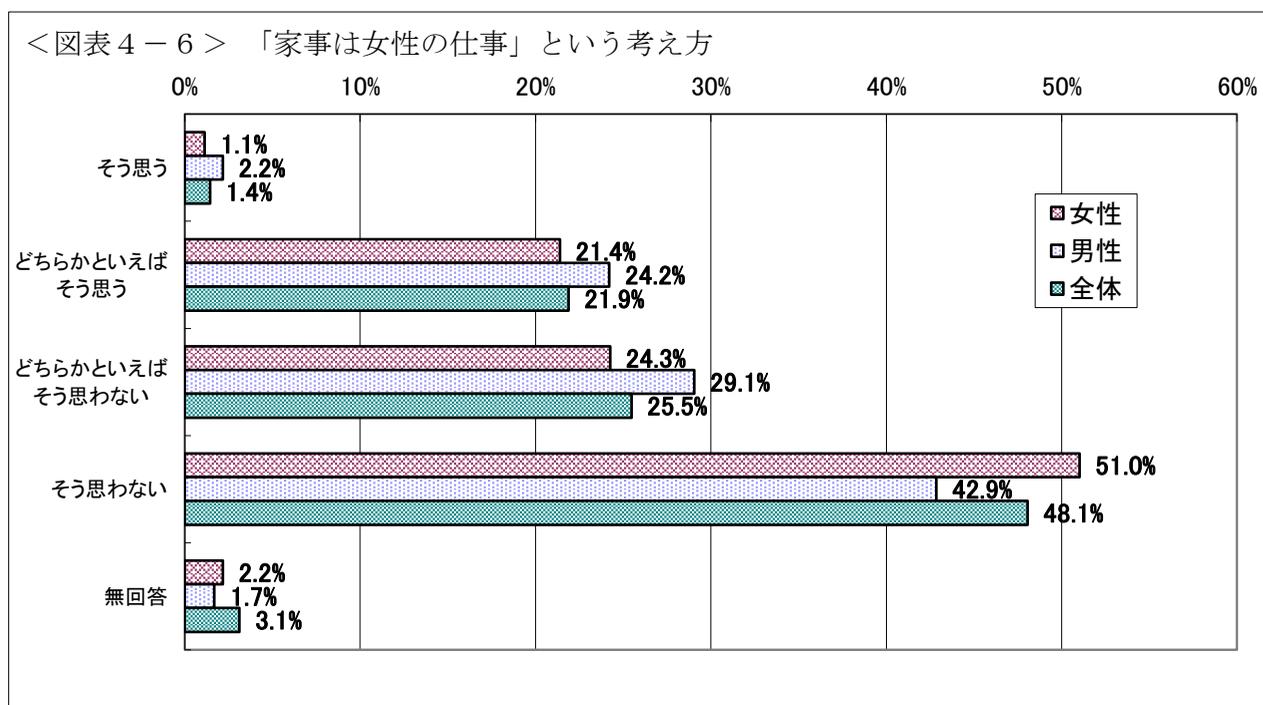
女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は36.1%で、男性（40.2%）より4.1ポイント低くなっています。

平成21年調査と比較して、大きな違いは見られません。

問27b 「家事は女性の仕事」という考え方

	女性	男性	全体
そう思う	10 1.1%	9 2.2%	19 1.4%
どちらかといえばそう思う	187 21.4%	100 24.2%	287 21.9%
どちらかといえばそう思わない	212 24.3%	120 29.1%	334 25.5%
そう思わない	446 51.0%	177 42.9%	630 48.1%
無回答	19 2.2%	7 1.7%	41 3.1%
合計	874 100.0%	413 100.0%	1,311 100.0%

女性 n = 874
男性 n = 413
全体 n = 1,311



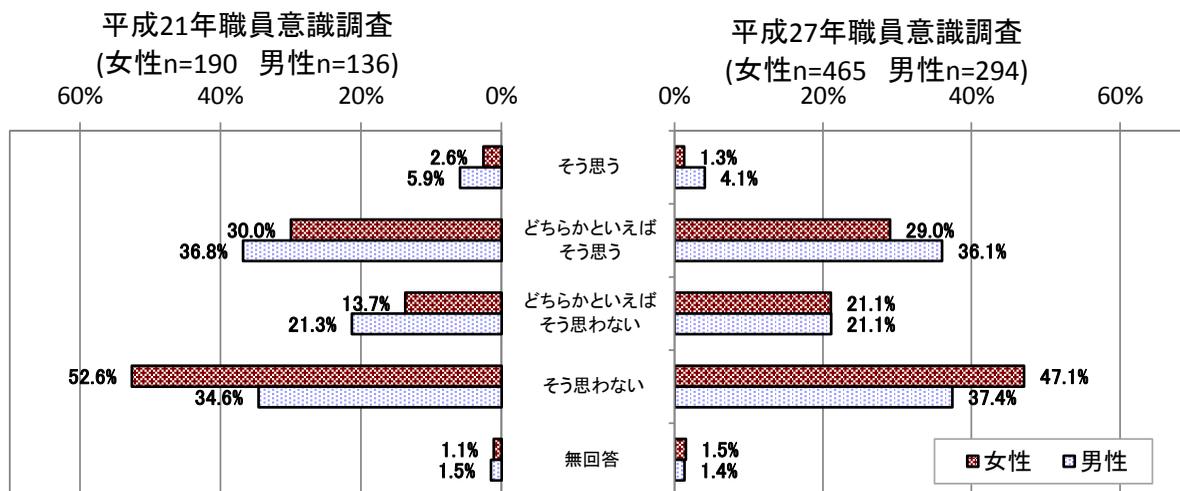
家事は女性の仕事という考え方については、「そう思わない」が48.1%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」(25.5%)、「どちらかといえばそう思う」(21.9%)と続いています。

女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が22.5%と、男性(26.4%)より3.9ポイント低くなっています。

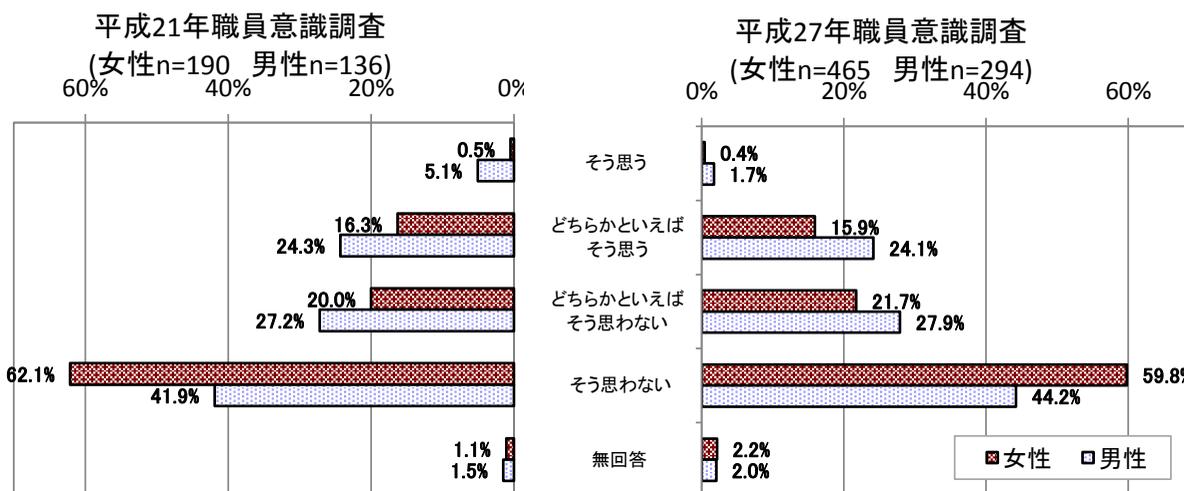
平成21年調査と比較すると、大きな差異はありません。

<参考>平成21年・平成27年職員意識調査との比較

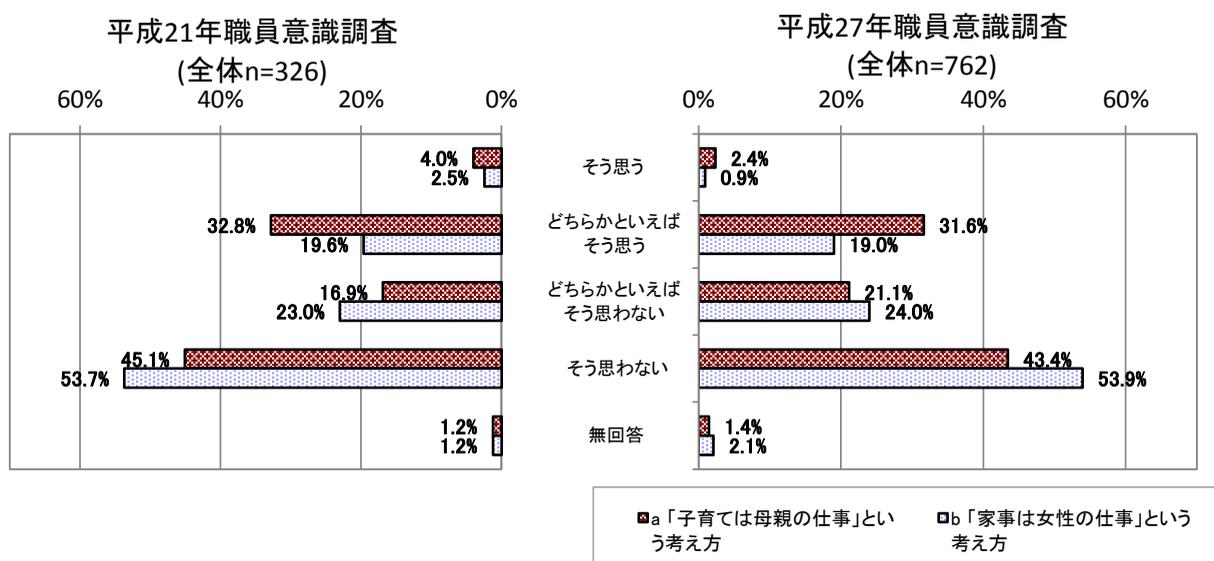
<図表4-7> 「子育ては母親の仕事」という考え方



<図表4-8> 「家事は女性の仕事」という考え方



<図表4-9> 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方

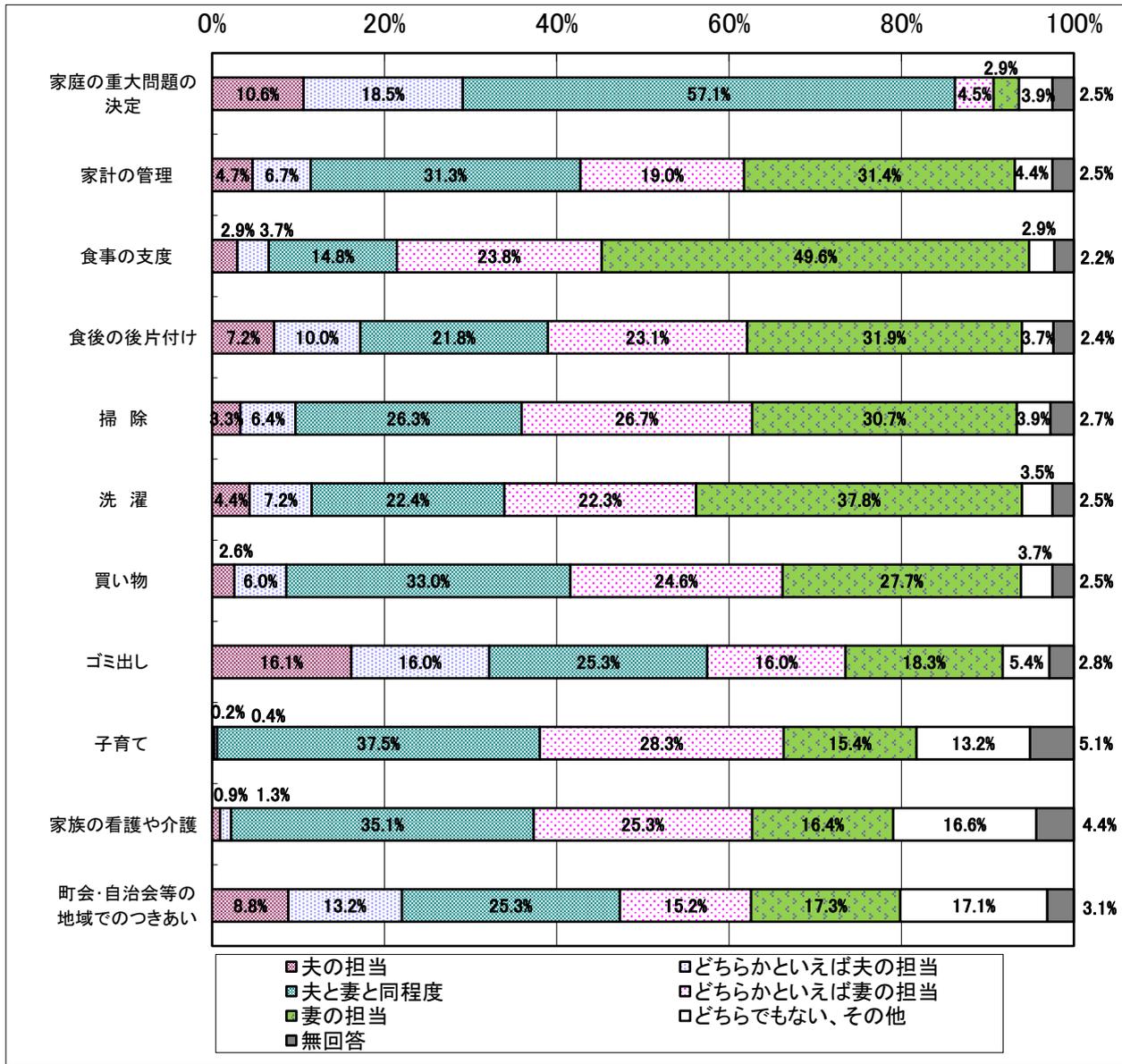


※平成27年調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

問28 既婚（事実婚を含む）の方に伺います。あなたの家庭では家事、育児などの分担はどのようにしていますか。 a～k の各項目ごとに、 1～6 の中から選んでください。
 (○はそれぞれ1つ)

	女性n=575 男性n=270 全体n=849	夫の担当	どちらか といえば 夫の担当	夫と妻と 同程度	どちらか といえば 妻の担当	妻の担当	どちらで もない、 その他	無回答
a 家庭の 重大問題の 決定	女性	9.0%	18.1%	58.1%	4.9%	3.8%	3.0%	3.1%
	男性	14.1%	19.6%	55.2%	3.7%	1.1%	5.6%	0.7%
	全体	10.6%	18.5%	57.1%	4.5%	2.9%	3.9%	2.5%
b 家計の 管理	女性	4.2%	5.4%	32.5%	20.0%	31.0%	3.8%	3.1%
	男性	5.9%	9.6%	29.3%	15.9%	33.0%	5.6%	0.7%
	全体	4.7%	6.7%	31.3%	19.0%	31.4%	4.4%	2.5%
c 食事の 支度	女性	1.9%	3.7%	15.1%	21.9%	52.7%	1.9%	2.8%
	男性	5.2%	3.7%	14.4%	27.8%	43.0%	5.2%	0.7%
	全体	2.9%	3.7%	14.8%	23.8%	49.6%	2.9%	2.2%
d 食後の 後片付け	女性	4.7%	9.0%	19.1%	22.8%	37.9%	3.5%	3.0%
	男性	12.6%	11.5%	27.8%	24.1%	19.3%	4.1%	0.7%
	全体	7.2%	10.0%	21.8%	23.1%	31.9%	3.7%	2.4%
e 掃除	女性	3.0%	4.0%	24.0%	26.1%	36.7%	2.8%	3.5%
	男性	4.1%	11.1%	31.1%	28.5%	18.1%	6.3%	0.7%
	全体	3.3%	6.4%	26.3%	26.7%	30.7%	3.9%	2.7%
f 洗濯	女性	4.7%	5.7%	20.7%	21.7%	40.7%	3.3%	3.1%
	男性	3.7%	10.4%	25.6%	23.7%	31.9%	4.1%	0.7%
	全体	4.4%	7.2%	22.4%	22.3%	37.8%	3.5%	2.5%
g 買い物	女性	2.1%	3.8%	26.1%	27.0%	35.7%	2.3%	3.1%
	男性	3.7%	10.7%	48.1%	19.3%	10.7%	6.7%	0.7%
	全体	2.6%	6.0%	33.0%	24.6%	27.7%	3.7%	2.5%
h ゴミ出 し	女性	13.4%	14.1%	24.3%	17.0%	23.5%	4.3%	3.3%
	男性	22.2%	20.0%	27.4%	14.1%	7.4%	7.4%	1.5%
	全体	16.1%	16.0%	25.3%	16.0%	18.3%	5.4%	2.8%
i 子育て	女性	0.0%	0.2%	33.7%	29.9%	19.3%	10.8%	6.1%
	男性	0.7%	0.7%	45.2%	24.8%	7.4%	18.5%	2.6%
	全体	0.2%	0.4%	37.5%	28.3%	15.4%	13.2%	5.1%
j 家族の 看護や介護	女性	0.5%	1.0%	31.1%	27.0%	21.6%	13.2%	5.6%
	男性	1.9%	1.9%	43.3%	22.2%	5.2%	24.1%	1.5%
	全体	0.9%	1.3%	35.1%	25.3%	16.4%	16.6%	4.4%
k 町会・自 治会等地域で のつきあい	女性	6.4%	11.0%	24.0%	18.1%	22.1%	14.8%	3.7%
	男性	14.1%	18.1%	27.8%	9.3%	7.0%	22.2%	1.5%
	全体	8.8%	13.2%	25.3%	15.2%	17.3%	17.1%	3.1%

<図表4-10> 家庭生活での担当の分担

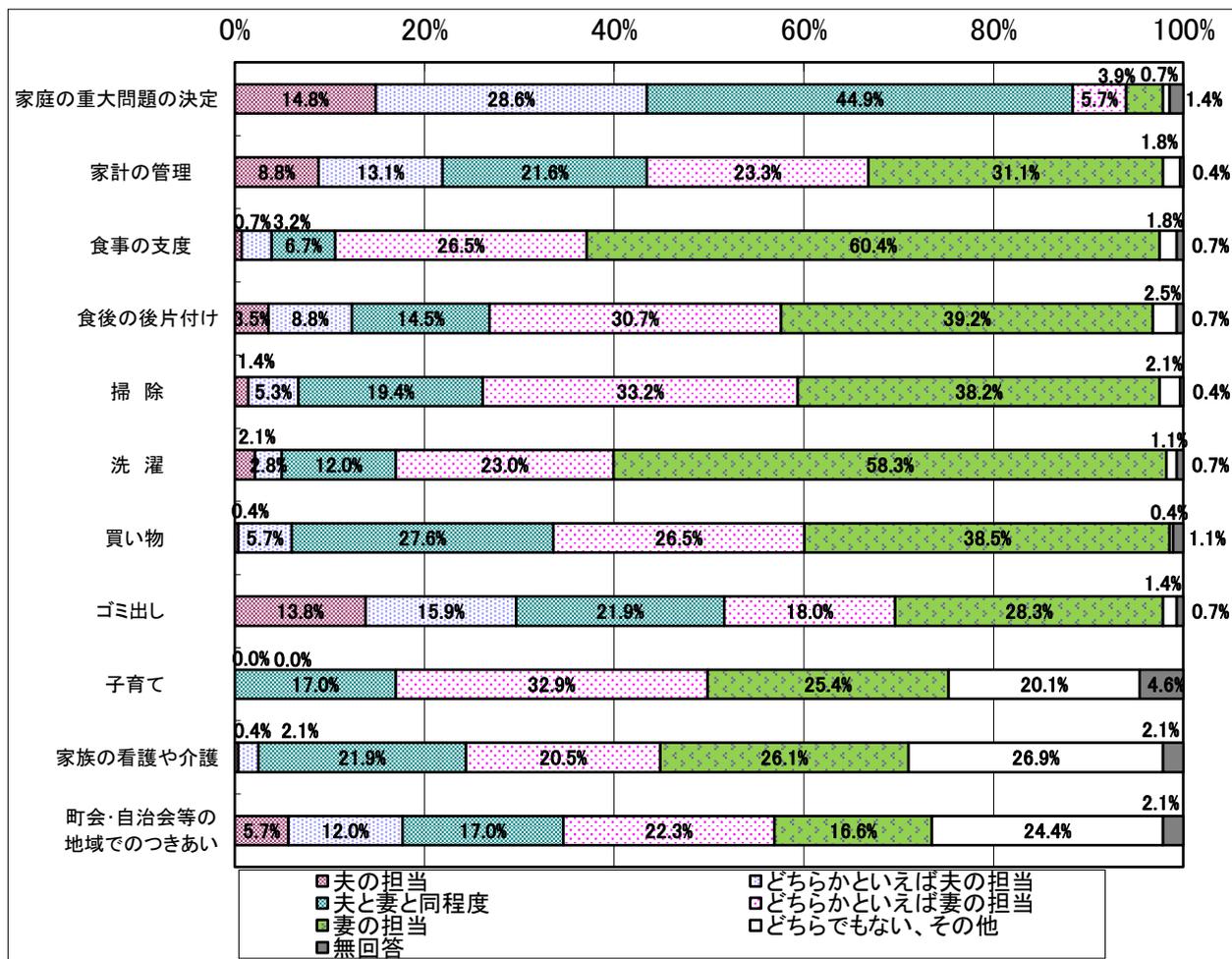


既婚者に家庭内での家事・育児などの分担についてたずねたところ、「夫と妻と同程度」とする割合が最も高かったのは「家庭の重大問題の決定」（57.1%）、次に「子育て」（37.5%）、「家族の看護や介護」（35.1%）と続いています。

「夫の担当」・「どちらかといえば夫の担当」と回答した割合は「ゴミ出し」（32.1%）と「家庭の重大問題の決定」（29.1%）が高いものの、「妻の担当」・「どちらかといえば妻の担当」はほとんどの項目で夫に比べて割合が高く、「食事の支度」は73.4%となっています。

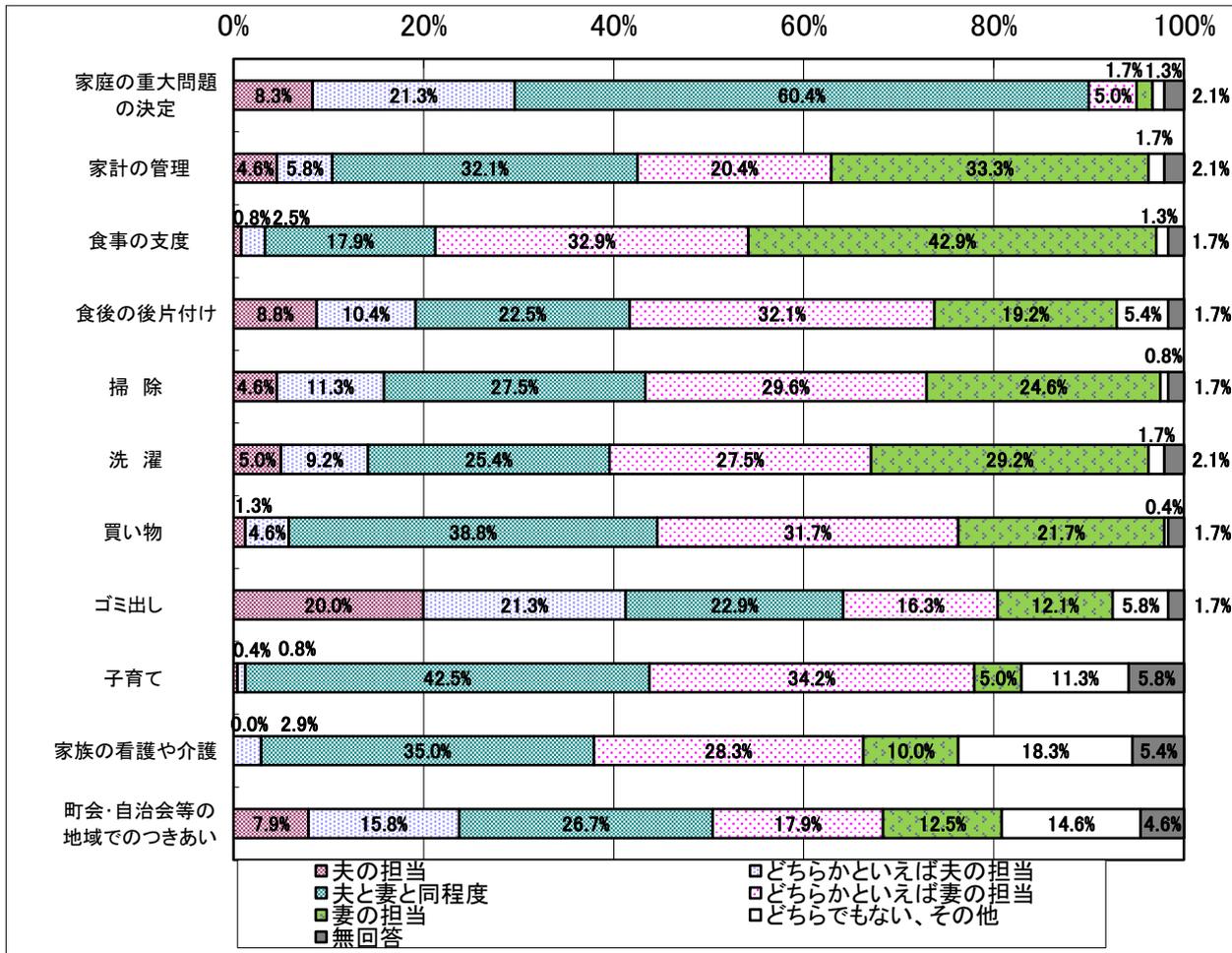
住民意識調査と比較しても、大きな差異は見られません。

<参考>平成27年住民意識調査

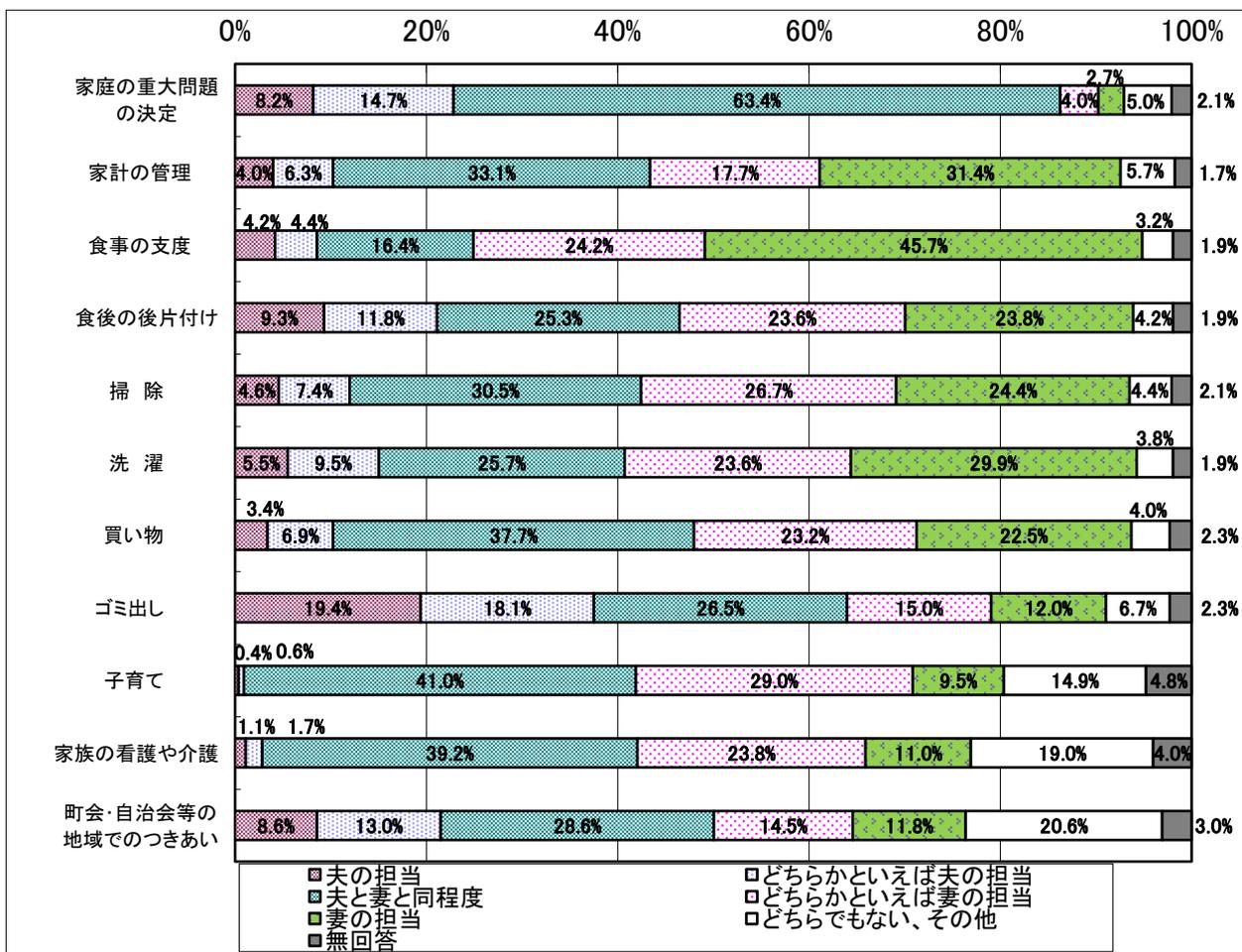


平成21年調査と比較しても、大きな差異は見られません。

<参考>平成21年職員意識調査



<参考>平成27年職員意識調査



※平成27年職員意識調査・平成21年職員意識調査との比較は、前回調査との比較のため、母集団を正規職員に限定している。

Ⅲ 調査結果および単純集計結果

豊島区職員の男女平等意識に関する調査

— ご協力をお願い —

区では、男女一人ひとりの人権が尊重され、その個性と能力を存分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて様々な取組みを行っています。

この意識調査は、区行政を男女共同参画の視点のもとで積極的に推進するため、それを担う職員の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策の資料とするために実施するものです。

今回は全職員を対象に実施いたします。

回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「としま男女共同参画推進プラン」に基き、総務部人事課と男女平等推進センターが実施します。

平成27年7月

総務部人事課
総務部男女平等推進センター

<記入上の注意>

1. 宛名のご本人がお答えください。氏名は記入しないでください。
2. ボールペン、または、濃い鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、設問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」、「○はそれぞれ1つ」など指定されていますので、当てはまる番号を○で囲んでください。
4. 特に指定がない設問は全員が答えてください。
5. 「その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入ください。
6. ご記入いただいた調査票は **8月4日(火)までに各課の交換便封筒等を使用し、男女平等推進センター宛に、交換便で返送してください。**
7. この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

総務部男女平等推進センター 直通(5952)9501

一般的な男女平等についてお伺いします

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

n=1,311

- | | | |
|---|----------------------|-------|
| 1 | 男女平等になっている | 3.3% |
| 2 | どちらかといえば、男女平等になっている | 34.6% |
| 3 | どちらかといえば、男女平等になっていない | 34.0% |
| 4 | 男女平等になっていない | 20.1% |
| 5 | わからない | 4.0% |
| | 無回答 | 4.0% |

問2 では、次の a～g の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。各分野ごとに、1～6の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a	家庭の中で	10.9%	45.8%	27.1%	6.3%	1.8%	7.2%	0.8%
b	職場の中で	7.3%	36.8%	36.8%	9.0%	0.8%	8.1%	1.2%
c	学校教育の場で	3.0%	17.9%	56.4%	3.3%	0.5%	16.2%	2.7%
d	政治の場で	37.8%	43.2%	9.2%	1.5%	0.3%	6.5%	1.6%
e	制度や法律の上で	13.0%	36.1%	33.0%	4.8%	1.1%	9.9%	2.1%
f	社会通念・習慣・しきたりで	26.4%	55.9%	8.7%	2.6%	0.4%	5.1%	0.9%
g	地域活動の場で	10.3%	39.4%	28.7%	5.5%	0.9%	14.0%	1.2%

問3 社会的に配偶者(事実婚や離婚後も含む)への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次の a~l ごとに、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	47.1%	46.3%	5.4%	1.2%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	61.6%	32.7%	4.3%	1.3%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	65.5%	29.6%	3.8%	1.1%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	87.3%	10.8%	1.0%	1.0%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしようなし」と言う	83.7%	13.7%	1.4%	1.2%
f なぐるふりをして、おどす	89.5%	8.8%	0.6%	1.0%
g なぐる蹴るの暴力をふるう	95.4%	3.1%	0.4%	1.1%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	85.0%	13.0%	0.9%	1.1%
i 避妊に協力しない	79.9%	17.3%	1.7%	1.1%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	94.1%	4.3%	0.5%	1.1%
k 大声でどなる	77.9%	20.5%	0.7%	0.9%
l 生活費を渡さない	74.3%	22.8%	1.4%	1.5%

問4 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次の a~k ごとに、それぞれ当てはまるものを、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	知っている	あるという ことは知っ ている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	44.9%	41.0%	13.0%	1.1%
b 男女共同参画社会基本法	24.9%	47.6%	26.1%	1.4%
c 女子差別撤廃条約	20.1%	40.7%	37.1%	2.0%
d 男女雇用機会均等法(雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)	56.4%	36.1%	5.7%	1.8%
e 育児・介護休業法(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)	58.4%	33.5%	6.4%	1.7%
f ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	44.9%	30.8%	22.7%	1.6%
g ポジティブアクション(積極的改善措置)	12.8%	30.1%	55.3%	1.8%
h DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)	57.6%	35.5%	5.4%	1.5%
i ストーカー規制法(ストーカー行為等の規制等に関する法律)	67.9%	27.9%	2.7%	1.5%
j 児童虐待防止法(児童虐待の防止に関する法律)	69.9%	26.2%	2.4%	1.5%
k トラフィッキング(人身取引)	16.8%	37.4%	44.4%	1.4%

問5 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次の a～g ごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	知っている	あるということは知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	33.3%	37.8%	27.1%	1.9%
b 豊島区男女共同参画推進条例	29.8%	38.6%	29.4%	2.1%
c としま男女共同参画推進プラン	33.3%	39.1%	25.9%	1.7%
d 豊島区男女共同参画推進会議	23.6%	37.3%	36.1%	3.0%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	12.2%	30.8%	54.8%	2.1%
f 豊島区配偶者等暴力防止基本計画	15.3%	34.1%	48.6%	2.1%
g 虐待と暴力のないまちづくり宣言	23.0%	37.6%	37.5%	2.0%

問6 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいますが、次の a～k の事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっていると思いますか。

次の a～k の各事業ごとに、1～4 の中から当てはまるものを1つ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているとは思えない	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているかどうかはわからない	区が取り組んでいることは知らなかった	無回答
a 学校教育における男女平等観を育てる教育指導の推進	9.7%	8.3%	42.4%	37.1%	2.5%
b 男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	17.8%	7.9%	44.2%	27.6%	2.5%
c 男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	11.7%	17.3%	44.7%	24.1%	2.2%
d 女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	11.4%	11.7%	43.9%	30.1%	2.8%
e 仕事と育児の両立支援施策の推進	11.7%	13.8%	47.8%	24.3%	2.4%
f 地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	9.6%	8.4%	44.5%	34.4%	3.1%
g 暴力(セクハラ・DV)の根絶に向けた啓発活動や相談窓口の設置など	22.8%	10.9%	46.5%	17.2%	2.6%
h 区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	10.4%	14.0%	42.7%	30.3%	2.7%

i	性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	26.1%	11.4%	38.7%	21.1%	2.8%
j	性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の理解促進に向けた取り組み	7.1%	11.9%	38.5%	39.4%	3.1%
k	デートDV(恋人間で起こる、交際相手に対する暴力のこと)予防の啓発	12.5%	9.3%	39.4%	35.8%	3.0%

問7 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は該当するものいくつでも) n=1,311

- | | | |
|----|---|-------|
| 1 | 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること | 44.6% |
| 2 | 女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること | 62.2% |
| 3 | 女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること | 48.4% |
| 4 | 女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること | 48.3% |
| 5 | 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | 30.1% |
| 6 | 家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること | 74.5% |
| 7 | 学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること | 43.3% |
| 8 | 夫や家族の理解や協力を得ること | 47.4% |
| 9 | 男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと | 26.2% |
| 10 | その他(具体的に:) | 3.3% |
| | 無回答 | 3.0% |

仕事についてお伺いします

問8 あなたが現在働いている理由は何ですか。(○は3つまで) n=1,311

- | | | | | | |
|---|-------------------|-------|----|--------------|-------|
| 1 | 職業を持つのがあたり前だから | 23.2% | 7 | 生計を維持するため | 60.5% |
| 2 | 仕事が生きがいだから | 7.9% | 8 | 家計を補助するため | 19.7% |
| 3 | 社会とのつながりがほしいから | 24.6% | 9 | 家庭に縛られたくないから | 3.6% |
| 4 | 能力や個性を生かしたいから | 17.5% | 10 | なんとなく | 1.5% |
| 5 | 仕事を通じて自分を成長させたいから | 30.7% | 11 | その他(具体的に:) | 1.7% |
| 6 | 社会に役立ちたいから | 30.1% | | 無回答 | 7.6% |

問9 あなたが現在仕事をしていくうえで苦勞している点はどんなことですか。(○は3つまで) n=1,311

1 仕事の種類・内容が合わない	7.0%	7 住民とのコミュニケーション	14.0%
2 仕事に関する知識や技術の不足	39.0%	8 家族の理解	3.4%
3 部下の掌握	6.9%	9 子どもの育児や教育	15.4%
4 上司とのコミュニケーション	13.4%	10 家族の看護や介護	12.1%
5 男性の同僚とのコミュニケーション	4.6%	11 自分や家族の健康の問題	24.5%
6 女性の同僚とのコミュニケーション	12.6%	12 その他(具体的に:)	7.5%
		無回答	10.8%

問10 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、現実はどのようですか。次の中から選んでください。 n=1,311

a 理想 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	1.4%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	4.7%
2 「家庭」を優先	12.7%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	2.5%
3 「地域・個人の生活」を優先	1.8%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	42.5%
4 「仕事」と「家庭」を両立	31.5%	8 その他(具体的に:)	0.5%
		無回答	2.4%

b 現実 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	40.9%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	5.9%
2 「家庭」を優先	9.1%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	1.4%
3 「地域・個人の生活」を優先	2.1%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	8.6%
4 「仕事」と「家庭」を両立	27.7%	8 その他(具体的に:)	1.3%
		無回答	3.1%

問11 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれにあたりますか。(○は1つ) n=1,311

1 結婚するまで職業を持つ(結婚退職型)	1.4%
2 子どもができるまで職業を持つ(出産退職型)	4.1%
3 子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)	32.6%
4 子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型)	53.2%
5 一生職業を持たない(家事専念型)	0.8%
6 その他(具体的に:)	5.2%
無回答	2.7%

問12 あなたの職場では、仕事の分担はどのようになっていますか。次の a~h ごとに、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	女性	男性	男女共	無回答
a 予算決算の仕事	26.8%	6.9%	49.4%	16.8%
b 経理、旅費、購買等	30.9%	4.3%	48.1%	16.8%

c	文書、服務、福利	26.8%	5.3%	50.7%	17.2%
d	全体の取りまとめ、調整	25.3%	13.6%	44.0%	17.1%
e	窓口	23.9%	3.8%	55.1%	17.2%
f	対外折衝	21.7%	8.8%	52.0%	17.5%
g	計画、立案等	19.6%	8.5%	54.5%	17.3%
h	来客のお茶汲み	31.8%	2.7%	42.4%	23.1%

問13 再任用・再雇用・非常勤・臨時職員以外の方にお聞きます。

あなたが定年まで勤めるとして、どこまでチャレンジしますか。(○は1つ)

n=762

1	課長以上になりたい	9.3%
2	係長にはなりたい	20.1%
3	主任主事にはなりたい	14.3%
4	特にチャレンジしたいと思わない	20.1%
5	受験資格ができたときに考える	13.9%
	無回答	22.3%

問14 (問13で 2、3、4 と答えた方に伺います。)

管理職になりたくない理由は何ですか。(○は1つ)

n=415

1	管理職は責任が重いから	18.3%
2	管理職になると休暇が取り難いから	5.5%
3	管理職になると人事管理がわずらわしいから	4.8%
4	現場で働きたいから	21.4%
5	試験が大変だから	1.9%
6	家庭生活と両立しないから	19.8%
7	能力がないから	22.9%
8	その他(具体的に:)	2.7%
	無回答	2.7%

職場についてお伺いします

問15 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、男女の扱いに差はありますか。 n=1,311

1	あると思う	13.9%
2	無いと思う	77.0%
	無回答	9.1%

問16 (問15で「1 あると思う」と答えた方に伺います)
それはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも) n=182

1	係の中心の仕事は男性が担っている	13.2%
2	昇任昇給の早さが男女で違う	8.8%
3	母性保護休暇をとる女性への評価が低い	9.9%
4	重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている	56.6%
5	女性は補助的工作が多い	10.4%
6	女性はベテランでもお茶汲みから離れられない	11.5%
7	女性は能力発揮の機会が少ない	9.9%
8	その他(具体的に:)	16.5%
	無回答	3.8%

問17 あなたが職場の女性に期待することは主にどんなことですか。(○は3つまで) n=1,311

1	仕事への意欲	37.1%	7	折衝・創造力	5.6%
2	責任感	37.1%	8	リーダーシップ	8.8%
3	気配り・人当たりのよさ	31.7%	9	判断力	17.0%
4	協調性	33.6%	10	実行力	16.4%
5	専門知識	14.3%	11	勤勉性	6.0%
6	視野の広さ	21.4%	12	その他(具体的に:)	3.4%
				無回答	12.4%

問18 あなたが職場の男性に期待することは主にどんなことですか。(○は3つまで) n=1,311

1	仕事への意欲	37.1%	7	折衝・創造力	4.7%
2	責任感	41.4%	8	リーダーシップ	16.4%
3	気配り・人当たりのよさ	18.5%	9	判断力	19.1%
4	協調性	28.2%	10	実行力	22.5%
5	専門知識	12.3%	11	勤勉性	6.4%
6	視野の広さ	16.8%	12	その他(具体的に:)	3.4%
				無回答	15.9%

問19 仕事と育児が両立できる職場づくりを進めるために、平成27年3月に「職員子育て支援プラン」が策定されましたが、あなたはこのプランを知っていますか。(○は1つ) n=1,311

- | | |
|------------------|-------|
| 1 計画の内容まで知っている | 5.3% |
| 2 計画があることは知っている | 36.4% |
| 3 計画があることを知らなかった | 53.3% |
| 無回答 | 5.0% |

問20 あなたは次の制度を知っていますか。次の a~l ごとに、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	知っている	あるということを知っている	知らない	無回答
a 妊婦出産休暇	73.5%	17.1%	5.7%	3.7%
b 妊娠初期休暇	40.5%	19.3%	35.3%	4.9%
c 母子保健健診休暇	40.0%	19.4%	35.7%	5.0%
d 妊婦通勤時間	55.7%	17.0%	23.1%	4.2%
e 育児時間	60.8%	18.8%	16.2%	4.3%
f 出産支援休暇	47.2%	21.7%	26.8%	4.3%
g 子の看護のための休暇	53.2%	21.1%	21.3%	4.4%
h 介護休暇	65.2%	22.8%	7.7%	4.3%
i 育児休業	71.7%	20.1%	4.1%	4.0%
j 部分休業	43.4%	19.9%	32.4%	4.3%
k 育児短時間勤務	59.4%	21.0%	15.5%	4.1%
l 時間外労働・深夜業の制限(妊婦及び育児・介護者)	42.6%	25.9%	26.6%	5.0%

問21 臨時職員以外の方にお聞きします。

今、あなたが育児・介護休業を取るとしたら、どのようなことにためらいを感じますか。(○はいくつでも)

n=1267

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1 昇任・昇給等評定に影響があると思うから | 6.4% |
| 2 職場に迷惑をかけるから | 56.6% |
| 3 職場の理解がないから | 4.7% |
| 4 職場復帰が大変そうだから | 15.2% |
| 5 経済的に難しいから | 19.7% |
| 6 仕事にやりがいを感じているから | 3.9% |
| 7 ためらいを感じない | 7.8% |
| 8 取得する意思はない | 2.8% |
| 9 その他(具体的に:) | 1.3% |
| 無回答 | 41.7% |

問22 あなたは、育児・介護休業が、男女職員を対象としているのにもかかわらず、男性職員の取得率が低いのはなぜだと思いますか。(○は1つ) n=1,311

- | | | |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | あまり前例がないから | 20.9% |
| 2 | 育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから | 23.9% |
| 3 | 育児や介護への経験が少なく、自信が無いから | 5.6% |
| 4 | 仕事優先という意識があるから | 22.3% |
| 5 | 職場の理解が低いから | 17.4% |
| 6 | その他(具体的に:) | 2.9% |
| | 無回答 | 7.0% |

問23 あなたの職場で過去5年間にセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)を見たり聞いたりしたことはありますか。あるいは、職場で実際に体験したことがありますか。(○は1つ) n=1,311

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | ある | 9.7% |
| 2 | 無い | 83.2% |
| | 無回答 | 7.1% |

問24 (問23で、「1 ある」と答えた方に伺います。) n=127
それはどのようなことですか。(○は該当するものいくつかでも)

- | | | |
|----|---------------------------|-------|
| 1 | 宴会でお酒のお酌やカラオケのデュエットを強要される | 16.5% |
| 2 | 性的な冗談を頻繁にいわれる | 29.9% |
| 3 | 理由もなく食事にたびたび誘われる | 26.0% |
| 4 | 結婚の予定や出産予定をたびたび聞かれる | 26.0% |
| 5 | 故意に体を触られる | 22.0% |
| 6 | 容姿について繰り返し言われる | 26.8% |
| 7 | 立場を利用して性的関係を迫られる | 5.5% |
| 8 | 帰宅途中、後をつけられる | 3.1% |
| 9 | 性的な内容の手紙・電子メールや電話を受ける | 3.9% |
| 10 | ヌード写真などを見たくもないのに見せられたりする | 2.4% |
| 11 | その他(具体的に:) | 11.0% |
| | 無回答 | 3.1% |

生活についてお伺いします

問25 あなたの生活の中で、現在特に興味をもっているのは何ですか。(○は3つまで) n=1,311

- | | | | | | |
|---|-----------|-------|----|-----------|-------|
| 1 | 仕事 | 31.0% | 8 | 老後のこと | 31.3% |
| 2 | 趣味・習い事・旅行 | 47.5% | 9 | 地域活動 | 5.3% |
| 3 | 老親のこと | 25.2% | 10 | 社会・政治 | 5.1% |
| 4 | 結婚 | 5.9% | 11 | 学習・教養活動 | 7.7% |
| 5 | 子育て | 24.9% | 12 | 健康 | 46.0% |
| 6 | 財テク | 5.3% | 13 | その他(具体的に: | 1.1% |
| 7 | 友人 | 6.7% | | 無回答 | 4.5% |

問26 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。(○は1つ) n=1,311

1	そのとおりだと思う	1.2%	4	どちらかといえばそう思わない	18.3%
2	どちらかといえばそう思う	16.0%	5	まったくそうは思わない	34.1%
3	どちらともいえない	27.4%		無回答	3.0%

問27 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。それぞれ当てはまるものを、1～4の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,311

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
a 「子育ては母親の仕事」という考え方	2.6%	34.2%	21.8%	38.6%	2.7%
b 「家事は女性の仕事」という考え方	1.4%	21.9%	25.5%	48.1%	3.1%

問28 既婚(事実婚を含む)の方に伺います。
あなたの家庭では家事、育児などの分担はどのようにしていますか。
a～kの各項目ごとに、1～6の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=849

	夫の担当	どちらかといえば夫の担当	夫と妻と同程度	どちらかといえば妻の担当	妻の担当	どちらでもない、その他	無回答
a 家庭の重大問題の決定	10.6%	18.5%	57.1%	4.5%	2.9%	3.9%	2.5%
b 家計の管理	4.7%	6.7%	31.3%	19.0%	31.4%	4.4%	2.5%
c 食事の支度	2.9%	3.7%	14.8%	23.8%	49.6%	2.9%	2.2%
d 食後の後片付け	7.2%	10.0%	21.8%	23.1%	31.9%	3.7%	2.4%
e 掃除	3.3%	6.4%	26.3%	26.7%	30.7%	3.9%	2.7%
f 洗濯	4.4%	7.2%	22.4%	22.3%	37.8%	3.5%	2.5%
g 買い物	2.6%	6.0%	33.0%	24.6%	27.7%	3.7%	2.5%
h ゴミ出し	16.1%	16.0%	25.3%	16.0%	18.3%	5.4%	2.8%
i 子育て	0.2%	0.4%	37.5%	28.3%	15.4%	13.2%	5.1%
j 家族の看護や介護	0.9%	1.3%	35.1%	25.3%	16.4%	16.6%	4.4%
k 町会・自治会等地域でのつきあい	8.8%	13.2%	25.3%	15.2%	17.3%	17.1%	3.1%

最後にあなたご自身のことについてお伺いします

F1 あなたの性別を教えてください。 n=1,311

1	女性	66.7%
2	男性	31.5%
	無回答	1.8%

F2 あなたの年齢を教えてください。 n=1,311

1	～29歳	15.6%	3	40～49歳	24.3%	5	61歳以上	14.2%
2	30～39歳	10.7%	4	50～60歳	33.2%		無回答	2.1%

F3 あなたの職層を教えてください。 n=1,311

1	管理職	3.7%	5	主任主事	29.7%	9	非常勤・臨時・再雇用職員	
2	管理職(再任用)	0.2%	6	主任主事(再任用)	1.9%			35.2%
3	係長職	14.0%	7	係員	10.7%		無回答	3.4%
4	係長職(再任用)	0.7%	8	係員(再任用)	0.5%			

F4 あなたの職種は以下のどれにあたりますか。 n=1,311

1	事務系	(一般事務、社会教育)	30.0%
2	福祉系	(福祉、保育士、児童指導、心理)	44.0%
3	一般技術系	(土木、造園、建築、機械、電気、保健・食品衛生監視、化学技術、学芸員)	5.0%
4	医療技術系	(医師、診療放射線、歯科衛生士、理学・作業療法士、検査技術、栄養士、保健師、看護師、准看護師)	2.9%
5	技能系	(介護指導、電話交換、警備(学校開放員含む)、作業Ⅰ、調理、用務、自動車運転Ⅲ、作業Ⅲ)	10.4%
6	業務系	(一般業務、一般事務〔業務〕)	3.4%
	無回答		4.3%

F5 あなたは現在、結婚していますか。 n=1,311

1	結婚している(婚姻届を出している)	63.4%
2	結婚している(婚姻届を出していない)	1.4%
3	結婚していない	31.1%
	無回答	4.1%

F6 配偶者の就労状況は以下のどれにあたりますか。(配偶者のいる方のみお書きください。) n=849

1	民間常勤	36.4%	4	自営等(家族従業者含む)	7.9%
2	官公庁常勤	26.0%	5	無職	14.6%
3	派遣・パート・アルバイト	10.7%	6	その他(具体的に:)	2.8%
				無回答	1.5%

F7	一番年下のお子さんの状況は以下のどれにあたりますか。				n=1,311
1	乳幼児	7.4%	5	高校生以上	15.3%
2	小学生(3年生以下)	3.1%	6	社会人	25.6%
3	小学生(4年生以上)	4.5%	7	子どもはいない	19.3%
4	中学生	4.8%		無回答	19.9%

F8	あなたの世帯構成は、以下のどれにあたりますか。				n=1,311
1	単身世帯(ひとり暮らし)	13.7%	4	三世帯世帯(親と子と孫)	7.3%
2	一世代世帯(夫婦のみ)	18.5%	5	その他の世帯(具体的に:)	2.3%
3	二世帯世帯(親と子)	51.6%		無回答	6.6%

ご協力ありがとうございました。

**豊島区職員の男女平等意識に関する調査
報告書**

平成 28 年 3 月

発 行 豊島区総務部人事課
豊島区立男女平等推進センター（エポック10）
豊島区西池袋2-37-4
電話 03（5952）9501